

**荒川区 指定管理者
平成30年度分 実績評価結果**

令和元年9月

目 次

<p>実績評価の目的及び評価方法について ... 3</p> <p>ふれあい館</p> <p>石浜ふれあい館 ... 5</p> <p>南千住ふれあい館 ... 8</p> <p>南千住駅前ふれあい館 ... 11</p> <p>汐入ふれあい館 ... 14</p> <p>峡田ふれあい館 ... 17</p> <p>荒川山吹ふれあい館 ... 20</p> <p>町屋ふれあい館 ... 23</p> <p>荒木田ふれあい館 ... 26</p> <p>尾久ふれあい館 ... 29</p> <p>西尾久ふれあい館 ... 32</p> <p>東日暮里ふれあい館 ... 35</p> <p>夕やけこやけふれあい館 ... 38</p> <p>西日暮里ふれあい館 ... 41</p> <p>文化施設</p> <p>荒川区民会館（サンパール荒川） ... 44</p> <p>日暮里サニーホール ... 47</p> <p>ムーブ町屋 ... 50</p> <p>生涯学習施設</p> <p>町屋文化センター ... 53</p> <p>生涯学習センター ... 56</p> <p>清里高原ロッジ／清里高原少年自然の家 ... 59</p> <p>スポーツ施設</p> <p>荒川総合スポーツセンター ... 62</p> <p>高齢者福祉施設</p> <p>特別養護老人ホームグリーンハイム荒川 ... 66</p> <p>特別養護老人ホームサンハイム荒川 ... 70</p> <p>特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川 ... 74</p> <p>グリーンハイム荒川在宅高齢者通所 S C ... 78</p> <p>サンハイム荒川在宅高齢者通所 S C ... 82</p> <p>花の木ハイム荒川在宅高齢者通所 S C ... 86</p> <p>西日暮里在宅高齢者通所 S C ... 90</p> <p>町屋在宅高齢者通所 S C ... 94</p>	<p>南千住中部在宅高齢者通所 S C ... 98</p> <p>東日暮里在宅高齢者通所 S C ... 102</p> <p>荒川東部在宅高齢者通所 S C ... 106</p> <p>西尾久西部在宅高齢者通所 S C ... 110</p> <p>荒川老人福祉センター ... 114</p> <p>荒川授産場 ... 118</p> <p>障がい者福祉施設</p> <p>荒川福祉作業所 ... 122</p> <p>荒川生活実習所 ... 125</p> <p>尾久生活実習所本所／分場 ... 128</p> <p>障害者福祉会館 ... 131</p> <p>精神障害者地域生活支援センター ... 134</p> <p>保育施設</p> <p>小台橋保育園 ... 137</p> <p>上尾久保育園 ... 141</p> <p>南千住さくら保育園 ... 145</p> <p>汐入とちのき保育園 ... 149</p> <p>はなみずき保育園 ... 153</p> <p>南千住保育園 ... 157</p> <p>南千住七丁目保育園 ... 161</p> <p>夕やけこやけ保育園 ... 165</p> <p>住宅</p> <p>荒川区営住宅（西尾久七丁目、西尾久三丁目 ... 169 南千住二丁目、町屋七丁目、町屋五丁目）</p> <p>荒川区民住宅（町屋五丁目） ... 173</p> <p>従前居住者用住宅（町屋五丁目） ... 173</p> <p>自転車等駐車場</p> <p>南千住駅東口自転車等駐車場 ... 177</p> <p>日暮里駅前自転車駐車場 ... 177</p> <p>センターまちや自転車駐車場 ... 181</p> <p>三河島駅前自転車駐車場 ... 181</p> <p>通所サービスセンターを「S C」と記載しています。</p>
--	---

実績評価の目的及び評価方法について

1 実績評価の目的

指定管理施設の管理運営の状況等について、実績の評価を行うことにより、継続的な改善を促し、サービス水準の一層の向上を図る。

2 評価方法

(1) 施設種別の設定

施設特性に応じた、より実効性のある、きめ細やかな評価を行うため、次の2種類の施設種別を設定する。

施設種別	施設特性	対象施設
A 施設	<ul style="list-style-type: none"> ・法令等による施設運営基準の定めがある ・人的サービスの比重が大きい 	高齢者福祉施設、障がい者福祉施設、保育施設
B 施設	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスや事業内容に関する指定管理者の創意工夫の余地が大きい 	文化施設、ふれあい館、生涯学習施設、スポーツ施設、自転車等駐車場、住宅

(2) A 施設のサービス面に関する評価項目と評点

- ・「法令基準等への適合状況」と「加点点評価項目」の2面から評価する。
- ・「法令基準等への適合状況」については、施設の設備、人員配置、運営等に関する法令基準を満たしているかを確認し、1項目でも満たしていなければ「不適合」と判断する。
- ・施設特性に応じて「加点点評価項目」を設定し、「極めて良好である」「良好である」「取組が行われていない、または十分でない」の3段階で評価する。

(3) B 施設のサービス面に関する評価項目と評点

- ・「基本評価項目」と「その他の評価項目」の2面から評価する。
- ・「基本評価項目」については、「施設の維持管理」と「区民サービス」の2点について、施設特性に応じて評価の細目及び配点(100点満点)を設定し、5段階評価を行った上で得点を算出する。
- ・「その他の評価項目」については、評価対象とする項目及び配点(10点以内)を施設特性に応じて設定し、5段階の評価を行った上で得点を算出する。
- ・「基本評価項目(100点)」と「その他の評価項目(10点)」の総合得点(110点満点)を算出し、下表の基準によりS~Dの総合評価を行う。

評価		基準
S	特に優れている	総合得点が100点以上
A	優れている	総合得点が80点以上100点未満
B	適正である	総合得点が60点以上80点未満
C	努力が必要である	総合得点が40点以上60点未満
D	運営に大きな問題がある	総合得点が40点未満

(4) 財務・労務に関する評価項目と評点 (A 施設・ B 施設共通)

- ・ A 施設・ B 施設ともに、「会計 」、「会計 」、「労務」、「法人決算」の状況を確認し、次の基準により優良・良好・課題有の評価を行う。

< 会計 >

優良 : 会計手続及び予算管理が極めて適正である。

良好 : 会計手続及び予算管理が適正に行われていた。もしくは、会計手続及び予算管理が概ね適正に行われていた。一部に改善の必要があったが、改善された又は改善の計画がある。

課題有 : 会計手続及び予算管理に改善すべき点が見受けられ、努力が必要である。もしくは、会計手続及び予算管理に問題があり、改善の見込みがない。

< 会計 >

優良 : 施設の特性に応じ、極めて優れた経費の効果的活用が行われていた。

良好 : 施設の特性に応じ、経費の効果的活用が行われていた。

課題有 : 経費の効果的活用について、改善すべき点が見受けられ、努力が必要である。もしくは、経費の効果的活用について改善の見込みがない。

< 労務 >

優良 : 労働環境が適正である。

良好 : 労働環境は適正ではあるが、一部改善の必要が見受けられる。改善が必要な部分について、改善された又は改善の計画がある。

課題有 : 労働環境に改善すべき点が見られ、努力が必要である。もしくは、労働環境に問題があり、改善の見込みがない。

< 法人決算 >

優良 : 極めて良好な財務力を有している。

良好 : 安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。もしくは、安定的・継続的な運営に当たって一部改善の必要が見受けられるが、改善の見込みがある。

課題有 : 安定的・継続的な運営に当たって改善すべき点が見受けられ、努力が必要である。もしくは、安定的・継続的な運営に問題があり、改善の見込みがない。

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	石浜ふれあい館
	所在地	荒川区南千住三丁目28番2号
指定管理者	名称	株式会社日本デイクアセンター
	所在地	千代田区神田猿楽町二丁目2番3号
施設開設年月日		平成25年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成25年4月1日
指定期間		平成28年4月1日～平成31年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】 備蓄倉庫</p> <p>【総入館者数】 38,580名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)5,856名 (乳幼児)6,580名 (小学生)13,873名 (中学生)584名 (高校生)306名 (成人)1,726名 (高齢者)4,497名 (合計)33,422名</p> <p>貸室利用者数 5,158名</p>	
平成30年度の事業計画		
【乳幼児】	既存の事業については、安全面に十分配慮した上で、これまでどおり実施するとともに、新規事業として「ソフトテニス」を実施する。	
【小学生】	既存の事業及びサークル活動については、これまでどおり実施するとともに、親子で交流を深められる事業の確立を図る。	
【中高生】	中高生が利用しやすい環境を整え、学校を卒業するまでの間、良い思い出を作れるよう接する。	
【成人】	既存の事業については、これまでどおり実施するとともに、子育て世代の父親が息抜きできるような事業(木工教室等)を確立する。	
【高齢者】	身体を動かしたい利用者の需要を踏まえ、体操の充実を図る。	
【世代間交流】	小学生の親子が交流を深められる事業(卓球、ディアボロ等)の充実を図る。	
【地域交流】	地域のお祭りを支援するとともに、地域と積極的に連携を図りながら、当館のお祭りやハロウィンを実施する。	
平成30年度の事業実績		
【乳幼児】	既存の事業について安全面に十分配慮して実施したほか、新規事業の「ソフトテニス」は好評であった。また、利用者の来館目的等を分析し、事業の実施方法を見直した結果、子育て相談の件数が増加し、地域の子育て支援の拠点施設としての役割を果たした。	
【小学生】	ボランティア活動や親子で参加できる事業の充実を図ることで、子どもたちの自主性や主体性を育み、健やかな成長を支援した。	
【中高生】	中高生と年齢に近い若手職員を積極的に配置し、中高生との信頼関係を構築した。	
【成人】	親子の木工教室をきっかけとして、成人向けの木工教室に参加する方が増加した。	
【高齢者】	来館者の多様なニーズに応え、様々な高齢者事業を展開し、健康の増進に寄与した。	
【世代間交流】	「どじょう掴み」や「スイカ割り」等の全世代が体験できる事業を実施し、幅広い世代間の交流を促進した。	
【地域交流】	地域との連携を密にし、お祭りやハロウィンイベント、クリスマス会など、地域と一体となってイベントを実施した。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			16
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	3	60%	6
区民サービス	80			72
利用者の事業に対する満足度が高い	20	5	100%	20
職員の接遇がきちんとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	5	100%	5
積極的な事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	20	3	60%	12
合計(A)	100			88

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	4	80%	1.6
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
安全に対する積極的な取組を行っている	4	4	80%	3.2
合計(B)	10			8.8
合計(A+B)				96.8
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

「施設の維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。
「区民サービス」については、利用者の事業に対する満足度が特に高く、適切に運営されている。また、職員の接遇に対する意識は高く、利用者からの評価も高い。
「その他の評価項目」については、お祭りやハロウィンイベント、クリスマス会など、地域と連携した事業を積極的に実施している。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用者から寄せられた苦情を真摯に受け止め、改善に向けて検討するよう求めていく。
- ・利用者数の増加に向けて、これまで以上に地域住民のニーズを的確に把握し、事業に反映するよう求めていく。

施設決算状況

年度		平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	45,578,098	45,583,768	45,967,110	45,861,022
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	0	43,650	148,800	14,840
	計	45,578,098	45,627,418	46,115,910	45,875,862
支出	運営費	2,448,966	1,945,771	2,500,000	1,958,956
	管理費	11,632,866	12,536,123	12,573,650	12,849,441
		本部経費	3,632,901	1,114,725	1,305,143
	人件費	28,125,460	28,849,045	26,000,000	27,076,371
	修繕費	285,930	291,600	674,942	634,500
	その他支出	0	0	0	0
	計	42,493,222	43,622,539	41,748,592	42,519,268
収支差額		3,084,876	2,004,879	4,367,318	3,356,594

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担とする。
- 2 修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算している。
- 3 平成 2 9 年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の 2 分の 1 を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 4 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告等を確認した結果、会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	職員自ら修繕を行うなど、経費縮減努力が行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、障害者雇用率が法定を下回っているが、概ね労務環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、活動性・健全性が良好であり、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住ふれあい館
	所在地	荒川区南千住六丁目36番13号
指定管理者	名称	株式会社ウィッシュ
	所在地	渋谷区代々木二丁目1番1号 新宿マインズタワー
施設開設年月日		平成24年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、相談室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】音楽室、屋上広場</p> <p>【総入館者数】 70,970名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)9,480名 (乳幼児)11,283名 (小学生)16,236名 (中学生)2,160名 (高校生)561名 (成人)488名 (高齢者)8,494名 (合計)48,702名</p> <p>貸室利用者数 22,268名</p>	
平成30年度の事業計画		
【乳幼児】	乳幼児タイムを中心に季節行事や各種講座を実施し、親子の交流を深める機会を提供する。	
【小学生】	遊びや運動、ゲーム等を通じて、子どもの幅広い仲間作りを支援するとともに、ルールを守ることの大切さを伝える。	
【中学生】	中学生が気軽に集まれる「ティーンズタイム」を設け、中学生の居場所を提供するとともに、中高生と信頼関係を構築し、非行や孤立を防止する。	
【成人・高齢者】	卓球、ヨガ、スポーツ吹矢、遠足、手芸等の活動を通じて、利用者の交流の場を提供し、仲間作りを支援する。	
【世代間交流】	大型行事のお祭りやハロウィンイベントのほか、卓球大会や手芸等の各種交流事業を実施し、世代間の交流を促進する。	
平成30年度の事業実績		
【乳幼児】	幼児タイムの参加人数は、昨年度よりやや減少したが、「寝ぞうアート」など多様な事業を実施し、親子の交流を深める機会を提供した。	
【小学生】	クリスマス会などの大型行事を子どもたちによる実行委員会形式で実施し、子どもたちの主体性や自主性を育むとともに、サークル活動を通じて異学年の交流を図り、子どもたちの幅広い仲間作りを支援した。	
【中学生】	スポーツ活動を中心に中学生と職員とで交流を深め、信頼関係を構築した結果、中学生の来館人数が昨年度より大きく増加した。	
【成人・高齢者】	一部の事業で実施回数の減少等はあったが、内容の充実を図り、成人・高齢者の生きがいづくりを支援した。	
【世代間交流】	大型行事であるお祭りやハロウィンイベントのほか、卓球や手芸活動でも世代間での交流を促進した。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			70
利用者の事業に対する満足度が高い	20	4	80%	16
職員の接遇がきちんとなされている	25	4	80%	20
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	4	80%	4
積極的な事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	20	5	100%	20
合 計 (A)	100			90

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	4	80%	1.6
施設全体における評価が高い	2	4	80%	1.6
安全に対する積極的な取組を行っている	4	3	60%	2.4
合計 (B)	10			7.6
合計 (A+B)				97.6
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

「施設の維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。
「区民サービス」については、ポスターや館だよりを有効に活用した広報が行われており、適切に事業等を周知できている。また、利用者数については、前年度から増加しており、利用者の多様なニーズを的確に反映した運営が行われている。
「その他の評価項目」については、地域のお祭り等の行事に積極的に参加・協力したほか、近隣の高齢者施設との交流事業を実施するなど、地域と連携した事業が積極的に行われている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

上級救命講習の受講率の向上や、二次避難所の開設に関する実践訓練の実施など、安全に対する取組について、より一層の努力を求めていく。

施設決算状況

年度		平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	47,171,027	47,099,779	56,884,569	56,618,128
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	91,230	208,000	100,000	100,000
	計	47,262,257	47,307,779	56,984,569	56,718,128
支出	運営費	1,638,300	1,485,627	1,850,000	1,755,813
	管理費	10,692,971	8,450,050	17,200,422	17,667,746
		本部経費	3,944,194	0	4,727,436
	人件費	35,001,858	33,515,806	33,470,000	35,808,135
	修繕費	299,160	770,040	877,569	611,128
	その他支出	0	0	0	0
	計	47,632,289	44,221,523	53,397,991	55,842,822
収支差額		-370,032	3,086,256	3,586,578	875,306

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担とする。
- 2 修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算している。
- 3 平成 2 9 年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の 2 分の 1 を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 4 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告等を確認した結果、会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	リサイクルによるゴミ排出を削減する等経費縮減努力が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、障害者雇用率が法定を下回っているが、概ね労務環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、活動性・健全性が優良であり、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	優良

総合評価

サービス面、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住駅前ふれあい館
	所在地	荒川区南千住七丁目1番1号 アクレスティ南千住2階
指定管理者	名称	株式会社日本デイケアセンター
	所在地	千代田区神田猿樂町二丁目2番3号
施設開設年月日		平成22年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成22年4月1日
指定期間		平成28年4月1日～令和3年3月31日
業務内容		<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、相談室、だれでもトイレ</p> <p>【総入館者数】 98,129名 (内訳) 世代別事業参加者数 (保護者)9,645名 (乳幼児)11,993名 (小学生)15,318名 (中学生)661名 (高校生)172名 (成人)9,517名 (高齢者)7,645名 (合計)54,951名 貸室利用者数 43,178名</p>
平成30年度の事業計画		
【乳幼児】	家族間のふれあいを主とした事業を充実させるとともに、乳幼児タイム、リトミック及び育児相談事業を通じて、乳幼児の健全な成長と保護者の子育てを支援する。	
【小学生】	各事業の充実を図るとともに、デイキャンプや巨大迷路大会、クリスマス会などの季節を感じられる行事を通じて、楽しく潤いある活動を展開する。	
【中学生】	中学生だけが多目的室を使用できる時間を設けるとともに、バーベキュー大会やクッキングタイムを実施し、楽しく親しみを持てるふれあい館を展開していく。	
【成人】	団塊の世代や子育て世代を中心に、趣味や実用に繋がるコーラス、クッキング、麻雀、絵画等の各種講座を実施する。	
【高齢者】	合唱、踊り、詩吟、レクダンス等の各種事業を実施し、余暇の充実と健康の維持を支援する。	
【世代間交流】	世代を超えて全ての来館者が楽しめる、ふれあい館まつり、クリスマス会、フリーマーケット、巨大迷路大会を実施する。	
【地域交流】	地域と連携して高齢者演芸大会を実施するほか、地域の各種お祭り等に協力する。	
平成30年度の事業実績		
【乳幼児】	子育て世代の父親向けの事業を充実させた結果、利用者からも大変好評で、保護者との信頼関係を構築することができた。また、各事業を通じて、乳幼児の健全な成長と保護者の子育てを支援することができた。	
【小学生】	小学生の工作活動を定例化し、本格的な工作体験を実施するなど、各事業の充実を図り、子どもたちに楽しく潤いある活動を提供した。	
【中学生】	バーベキュー大会やカラオケ大会を実施し、中学生の自主性や主体性を育むとともに、中学生の交流を促進した。	
【成人】	地域や他のふれあい館との交流事業を実施し、余暇の充実を図った。	
【高齢者】	利用者のニーズを的確に把握し、カラオケの事業内容を見直した結果、利用者からは大変好評であった。	
【世代間交流】	ふれあい館交流フェスタやクリスマス会、巨大迷路大会等の各種交流事業を実施し、世代間の交流を促進した。	
【地域交流】	地域の各種イベントに事務局として積極的に参加し、地域との交流を深めた。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			80
利用者の事業に対する満足度が高い	20	5	100%	20
職員の接遇がきちんとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	5	100%	5
積極的な事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	20	5	100%	20
合計(A)	100			100

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	4	80%	1.6
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
安全に対する積極的な取組を行っている	4	5	100%	4
合計(B)	10			9.6
合計(A+B)				109.6
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S

評価内容

「施設の維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。
「区民サービス」については、利用者の事業に対する満足度が特に高く、適切に運営されている。また、職員の接遇に対する意識は高く、利用者からの評価も高い。
「その他の評価項目」については、高齢者演芸大会などの地域と連携した事業を実施しているほか、全常勤職員が上級救命講習を受講しているなど、安全に対する積極的な取組が行われている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

より積極的な区民雇用の促進を求めていく。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	41,643,849	45,121,655	45,170,729	44,825,209
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	0	303,760	225,500	329,155
	計	41,643,849	45,425,415	45,396,229	45,154,364
支出	運営費	2,825,414	1,738,416	2,820,000	2,207,485
	管理費	5,338,168	12,172,850	11,822,888	12,137,758
		本部経費	2,064,278	1,114,725	1,305,143
	人件費	33,075,523	30,330,811	29,250,000	29,482,053
	修繕費	211,841	605,556	654,630	509,760
	その他支出	0	0	0	0
	計	41,450,946	44,847,633	44,547,518	44,337,056
収支差額		192,903	577,782	848,711	817,308

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担とする。
- 2 修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算している。
- 3 平成29年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の2分の1を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 4 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、総勘定元帳、各証憑書類等を確認した結果、決算書に関する指摘事項について速やかに改善され、追加の資料が提出された。	良好
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等を比較して収支差額に差異があるが、綿密な原因分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	消耗品費、役務費、運営費に経費縮減の努力が行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、雇用契約書に関する指摘事項について、速やかに改善の計画が示された。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、活動性・健全性が良好であり、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面は優良、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	汐入ふれあい館
	所在地	荒川区南千住八丁目2番2号
指定管理者	名称	社会福祉法人雲柱社
	所在地	世田谷区上北沢三丁目8番19号
施設開設年月日		平成17年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成17年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～令和4年3月31日
業務内容		<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、だれでもトイレ（学童クラブ併設）</p> <p>【特徴ある施設】 図書室</p> <p>【総入館者数】 58,003名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)9,290名 (乳幼児)9,760名 (小学生)22,568名 (中学生)510名 (高校生)266名 (成人)1,031名 (高齢者)2,885名 (合計)46,310名</p> <p>貸室利用者数 11,693名</p>
平成30年度の事業計画		
【乳幼児】	保育園の待機児対策の一助となるよう、利用者からも要望の多い年齢別の乳幼児活動について、可能な限り定員を設けずに実施する。	
【小学生】	登録制のグループ活動や、キャンプ等の自然体験を通じて、子どもたちの自立性・協調性を養うとともに、自然とのふれあいや野外体験の素晴らしさについて、学ぶことのできるよう支援する。	
【成人・高齢者】	子育て中の母親向けの事業を実施し、地域の子育て世代を支援するとともに、高齢者向けには、利用者の要望を踏まえながら館外事業を実施するなど、利用者の健康の増進を図り、充実した余暇を提供する。	
【地域交流】	地域の特性を踏まえた事業を実施し、地域との積極的な交流を図る。	
平成30年度の事業実績		
【乳幼児】	年齢別のグループ活動のほか、地域の特性を踏まえた乳幼児向け事業を可能な限り定員を設けずに実施し、地域の子育て支援の拠点施設としての役割を果たした。	
【小学生】	登録制の手話活動や料理、スポーツなどの多様な事業を定例で実施し、子どもたちの健やかな成長を支援したほか、遠方地でのキャンプ活動を実施し、豊かな自然とふれあう貴重な体験を提供した。	
【成人・高齢者】	健康の増進や余暇の充実を目的とした各種事業を実施したほか、利用者の要望を踏まえた区外での散策活動を年2回実施し、参加者同士の交流の促進を図った。	
【地域交流】	地域のお祭りや文化祭、防犯講習会などの実施に協力するなど、地域との積極的な交流を図り、地域のためのふれあい館として運営した。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			16
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	3	60%	3
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	3	60%	3
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			60
利用者の事業に対する満足度が高い	20	4	80%	16
職員の接遇がきちんとなされている	25	4	80%	20
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	4	80%	4
積極的な事業展開を行っている	10	4	80%	8
利用者数が増加している	20	3	60%	12
合計(A)	100			76

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	3	60%	1.2
施設全体における評価が高い	2	3	60%	1.2
安全に対する積極的な取組を行っている	4	3	60%	2.4
合計(B)	10			6.8
合計(A+B)				82.8
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

「施設の維持管理」については、危機管理等を徹底し、適正に管理されている。
「区民サービス」については、利用者の事業に対する満足度が高く、適切に運営されている。
また、幅広い世代を対象にした、多様な事業を積極的に実施している。
「その他の評価項目」については、地域のお祭りや文化祭、防犯講習会等の行事に参加、実施の協力をするなど、地域との積極的な交流が行われている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・ 日常点検や日常清掃をきめ細かく実施し、利用者がより快適かつ安全・安心に利用できる施設となるよう、求めていく。
- ・ 利用者数の増加に向けて、これまで以上に地域住民のニーズを的確に把握し、事業に反映するよう求めていく。
- ・ 区民雇用の促進や、上級救命講習の積極的な受講を求めていく。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	42,884,859	46,478,232	47,624,234	45,663,318
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	0	108,385	527,000	108,368
	計	42,884,859	46,586,617	48,151,234	45,771,686
支出	運営費	2,233,416	2,617,401	2,677,323	2,413,854
	管理費	6,505,253	10,371,882	11,579,507	9,077,732
		本部経費	1,750,396	968,130	1,106,000
	人件費	34,284,151	33,758,349	32,200,000	31,729,463
	修繕費	988,956	555,368	1,190,404	873,331
	その他支出	0	0	0	0
	計	44,011,776	47,303,000	47,647,234	44,094,380
収支差額		-1,126,917	-716,383	504,000	1,677,306

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算している。
- 2 平成29年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の2分の1を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 3 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告等を確認した結果、会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	光熱水費、消耗品費を日々の活動で縮減努力が行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、障害者雇用率が法定を下回っているが、概ね労働環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、活動性・健全性が良好であり、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	峡田ふれあい館
	所在地	荒川区荒川三丁目3番10号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
	所在地	豊島区東池袋一丁目44番3号 池袋I S P タマビル
施設開設年月日		平成23年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成23年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～令和4年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、創作室、だれでもトイレ（学童クラブ併設）</p> <p>【特徴ある施設】 備蓄倉庫</p> <p>【総入館者数】 75,473名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)4,472名 (乳幼児)5,038名 (小学生)5,624名 (中学生)1,203名 (高校生)574名 (成人)2,058名 (高齢者)14,343名 (合計)33,312名</p> <p>貸室利用者数 42,161名</p>	
平成30年度の事業計画		
【乳幼児】	幼児クラスの参加人数にあわせたプログラムを提供するとともに、外で遊ぶことの楽しさを体験できるよう、公園遊び等を積極的に実施する。	
【小学生】	定期的なスポーツ大会等を実施し、学校や学年が異なる子どもたちの交流を促進するとともに、木工作や科学工作、手芸等の創作活動を展開し、女子児童が参加しやすい環境を整備する。	
【中高生】	中高生の要望の実現に向けて、バンドや料理等のサークル活動を支援する。	
【成人】	成人ボランティアの方に御協力をいただきながら、ふれあい館の行事や地域のお祭り等を展開していく。	
【高齢者】	体操、スポーツ、カラオケ等の事業を継続的に実施し、文化の充実に努める。	
【世代間交流】	中高生、成人、職員が一緒になって各種事業やスポーツ大会に参加し、世代間交流を促進する。	
【地域交流】	地域と連携して、幅広い世代の方が交流できる季節行事を実施する。	
平成30年度の事業実績		
【乳幼児】	利用者のニーズを踏まえた幼児タイムを実施し、参加者からは大変好評だったほか、公園での外遊びを積極的に実施し、自然とのふれあいや体を動かすことの楽しさを知る機会を提供した。	
【小学生】	スポーツ事業の実施方法を見直したところ、子どもたちからは大変好評で、学校や学年を超えての交流を促進した。	
【中高生】	中高生の要望を基にダーツやフットサル等の活動を実施したほか、区外での活動を中高生とともに企画・実施し、中高生の健全な成長を支援した。	
【成人】	スポーツタイムの参加者がフットサル大会に出場するなど、成人世代の余暇の充実に寄与した。	
【高齢者】	体操、スポーツ、カラオケ等の事業を実施し、高齢者の健康の増進と文化の充実に寄与した。	
【世代間交流】	キンボールやビーチボールの活動を通じて、小学生から成人までの幅広い交流を促進した。	
【地域交流】	地域のお祭りなどの各種イベントの運営に協力し、地域コミュニティの活性化に寄与した。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			72
利用者の事業に対する満足度が高い	20	5	100%	20
職員の接遇がきちんとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	5	100%	5
積極的な事業展開を行っている	10	3	60%	6
利用者数が増加している	20	4	80%	16
合計(A)	100			92

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	5	100%	2
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
安全に対する積極的な取組を行っている	4	3	60%	2.4
合計(B)	10			8.4
合計(A+B)				100.4
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S

評価内容

「施設の維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。
「区民サービス」については、利用者の事業に対する満足度が特に高く、適切に運営されている。また、職員の接遇に対する意識は高く、利用者からの評価も高い。
「その他の評価項目」については、地域のお祭りの運営に協力するなど、積極的に地域との交流を図っているほか、区民雇用率も高く、地域の活性化に大きく貢献している。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・業務の効率化を図り、より積極的に事業を展開するよう求めていく。
- ・二次避難所の開設に関する訓練を実施するなど、安全に対してより積極的に取組むよう求めていく。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	50,176,903	47,149,263	50,200,459	46,570,627
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	0	65,820	200,000	109,246
	計	50,176,903	47,215,083	50,400,459	46,679,873
支出	運営費	3,868,647	2,423,596	2,055,083	2,196,955
	管理費	15,572,842	12,795,504	15,775,342	14,877,074
	本部経費	5,381,594	1,319,269	1,900,000	1,688,681
	人件費	27,691,818	27,193,730	28,191,401	24,918,297
	修繕費	1,091,988	950,551	1,115,544	1,091,637
	その他支出	0	0	0	0
	計	48,225,295	43,363,381	47,137,370	43,083,963
収支差額	1,951,608	3,851,702	3,263,089	3,595,910	

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算している。
- 2 平成29年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の2分の1を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 3 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告等を確認した結果、会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	樹木剪定の回数を減らす等経費縮減努力が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、活動性・健全性が良好であり、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面、労務面は優良、財務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川山吹ふれあい館
	所在地	荒川区荒川七丁目6番8号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人荒川区高年者クラブ連合会
	所在地	荒川区荒川一丁目34番6号
施設開設年月日		平成18年2月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年2月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、プレイルーム(親子ふれあいひろば)、多目的室、洋室、和室、創作室、相談室、授乳室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】茶室、調理・会議室、屋上庭園</p> <p>【総入館者数】 51,827名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)4,732名 (乳幼児)5,501名 (小学生)5,479名 (中学生)1,240名 (高校生)118名 (成人)2,192名 (高齢者)9,639名 (合計)28,901名</p> <p>貸室利用者数 22,926名</p>	

平成30年度の事業計画

- 【乳幼児】 安全で楽しく過ごせる場、子育て情報が得られる場として各事業を実施するとともに、子育ての悩みや喜びを共有できる環境の充実を図る。
- 【小学生】 日々の遊びや運動、創作活動等の充実を図るとともに、伝承遊びや季節を楽しむ遊びを積極的に導入し、子どもたちに幅広い経験を提供する。
- 【中高生】 中高生にとって、居心地が良く、気軽に立ち寄れる環境を整備するとともに、中高生の自主的な活動を支援する。
- 【成人】 成人の多様な需要に応えられるよう、事業の実施日時・内容等を工夫し、利用の拡大を図る。
- 【高齢者】 レクリエーション活動と健康促進活動の充実を図るとともに、新規事業を立ち上げ、高齢者の「生きがいづくり」を支援する。
- 【世代間交流】 全世代がふれあいと交流を楽しむことのできるよう、各季節でお祭りを実施する。
- 【地域交流】 地域と積極的に連携して事業を実施する。

平成30年度の事業実績

- 【乳幼児】 「ママのほっとたいむ」などの子育て支援事業を実施したほか、保護者の要望を受けて、幼児ダンスサークルを新たに実施し、子どもの成長を喜ぶことのできる環境を整備した。
- 【小学生】 木工活動やダンス、一輪車等の充実した活動を通じて、子どもたちの健やかな成長を支援した。また、各種伝承遊びを積極的に実施し、子どもたちに幅広い体験を提供した。
- 【中高生】 卓球やバスケットを楽しむ「中高生タイム」を実施し、中高生の健全な居場所を提供した。
- 【成人】 好評のヨガ教室などを中心に、成人世代の余暇の充実を図る事業を実施した。
- 【高齢者】 輪投げやスポーツ吹き矢などの事業を積極的に実施し、高齢者の健康の増進に寄与した。
- 【世代間交流】 法人本部主催の運動会に幼児タイムの親子が参加するなど、幅広い世代の交流を促進した。
- 【地域交流】 「輪投げ」や「スポーツ吹き矢」の推進を図るなど、地域と積極的に連携して事業を実施した。

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			16
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	3	60%	3
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	3	60%	3
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			58
利用者の事業に対する満足度が高い	20	3	60%	12
職員の接遇がきちんとなされている	25	3	60%	15
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	3	60%	3
積極的な事業展開を行っている	10	4	80%	8
利用者数が増加している	20	5	100%	20
合計(A)	100			74

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	5	100%	2
施設全体における評価が高い	2	3	60%	1.2
安全に対する積極的な取組を行っている	4	4	80%	3.2
合計(B)	10			8.4
合計(A+B)				82.4
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

「施設の維持管理」については、危機管理等を徹底し、適正に管理されている。
 「区民サービス」については、幅広い世代に対応した、多様な事業が実施されているほか、前年度と比較して利用者数は安定しており、施設を適切に運営している。
 「その他の評価項目」については、特に高齢者を中心とした、地域と連携した事業を実施しているほか、区民雇用率も高く、地域の活性化に大きく貢献している。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・ 日常点検や日常清掃をきめ細かく実施し、利用者がより快適かつ安全・安心に利用できる施設となるよう、求めていく。
- ・ 利用者の事業に対する満足度の向上を図るため、利用者のニーズを的確に把握し、事業に反映させるよう、求めていく。
- ・ 接遇に関する職員研修等を積極的に実施し、職員の接遇の向上を図るよう求めていく。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	47,092,106	45,009,881	54,473,316	52,897,704
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	6,466	71,056	218,200	218,200
	計	47,098,572	45,080,937	54,691,516	53,115,904
支出	運営費	3,166,297	10,566,920	2,968,440	1,830,246
	管理費	9,879,969	4,385,085	13,864,508	15,753,798
	本部経費	2,827,945	744,000	1,600,000	1,597,054
	人件費	29,584,455	26,286,775	31,786,116	30,591,695
	修繕費	1,130,274	1,143,876	1,145,372	859,734
	その他支出	0	0	0	0
	計	43,760,995	42,382,656	49,764,436	49,035,473
収支差額		3,337,577	2,698,281	4,927,080	4,080,431

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算している。
- 2 平成29年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の2分の1を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 3 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告等を確認した結果、会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	空調工事があり、当初計画より光熱水費支出が減少している。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、障害者雇用率が法定を下回っているが、概ね労務環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、活動性・健全性が良好であり、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	町屋ふれあい館
	所在地	荒川区町屋一丁目35番8号
指定管理者	名称	社会福祉法人雲柱社
	所在地	世田谷区上北沢三丁目8番19号
施設開設年月日		平成24年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、相談室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】音楽室、窯室</p> <p>【総入館者数】104,343名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)14,123名 (乳幼児)16,165名 (小学生)18,220名 (中学生)3,460名 (高校生)503名 (成人)4,702名 (高齢者)7,996名 (合計)65,169名</p> <p>貸室利用者数 39,174名</p>	
平成30年度の事業計画		
【乳幼児】	平成29年度から始めた「幼児の組織活動」については、利用者の需要が高かったため、さらに充実を図るとともに、研修を通じて職員のスキルアップを図り、子育て世代の親子が来館しやすい環境を整備する。	
【小学生】	平成29年度から始めた「高学年の組織活動」の充実を図り、中学生への継続的支援に繋げるとともに、親子で一緒にスポーツができる新規事業を実施する。	
【中高生】	新規事業として、中学生の学習支援を実施する。	
【成人】	成人層の健康やリラクゼーションを考え、年数回の講座(ネイルアート等)を実施する。	
【高齢者】	利用者からの要望を踏まえ、新規事業として「卓球タイム」を実施する。	
【世代間交流】	他世代の方々が一緒に食事をすることで、交流を深めながら食べることの楽しさを実感できる「みんなで食事会」の充実を図る。	
【地域交流】	ふれあい館が地域に親しまれるよう、地域行事へ積極的に参加するとともに、福祉施設と積極的に交流を図る。	
平成30年度の実績		
【乳幼児】	「幼児の組織活動」の定員を増やすなど、利用者のニーズをきめ細かく把握し、各事業を実施した結果、乳幼児とその保護者の年間利用者数が大きく増加した。	
【小学生】	内容の充実を目標に掲げた「高学年の組織活動」では、キャンプや乳幼児への絵本の読み聞かせ、地域のごみ拾いなど、多様な活動を展開し、子どもたちの健やかな成長を支援した。	
【中学生】	中学生を対象にした学習支援を定期的実施し、地域の中学生の学びをサポートした。	
【成人】	各種講座を実施し、成人世代の余暇の充実を図ったほか、「手芸カフェ」の参加者が、ボランティアとして小学生に教えてくれるようになるなど他世代との交流まで発展させることができた。	
【高齢者】	新規事業の「卓球タイム」などを中心に、各種事業を実施し、高齢者の健康の増進と交流の発展に寄与した。	
【世代間交流】	「みんなで食事会」の実施回数を増加するなど、事業の充実を図り、世代間交流を促進した。	
【地域交流】	地域行事に積極的に参加したほか、子どもたちと福祉施設との交流事業を実施した。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			73
利用者の事業に対する満足度が高い	20	4	80%	16
職員の接遇がきちんとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	4	80%	4
積極的な事業展開を行っている	10	4	80%	8
利用者数が増加している	20	5	100%	20
合計(A)	100			93

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	5	100%	2
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
安全に対する積極的な取組を行っている	4	5	100%	4
合計(B)	10			10
合計(A+B)				103
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S

評価内容

「施設の維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。
「区民サービス」については、職員の接遇に対する意識が高く、利用者からの評価も高い。また、利用者数については、前年度から増加しており、利用者の多様なニーズを的確に反映した運営が行われている。
「その他の評価項目」については、職員の上級救命講習の受講率が高いなど、安全に対する積極的な取組が行われている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

利用者の事業に対する満足度の向上を図るため、利用者のニーズを的確に把握し、事業に反映させるよう、求めていく。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	48,095,290	51,024,118	55,832,569	50,235,544
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	0	436,248	536,000	408,922
	計	48,095,290	51,460,366	56,368,569	50,644,466
支出	運営費	3,753,859	3,573,442	3,773,000	3,540,584
	管理費	10,812,678	12,405,043	12,947,000	12,064,924
		本部経費	1,750,396	1,774,906	1,770,000
	人件費	30,218,446	34,439,583	37,300,000	32,629,762
	修繕費	390,744	907,200	923,569	864,108
	その他支出	0	0	0	0
	計	45,175,727	51,325,268	54,943,569	49,099,378
収支差額		2,919,563	135,098	1,425,000	1,545,088

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算している。
- 2 平成29年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の2分の1を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 3 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告等を確認した結果、会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	区内在住者を積極採用する等、経費縮減努力が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、障害者雇用率が法定を下回っているが、概ね労務環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、活動性・健全性が良好であり、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面は優良、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒木田ふれあい館
	所在地	荒川区町屋六丁目13番2号
指定管理者	名称	株式会社大起エンゼルヘルプ
	所在地	荒川区東尾久一丁目1番4号5階
施設開設年月日		平成16年10月26日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成16年10月26日
指定期間		平成28年4月1日～令和3年3月31日
業務内容		<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】音楽室、調理・会議室</p> <p>【総入館者数】 78,190名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)4,819名 (乳幼児)7,456名 (小学生)14,017名 (中学生)1,902名 (高校生)138名 (成人)9,150名 (高齢者)5,814名 (合計)43,296名</p> <p>貸室利用者数 34,894名</p>
平成30年度の事業計画		
【乳幼児】	年齢や発育状況にあわせたプログラムを提供し、子どもの健やかな成長を見守るとともに、保護者の育児に関する悩みや不安を解消し、気軽にふれあい、交流できる場を提供する。	
【小学生】	子どもたちの自主的な運動と創作活動を支援し、個性や可能性、能力を伸ばし、心身の健康とたくましく生きる力を育む。	
【中学生】	中学生が十分に体を動かせる時間を設け、職員も寄り添って接することで、中学生と信頼関係を構築し、気軽に利用できる環境を整える。	
【成人】	各種事業を通じて、利用者の相互交流を促進するとともに、自主的かつ主体的な新たな活動に繋がるよう支援する。	
【高齢者】	健康増進に関する事業や、趣味・教養を支援する事業を実施し、高齢者の方が住み慣れた荒川区で、末長く元気に生活できるよう支援する。	
【世代間交流】	ふれあい祭り等の大型イベントを通じて、各世代の交流を促進する。	
【地域交流】	地域の行事に積極的に参加し、地域との交流を図る。	
平成30年度の事業実績		
【乳幼児】	乳幼児事業を計画どおりに実施したほか、利用者の要望を踏まえ、幼児タイムのクラス数を増加するなど、地域の子育て支援の拠点施設としての役割を果たした。	
【小学生】	「おばけ屋敷」や「運動会」、「クリスマス会」などの行事を通じて、児童ボランティアを積極的に活用するなど、子どもたちの主体性や自主性の成長を支援した。	
【中学生】	職員が中学生と共にスポーツを行い、中学生との信頼関係を構築した。	
【成人】	年間計画どおりに各種事業を実施し、成人世代の余暇の充実に寄与した。	
【高齢者】	年間計画どおりに各種事業を実施し、高齢者の健康で文化的な生活を支援した。	
【世代間交流】	ふれあい祭りやトレインフェスティバル等の大型イベントを実施した結果、多くの方に御来館いただき、世代間の交流を促進した。	
【地域交流】	地域の各行事に積極的に参加したほか、近隣中学校の職場体験を受け入れるなど、地域の関係機関との連携を図った。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			16
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	3	60%	3
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	3	60%	3
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			58
利用者の事業に対する満足度が高い	20	3	60%	12
職員の接遇がきちんとなされている	25	3	60%	15
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	3	60%	3
積極的な事業展開を行っている	10	4	80%	8
利用者数が増加している	20	5	100%	20
合計(A)	100			74

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	4	80%	1.6
施設全体における評価が高い	2	3	60%	1.2
安全に対する積極的な取組を行っている	4	3	60%	2.4
合計(B)	10			7.2
合計(A+B)				81.2
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

「施設の維持管理」については、危機管理等を徹底し、適正に管理されている。
「区民サービス」については、幅広い世代に対応した、多様な事業が実施されているほか、前年度と比較して利用者数は安定しており、施設を適切に運営している。
「その他の評価項目」については、地域のお祭りに積極的に参加するなど、地域との充実した交流が図られているほか、区民雇用も積極的に行われている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・ 日常点検や日常清掃をきめ細かく実施し、利用者がより快適かつ安全・安心に利用できる施設となるよう、求めていく。
- ・ 利用者の事業に対する満足度の向上を図るため、利用者のニーズを的確に把握し、事業に反映させるよう、求めていく。
- ・ 接遇に関する職員研修等を積極的に実施し、職員の接遇の向上を図るよう求めていく。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	47,783,489	47,624,933	47,787,565	44,985,834
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	0	272,600	250,000	214,650
	計	47,783,489	47,897,533	48,037,565	45,200,484
支出	運営費	2,959,169	3,160,170	3,302,000	3,021,384
	管理費	11,895,218	8,892,251	11,441,777	11,837,614
		本部経費	4,591,411	50,000	60,000
	人件費	30,290,684	31,088,327	30,530,000	27,746,138
	修繕費	1,127,031	1,130,522	1,131,565	1,113,696
	その他支出	0	0	0	0
	計	46,272,102	44,271,270	46,405,342	43,718,832
収支差額		1,511,387	3,626,263	1,632,223	1,481,652

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算している。
- 2 平成29年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の2分の1を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 3 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、総勘定元帳、各証憑書類等を確認した結果、決算書の作成方法の指摘事項について速やかに改善され、追加の資料が提出された。	良好
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等を比較して収支差額に差異があるが、綿密な原因分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	光熱水費、委託料が増加しているが、運営費の経費縮減の努力が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、活動性・健全性が良好であり、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面、財務面は良好、労務面は優良であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	尾久ふれあい館
	所在地	荒川区西尾久二丁目25番13号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
	所在地	豊島区東池袋一丁目44番3号 池袋ISPタマビル
施設開設年月日		平成24年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、相談室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】調理実習室、レクホール</p> <p>【総入館者数】 116,035名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)8,421名 (乳幼児)9,832名 (小学生)10,339名 (中学生)1,989名 (高校生)485名 (成人)4,951名 (高齢者)17,082名 (合計)53,099名</p> <p>貸室利用者数 62,936名</p>	
平成30年度の事業計画		
【乳幼児】	年齢に応じた各種乳幼児事業を実施し、親子の交流を促進するとともに、保護者同士の仲間作りを支援し、育児の不安を和らげる。	
【小学生】	ダンスやキンボール等の需要の高いスポーツ事業を中心に実施し、多目的室での小学生の活動を充実させる。	
【中高生】	中高生の要望を踏まえたダンスサークルを発足し、中高生の「やりたい」を支援する。	
【成人】	地域の方の自主的・主体的な事業協力を引き出す取組みを大切にして、地域の方の力を十分に活用した事業を実施する。	
【高齢者】	日舞等の利用人数の少ない事業の前に健康体操を取り入れるなど工夫し、事業リーダーの協力を得ながら健康づくり事業を実施する。	
【世代間交流】	自然体験や調理、工作、スポーツ、文化・伝統に関する活動を通じて、あらゆる世代のふれあいと学びの場を提供する。	
【地域交流】	近隣の福祉施設との交流を継続・発展させるとともに、地域と連携した各種事業を実施し、子どもたちが地域に対して興味や愛着を深められるよう支援する。	
平成30年度の事業実績		
【乳幼児】	幼児タイムに参加している保護者が、リサイクル事業にボランティアとして活動していただくようになるなど、利用者同士の交流が発展した。	
【小学生】	「おばけ屋敷」等のイベントでは、小学生が実行委員となって運営し、小学生の自主性等を育むとともに、ポッチャ等の普段関わりの少ないスポーツ活動を展開し、ニュースポーツへの関心の向上に寄与した。	
【中高生】	「中高生レンタルスペース」やダンス事業を実施し、中高生の健やかな成長を支援した。	
【成人】	広報を見直した結果、フラワーアレンジメント教室の参加者数が大きく増加するなど、成人世代の余暇の充実に寄与した。	
【高齢者】	利用者の要望を受けて、様々な体操を取り入れるなど、高齢者の健康の増進に寄与した。	
【世代間交流】	菜園事業の「おぐっこガーデン」では、参加者向けにスタンプカードを作成するなど工夫し、事業への参加を通じて、世代間の交流を促進した。	
【地域交流】	地域の医療機関と連携して、「健康まつり」にブースを出展するなど、積極的に地域の関係機関との連携を図った。	

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			80
利用者の事業に対する満足度が高い	20	5	100%	20
職員の接遇がきちんとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	5	100%	5
積極的な事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	20	5	100%	20
合 計 (A)	100			100
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	5	100%	2
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
安全に対する積極的な取組を行っている	4	3	60%	2.4
合 計 (B)	10			8.4
合 計 (A+B)				108.4
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S
評価内容				
<p>「施設の維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。</p> <p>「区民サービス」については、職員の接遇に対する意識が高く、利用者からの評価も高い。また、利用者数については、前年度から増加しており、利用者の多様なニーズを的確に反映した運営が行われている。</p> <p>「その他の評価項目」については、地域の関係機関と連携した事業を積極的に実施しているほか、区民雇用率も高く、地域の活性化に大きく貢献している。</p>				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
二次避難所の開設に関する訓練を実施するなど、安全に対してより積極的に取組むよう求めていく。				

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	50,624,729	52,077,390	60,415,335	55,853,426
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	0	350,846	489,500	455,261
	計	50,624,729	52,428,236	60,904,835	56,308,687
支出	運営費	2,259,803	2,994,819	2,658,740	3,209,762
	管理費	16,335,364	14,123,701	17,833,744	17,798,466
		本部経費	5,381,594	1,412,416	1,900,000
	人件費	28,577,609	31,875,448	37,003,607	32,799,265
	修繕費	698,652	1,294,006	1,382,344	1,361,124
	その他支出	0	0	0	0
	計	47,871,428	50,287,974	58,878,435	55,168,617
収支差額		2,753,301	2,140,262	2,026,400	1,140,070

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算している。
- 2 平成29年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の2分の1を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 3 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告等を確認した結果、会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	地域住民の協力を得るなど経費縮減努力が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、活動性・健全性が良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面、労務面は優良、財務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	西尾久ふれあい館
	所在地	荒川区西尾久八丁目3番31号
指定管理者	名称	株式会社日本ダイケアセンター
	所在地	千代田区神田猿楽町二丁目2番3号
施設開設年月日		平成16年10月12日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成16年10月12日
指定期間		平成28年4月1日～令和3年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、だれでもトイレ（学童クラブ併設）</p> <p>【総入館者数】 63,415名 （内訳） 世代別事業参加者数 (保護者)8,862名 (乳幼児)12,236名 (小学生)9,663名 (中学生)1,218名 (高校生)281名 (成人)3,555名 (高齢者)6,324名 (合計)42,139名 貸室利用者数 21,276名</p>	
平成30年度の事業計画		
【乳幼児】	ふれあい館を利用するきっかけとなること多い身体測定等の事業を特に丁寧に実施し、継続的にふれあい館を利用してもらうことで、利用者同士の交流を促進し、子育ての孤立化を防止する。	
【小学生】	子どもたちが安心・安全に遊べる環境を整備するとともに、性格の異なる4つのサークル活動を展開し、子どもの個性に応じた活動を支援する。	
【中高生】	中高生だけが多目的室を使用できる時間を設け、中高生の利用の定着を図るとともに、ボランティアを始めとした、中高生が活躍できる機会を提供する。	
【成人】	成人が参加しやすいよう、土・日曜日に事業を実施するとともに、親子で参加できる事業を展開する。	
【高齢者】	健康で充実した毎日を過ごせるよう、各事業の充実を図る。	
【世代間交流】	各世代ごとの事業の中で、多世代と交流できる機会を多く設定し、世代間の交流を促進する。	
【地域交流】	小学生によるミニコミ誌作成サークルが地域取材し、地域について学ぶことを支援するとともに、地域の福祉施設との交流会を継続して実施する。	
平成30年度の事業実績		
【乳幼児】	ふれあい館を継続して御利用いただけるよう、「身体測定」や「ベビーマッサージ」等の事業を丁寧に実施し、地域の子育て支援の拠点施設としての役割を果たした。	
【小学生】	性格の異なる4つのサークル活動を実施したほか、大型行事や親子工作教室など多様な事業を展開し、子どもたちの心身の成長を支援した。	
【中高生】	中高生タイム等を通じて、中高生の安全な居場所を提供したほか、サマーボランティアを募り、中高生がスタッフとして運営に携われる機会を提供した。	
【成人】	土曜日に親子で参加できる事業を実施したところ、父親の参加が定着したほか、コーラスやクッキングカフェ等の事業が好評であった。	
【高齢者】	ふれあいカフェでは、区関係各課と連携した講座等を実施し、参加者からは大変好評であった。	
【世代間交流】	土曜日に実施した「だれでもワクワク工房」を始め、縁日あそびやハロウィンイベントなどを通じて、幅広い世代間の交流を促進した。	
【地域交流】	小学生の各サークルが、活動を通じて地域との関わりを深めるなど、地域との交流を積極的に行った。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			17
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	3	60%	3
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	4	80%	4
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			70
利用者の事業に対する満足度が高い	20	5	100%	20
職員の接遇がきちんとなされている	25	4	80%	20
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	4	80%	4
積極的な事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	20	4	80%	16
合計(A)	100			87

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	4	80%	1.6
施設全体における評価が高い	2	4	80%	1.6
安全に対する積極的な取組を行っている	4	5	100%	4
合計(B)	10			9.2
合計(A+B)				96.2
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

「施設の維持管理」については、危機管理等を徹底し、適正に管理されている。
「区民サービス」については、利用者の事業に対する満足度が特に高く、適切に運営されている。また、幅広い世代を対象にした、多様な事業を積極的に実施している。
「その他の評価項目」については、全常勤職員が上級救命講習を受講するなど、安全に対する積極的な取組が行われている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

日常点検や日常清掃をきめ細かく実施し、利用者がより快適に利用できる施設となるよう、求めていく。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	48,272,588	48,829,943	48,272,588	47,892,636
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	0	365,580	370,900	219,116
	計	48,272,588	49,195,523	48,643,488	48,111,752
支出	運営費	2,949,468	2,501,411	2,890,000	2,626,189
	管理費	11,813,702	12,974,358	13,488,111	13,185,368
		本部経費	3,632,901	1,114,725	1,305,143
	人件費	28,457,394	27,306,994	26,018,000	26,052,813
	修繕費	1,133,568	1,664,462	1,107,107	934,540
	その他支出	0	0	0	0
	計	44,354,132	44,447,225	43,503,218	42,798,910
収支差額		3,918,456	4,748,298	5,140,270	5,312,842

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担とする。
- 2 修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算している。
- 3 平成29年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の2分の1を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 4 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、総勘定元帳、各証憑書類等を確認した結果、決算書に関する指摘事項について速やかに改善され、追加の資料が提出された。	良好
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等を比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	物品修繕費が増加しているが、光熱水費、消耗品費、運営費で経費縮減の努力が行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、雇用契約書に関する指摘事項について、速やかに改善の計画が示された。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、活動性・健全性が良好であり、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	東日暮里ふれあい館
	所在地	荒川区東日暮里一丁目17番13号
指定管理者	名称	学校法人道灌山学園
	所在地	荒川区西日暮里四丁目7番15号
施設開設年月日		平成17年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成17年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～令和4年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、プレイルーム(親子ふれあいひろば)、多目的室、洋室、和室、創作室、相談室、だれでもトイレ(学童クラブ併設)</p> <p>【特徴ある施設】音楽室</p> <p>【総入館者数】53,730名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)8,905名 (乳幼児)10,356名 (小学生)6,694名 (中学生)1,153名 (高校生)125名 (成人)4,098名 (高齢者)6,791名 (合計)38,122名</p> <p>貸室利用者数 15,608名</p>	
平成30年度の事業計画		
【乳幼児】	多様化する子育てのニーズに対応すべく、幼児タイムや親子ふれあいひろばを中心に、乳幼児とその保護者が安心して利用できる環境・活動の充実を図る。	
【小学生】	日々の活動の中で、子どもたちがのびのびと遊べるように環境を整備するとともに、大型の行事での実行委員会や検定遊びを通じて、様々な体験を提供し、子どもの成長を支援する。	
【中学生】	中高生のボランティアを積極的に受け入れ、主体的に事業に参加できる環境を整える。	
【成人】	地域活動の拠点として来館しやすい環境を整備するとともに、利用者のニーズを的確に把握し、幅広い年齢層に対応した事業を展開する。	
【高齢者】	地域の中の身近な施設として、来館機会の増加を図り、高齢者の生活や教養の質の向上に努める。	
【地域交流】	地域の動向をきめ細かく把握し、地域と連携した事業を積極的に実施する。	
平成30年度の実績		
【乳幼児】	各家庭の実情に応じた幼児タイムや親子ふれあいひろば、パパとあそぼう等の事業を実施し、多様な子育てニーズに対応した。	
【小学生】	大型行事を小学生による実行委員会形式で実施するなど、子どもたちの主体性・自主性を育み、多様な体験の機会を提供した。	
【中学生】	大型行事の際には、子どもたちの活動をサポートしてもらうなど、主体的に事業に参加できる環境を整備した。	
【成人】	利用者のニーズを的確に把握し、需要の高い講座を積極的に実施した。	
【高齢者】	気軽に来館できる雰囲気作りに取り組み、カラオケや舞踊等の事業では、参加者数が増加した。	
【地域交流】	お祭り等の地域行事に実行委員又は事務局として参加し、地域との積極的な交流を図った。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			18
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	4	80%	4
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	4	80%	4
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			76
利用者の事業に対する満足度が高い	20	5	100%	20
職員の接遇がきちんとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	5	100%	5
積極的な事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	20	4	80%	16
合計(A)	100			94

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	4	80%	1.6
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
安全に対する積極的な取組を行っている	4	5	100%	4
合計(B)	10			9.6
合計(A+B)				103.6
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S

評価内容

「施設の維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。
「区民サービス」については、利用者の事業に対する満足度が特に高く、適切に運営されている。また、職員の接遇に対する意識は高く、利用者からの評価も高い。
「その他の評価項目」については、利用者からの施設全体に対する評価が高いほか、他館と合同で二次避難所の開設に関する訓練を実施するなど、安全に対する積極的な取組が行われている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

利用者数の増加に向けて、これまで以上に地域住民のニーズを的確に把握し、事業に反映するよう求めていく。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	47,469,955	51,393,246	52,469,833	52,365,522
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	0	0	420,000	0
	計	47,469,955	51,393,246	52,889,833	52,365,522
支出	運営費	1,855,467	2,942,504	1,900,000	2,817,420
	管理費	6,888,826	8,809,195	11,437,082	11,602,194
		本部経費	1,200,000	650,846	636,074
	人件費	37,500,910	37,737,115	37,260,890	37,166,039
	修繕費	1,108,152	1,091,089	1,095,665	1,086,205
	その他支出	0	0	0	0
	計	47,353,355	50,579,903	51,693,637	52,671,858
収支差額		116,600	813,343	1,196,196	-306,336

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算している。
- 2 平成29年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の2分の1を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 3 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告等を確認した結果、会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	職員自ら清掃を行うなど縮減努力が行われたが、猛暑の影響などから支出に差が生じている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、障害者雇用率が法定を下回っているが、概ね労務環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、活動性・健全性が良好であり、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面は優良、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	夕やけこやけふれあい館
	所在地	荒川区東日暮里三丁目11番19号
指定管理者	名称	社会福祉法人教信精舎
	所在地	荒川区西尾久六丁目9番7号
施設開設年月日		平成25年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成25年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、多目的室、洋室、和室、創作室、授乳室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】レクリエーションホール</p> <p>【総入館者数】 106,218名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)9,918名 (乳幼児)10,685名 (小学生)19,438名 (中学生)1,168名 (高校生)36名 (成人)2,055名 (高齢者)9,911名 (合計)53,211名</p> <p>貸室利用者数 53,007名</p>	
平成30年度の事業計画		
【乳幼児】	乳幼児タイムの内容の充実に重点を置くとともに、「パパも一緒に(ファミリーフェスタ)」、「ママフレ」の充実に図りつつ、新たに「新親子わくわく体操」を実施する。	
【小学生と中学生】	創作室の事業の多様化(工・科学系実験教室、手工芸等)に重点を置くとともに、「多目的室de中学生(中学生の居場所拡大)」の充実に図りつつ、新規事業として、職員が子どもと一緒に遊んで遊ぶ「先生とあそぼ!」を実施する。	
【成人と高齢者】	和室、多目的室及びレクホールの事業を重点的に推進するとともに、「みんなde唄おう(手づくり歌集作成、活用)」と「スポーツ吹き矢、輪投げ」大会の充実に図る。	
【世代間交流】	春・夏まつりの内容の充実に図るとともに、バスハイク、餅つき大会、文化祭、日暮里コミュニティ訪問等の事業を重点的に推進する。	
【地域交流】	地域の団体・サークル活動を支援し、交流の拠点となる開かれた施設運営を行う。	
平成30年度の事業実績		
【乳幼児】	幼児タイムでは、これまでの実績を踏まえ内容の充実に図ったほか、新規事業の「新親子わくわく体操」は大変好評であった。	
【小学生と中学生】	多目的室及び創作室のプログラムを工夫して運営したほか、日舞サークルと手芸教室を新規で事業を実施した結果、小学生の利用人数が増加した。	
【成人と高齢者】	スポーツ吹き矢や輪投げ大会では多くの方に御参加いただいたほか、高齢者事業では新規登録者の参加があった。	
【世代間交流】	春・夏まつりや餅つき大会等の大型行事を通じて、乳幼児から高齢者まで幅広い世代の交流を促進した。	
【地域交流】	地域のサークル活動を支援し、地域コミュニティの拠点施設としての役割を果たした。	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			76
利用者の事業に対する満足度が高い	20	5	100%	20
職員の接遇がきちんとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	5	100%	5
積極的な事業展開を行っている	10	3	60%	6
利用者数が増加している	20	5	100%	20
合 計 (A)	100			96

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	5	100%	2
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
安全に対する積極的な取組を行っている	4	5	100%	4
合計 (B)	10			10
合計 (A+B)				106
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S

評価内容

「施設の維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。
「区民サービス」については、職員の接遇に対する意識が高く、利用者からの評価も高い。また、利用者数については、前年度から増加しており、利用者の多様なニーズを的確に反映した運営が行われている。

「その他の評価項目」については、全常勤職員が上級救命講習を受講するなど、安全に対する積極的な取組が行われている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

業務の効率化を図り、より積極的に事業を展開するよう求めていく。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	48,368,833	47,639,093	57,486,836	54,409,540
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	118,162	740,060	431,913	573,801
	計	48,486,995	48,379,153	57,918,749	54,983,341
支出	運営費	3,194,346	3,609,309	4,166,896	3,712,339
	管理費	10,455,744	7,875,764	9,505,838	8,440,412
		本部経費	2,724,238	0	0
	人件費	34,408,295	34,675,393	40,178,761	38,257,435
	修繕費	428,610	402,840	970,011	721,829
	その他支出	0	0	0	0
	計	48,486,995	46,563,306	54,821,506	51,132,015
収支差額	0	1,815,847	3,097,243	3,851,326	

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算している。
- 2 平成29年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の2分の1を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 3 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告等を確認した結果、会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	消耗品に使用節約、運営費の節減など縮減努力が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、障害者雇用率が法定を下回っているが、概ね労務環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が優れているので、安定した運営を行う財務力を有している。	優良

総合評価

サービス面は優良、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	西日暮里ふれあい館
	所在地	荒川区西日暮里六丁目24番4号
指定管理者	名称	学校法人道灌山学園
	所在地	荒川区西日暮里四丁目7番15号
施設開設年月日		平成20年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成20年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～令和2年3月31日
業務内容		<p>乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる場を提供する。遊び・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るとともに、地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する事業を実施する。</p> <p>【主な施設】サロン、プレイルーム(親子ふれあいひろば)、多目的室、洋室、和室、創作室、相談室、だれでもトイレ</p> <p>【特徴ある施設】音楽室</p> <p>【総入館者数】70,574名 (内訳)</p> <p>世代別事業参加者数 (保護者)10,298名 (乳幼児)11,179名 (小学生)6,969名 (中学生)740名 (高校生)161名 (成人)2,792名 (高齢者)7,310名 (合計)39,449名</p> <p>貸室利用者数 31,125名</p>

平成30年度の事業計画

- 【乳幼児】 子育てのニーズに対応しながら、親子の関わりを深め、安心して利用できる事業を運営するとともに、年齢別の幼児タイムの充実を図り、子育てに関する不安を解消し、友達作りを支援する。
- 【小学生】 様々な館行事に子どもたちが主体的に参加できるよう、子どもたちの興味・関心に沿った事業を実施し、遊びを通じて心身の成長を支援する。
- 【中高生】 中高生の生活スタイルや心情に沿った対応を行い、中高生が利用しやすい環境を整備する。
- 【成人】 利用者が心地よく利用できるように環境を整えらるとともに、利用者の意見を真摯に受け止め、事業の充実につなげる。
- 【高齢者】 地域の中の身近な施設として、高齢者の生活や教養の質の向上を図り、各事業を通じて、「仲間作り」や「生きがい」の創出を支援する。
- 【地域交流】 地域に目を向け、地域の施設として根ざすことのできるよう、地域行事に積極的に参加し、地域との交流の充実を図る。

平成30年度の事業実績

- 【乳幼児】 幼児タイムでは、昔遊びを取り入れるなどプログラムを工夫し、参加者の満足感を高められるよう内容の充実を図った結果、利用者の参加率が上昇した。
- 【小学生】 デイキャンプやハロウィンイベントなどの子どもたちが興味・関心を持つ大型行事を実施し、子どもたちの心身の健やかな成長を支援した。
- 【中高生】 主にスポーツ活動を通じて、中高生の安全な居場所を提供した。
- 【成人】 利用者の意見を真摯に受け止め、事業運営に反映された結果、成人世代の来館者数が増加した。
- 【高齢者】 年間を通じて高齢者事業を丁寧に運営したほか、利用者アンケートに基づき他館との合同遠足を実施するなど、利用者のニーズを踏まえた事業を実施した。
- 【地域交流】 地域の商店街や保育園と連携して、大規模イベント「ハッピーハロウィンパレード」を実施するなど、地域コミュニティの拠点としての役割を果たした。

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	20			20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス	80			76
利用者の事業に対する満足度が高い	20	4	80%	16
職員の接遇がきちんとなされている	25	5	100%	25
ポスターや館だより等の広報方法を工夫している	5	5	100%	5
積極的な事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	20	5	100%	20
合計(A)	100			96

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	2	5	100%	2
区民雇用を積極的に行っている	2	4	80%	1.6
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
安全に対する積極的な取組を行っている	4	5	100%	4
合計(B)	10			9.6
合計(A+B)				105.6
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S

評価内容

「施設の維持管理」については、利用者が安全・安心に過ごせるよう適正に管理されている。
「区民サービス」については、職員の接遇に対する意識が高く、利用者からの評価も高い。また、利用者数については、前年度から増加しており、利用者の多様なニーズを的確に反映した運営が行われている。
「その他の評価項目」については、利用者からの施設全体に対する評価が高いほか、他館と合同で二次避難所の開設に関する訓練を実施するなど、安全に対する積極的な取組が行われている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

利用者の事業に対する満足度の向上を図るため、利用者のニーズを的確に把握し、事業に反映させるよう、求めていく。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	47,412,633	51,130,605	52,811,662	52,606,705
	利用料金収入	—	—	—	—
	その他収入	0	0	310,000	0
	計	47,412,633	51,130,605	53,121,662	52,606,705
支出	運営費	1,856,116	3,015,238	1,900,000	2,613,380
	管理費	6,047,592	8,326,659	12,017,701	11,368,308
		本部経費	300,000	692,271	636,074
	人件費	38,715,175	37,845,241	37,036,542	37,060,066
	修繕費	775,548	793,764	1,174,577	969,620
	その他支出	0	0	0	0
	計	47,394,431	49,980,902	52,128,820	52,011,374
収支差額		18,202	1,149,703	992,842	595,331

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算している。
- 2 平成29年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の2分の1を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 3 指定管理料については、運営費・管理費、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告等を確認した結果、会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	日常清掃は職員が行うなど経費縮減努力が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、障害者雇用率が法定を下回っているが、概ね労務環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、収益性、活動性・健全性が良好であり、安定的、継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面は優良、財務面、労務面は良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民施設課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区民会館（サンパール荒川）
	所在地	荒川区荒川一丁目1番1号
指定管理者	名称	株式会社ケイミックスパブリックビジネス
	所在地	港区虎ノ門二丁目2番5号
施設開設年月日		昭和50年3月28日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成30年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容	<p>1 文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する業務</p> <p>2 施設及び附帯設備（以下「施設等」という。）の利用に関する業務</p> <p>3 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務</p> <p>4 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務</p> <p>5 施設等の維持管理に関する業務</p> <p>6 前5号のほか、区長が必要と認める業務</p> <p><施設の概要></p> <p>大ホール 収容人員975席 面積1,162㎡</p> <p>小ホール 収容人員300席（移動席）面積281㎡</p> <p>集会室 第1（洋室）定員50名 面積78㎡</p> <p>第2（洋室）定員50名 面積73㎡</p> <p>第3（洋室）定員50名 面積85㎡</p> <p>第2・3は通し使用可能</p> <p>第4（和室）定員40名 面積90㎡</p> <p>第5（洋室）定員50名 面積92㎡</p> <p>第6（洋室）定員50名 面積99㎡</p> <p>第5・6は通し使用可能</p> <p>第7（洋室）定員100名 面積184㎡</p>	
平成30年度の事業計画		
<p>1 管理運営事務 施設の安全管理（日常点検、保守点検）、報告書、統計資料の作成及び区への報告、利用者アンケート集計、情報誌発行、行事案内等</p> <p>2 研修 安全管理研修、技術者研修、個人情報取扱研修、手話研修、ビジネスマナー研修等</p>		
平成30年度の事業実績		
<p>1 上記管理運営事務の実施</p> <p>2 利用料金収入 76,261,186円</p> <p>3 稼働率 大ホール60.7% 小ホール59.6% 集会室42.4%</p> <p>4 利用者数 大ホール149,169人 小ホール60,189人 集会室73,225人</p>		

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	40			54
快適に利用できるための施設管理がなされている	30	5	100%	30
業務の遂行に必要な職員が配置されている	15	4	80%	12
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	15	4	80%	12
区民サービス	40			35
利用者に対し、満足のいくサービスを提供している	15	5	100%	15
利用者の意見を取入れ、改善につなげている	10	4	80%	8
事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	15	4	80%	12
合計(A)	100			89
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
区内事業者を活用している	5	4	80%	4
周知活動に努めている	5	4	80%	4
合計(B)	10			8
合計(A+B)				97
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A
評価内容				
<p>「施設の維持管理」については、作成した「維持管理計画表」による一括した設備管理、利用状況に応じた柔軟な職員配置の変更などが見られ、適正に管理されていた。</p> <p>「区民サービス」については、主催者要望を取り入れた積極的な公演内容のPR、事故・苦情等の原因分析による再発防止への取り組みが見られ、利用者満足度向上に努めていた。</p> <p>「その他の評価項目」については、消耗品購入や修繕工事に際して、積極的に区内事業者への発注を行っている。消耗品購入では、209件中99件(47.4%)、修繕工事では、35件中専門性の高い工事等20件を除く9件(60.0%)を区内業者に発注していた。</p> <p>窓口職員の制服着用(コサージュ付)、窓口やトイレへの花の設置、施設利用者への礼状郵送、季節ごとの館内外の装飾、正面花壇や5階庭園の植栽の手入れなど、施設の魅力向上をし継続的な利用につながるよう努めている。</p> <p>自主事業については、当初、人材育成2事業、区民還元1事業と計画したが、区民還元1事業追加した4事業とし、より芸術文化に触れる機会を増やし事業の内容充実を図った。</p> <p>新規利用者獲得の一環として、施設周知を図るため月刊情報紙を発行し、催事やギャラリー展示内容を掲載し、利用者に手に取ってもらえるよう工夫した。</p>				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<p>昨年度課題であったアンケートについて積極的に収集した結果、多くの意見を集めた。引き続きアンケートを積極的に収集するとともに分析を行い、より良い施設運営を目指す。</p> <p>提案にある東京オリンピック・パラリンピックに向けての気運醸成プログラムを計画し、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて実施していく。</p>				

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	154,850,000	154,312,600	159,404,000	152,347,056
	利用料金収入	65,887,344	75,235,088	67,391,000	76,261,257
	その他収入	5,386,790	5,115,925	4,650,000	1,994,634
	計	226,124,134	234,663,613	231,445,000	230,602,947
支出	運営費	0	0	1,000,000	1,098,795
	管理費	151,575,603	148,926,665	175,871,000	168,888,074
	本部経費	26,341,962	20,126,716	14,568,000	13,687,916
	人件費	59,074,617	64,951,604	40,647,000	35,987,397
	修繕費	8,587,782	8,292,325	9,763,000	8,204,724
	その他支出	4,124,304	3,841,236	0	0
	計	223,362,306	226,011,830	227,281,000	214,178,990
収支差額		2,761,828	8,651,783	4,164,000	16,423,957

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算としている。
- 2 運営費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担とする。
- 3 平成30年度分より、収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の2分の1を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 4 指定管理料については、管理費・人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、総勘定元帳、各証憑書類等を確認した結果、決算書の一部に指摘事項があったが、速やかに改善された。	良好
	予算管理が適正である	予算・決算、前年度決算等を比較し、収支差額に問題はなく、予算管理は適正に行われていた。	
会計	経費の効果的活用が行われている	修繕費、人件費、委託料、賃借料等、状況に見合った執行努力、経費削減が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、雇用契約書等の一部及び健康診断に関する指摘事項において、速やかに改善された。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、成長性、安全性、活動性・健全性等が良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、荒川区民会館における指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	文化交流推進課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	日暮里サニーホール
	所在地	荒川区東日暮里五丁目50番5号 ホテルラングウッド4・5階
指定管理者	名称	株式会社コングレ
	所在地	千代田区麹町五丁目1番 弘済会館ビル
施設開設年月日		平成元年2月9日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成30年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する業務 2 施設及び附帯設備（以下「施設等」という。）の利用に関する業務 3 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 4 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 5 施設等の維持管理に関する業務 6 前5号のほか、区長が必要と認める業務 <p style="margin-left: 20px;">< 施設の概要 ></p> <p style="margin-left: 20px;">多目的ホール 収容人員500名(フラット時)/面積404㎡</p> <p style="margin-left: 20px;">コンサートサロン 収容人員100名(フラット時)/面積113㎡</p> <p style="margin-left: 20px;">会議室 第1会議室 収容人員24名(面積57㎡)</p> <p style="margin-left: 20px;"> 第2会議室 収容人員12名(面積25㎡)</p> <p style="margin-left: 20px;"> 第3会議室 収容人員12名(面積28㎡)</p> <p style="margin-left: 20px;"> 第2, 3会議室は通し使用可能</p>	
平成30年度の事業計画		
<ol style="list-style-type: none"> 1 管理運営業務 施設の安全管理（日常点検、保守点検）、報告書・統計資料の作成及び区への報告、利用者アンケート調査、情報誌の発行 2 研修 普通救命講習、個人情報保護研修、環境研修、衛生講習、その他施設運営に必要な研修 		
平成30年度の事業実績		
<ol style="list-style-type: none"> 1 上記管理運営事務の実施 2 利用料金収入 56,759,600円 3 稼働率 ホール65.2% コンサートサロン93.9% 会議室68.2% 4 利用者数 ホール67,223人 コンサートサロン33,531人 会議室39,800人 		

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	60			48
快適に利用できるための施設管理がなされている	30	4	80%	24
業務の遂行に必要な職員が配置されている	15	4	80%	12
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	15	4	80%	12
区民サービス	40			29
利用者に対し、満足のいくサービスを提供している	15	3	60%	9
利用者の意見を取入れ、改善につなげている	10	4	80%	8
事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	15	4	80%	12
合計(A)	100			77
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
区内事業者を活用している	5	4	80%	4
周知活動に努めている	5	4	80%	4
合計(B)	10			8
合計(A+B)				85
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A
評価内容				
<p>「施設の維持管理」については、スタッフ全員による徹底した日常点検と計画的な保守点検を実施しており、適正な管理がなされていた。</p> <p>「区民サービス」については、日頃から利用者とのコミュニケーションを緊密に行うとともに、事故等に対しては原因分析による再発防止への取り組みが見られた。</p> <p>「その他の評価項目」については、消耗品購入や修繕工事に際して積極的に区内事業者への発注を行っている。消耗品購入では48件中15件(31.3%)、修繕工事では18件中専門性の高い工事等7件を除いた11件全て(100%)を区内業者に発注していた。</p> <p>ホームページ内には、各施設の360度画像を閲覧できるように設定し、施設に来なくても内部の様子を参照できる環境を構築した。また、ムーブ町屋と同一の指定管理者であることを活かし、それぞれの利用者にもう一方の施設をPRするなど周知に努めた。その手段の1つとして、両施設の情報をまとめた情報紙「にぼまち」を毎月発行し、コラム欄では区のビュースポットを紹介する等、区民が手に取りやすいよう工夫を施した。</p>				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<p>公募のときに提案された自主事業が行われなかったため、自主事業の実施の実現に向けて取り組む必要がある。</p> <p>昨年度課題であったアンケートについては、積極的に収集した結果、多くの意見を集めた。引き続きアンケートを積極的に収集するとともに、集計結果を分析し、今後の一層のサービス向上に役立てる必要がある。</p>				

施設決算状況					
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	37,725,000	36,607,000	44,502,000	40,016,000
	利用料金収入	56,923,050	57,465,600	54,500,000	56,759,600
	その他収入	180,352	150,712	150,000	151,612
	計	94,828,402	94,223,312	99,152,000	96,927,212
支出	運営費	0	0	500,000	0
	管理費	42,459,608	35,360,955	49,744,000	50,579,340
	本部経費	931,646	-7,063,546	4,172,000	5,815,000
	人件費	46,241,679	51,869,593	45,126,000	45,347,871
	修繕費	2,472,496	2,604,452	2,199,000	2,200,067
	その他支出	0	0	0	0
	計	91,173,783	89,835,000	97,569,000	98,127,278
収支差額		3,654,619	4,388,312	1,583,000	-1,200,066

(施設決算状況の説明)

- 1 管理費、人件費及び修繕費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担とする。
- 2 指定管理料については、管理費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。
- 3 新たな指定管理者となり、管理費（広告費、印刷製本費など）が想定を上回ったため収支差額がマイナスとなった。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、確認事項について修正及び追加資料が提出された。	良好
	予算管理が適正である	一部予算と実績の間に乖離が見られ、収支差額がマイナスとなったが、改善方針が示された。	
会計	経費の効果的活用が行われている	一部の費目について経費削減努力が見られ、予算を上回る費目があったが、経費削減に向けた意志が示され、改善の見込みがある。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、確認事項について、全て合理的な理由が示され、一部改善に向けた意思が示された。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、成長性、安全性、活動性・健全性は良好であり、事業を安全に遂行するに足る財務体質を備えている。	良好

総合評価

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、日暮里サニーホールにおける指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	文化交流推進課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	ムーブ町屋
	所在地	荒川区荒川七丁目50番9号 センターまちや3・4階
指定管理者	名称	株式会社コングレ
	所在地	千代田区麹町五丁目1番 弘済会館ビル
施設開設年月日		平成8年6月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成30年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する業務 2 施設及び附帯設備（以下「施設等」という。）の利用に関する業務 3 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 4 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 5 施設等の維持管理に関する業務 6 前5号のほか、区長が必要と認める業務 <p style="margin-left: 20px;"> <施設の概要> 多目的ホール 収容人員296席/面積343m² 会議室A(ハ化'ジョンル-ム) 収容人員70席/面積59m² 会議室B(ミニギャラリー) 収容人員28名/面積70m² スタジオ 収容人員10名程度/面積51m² 企画展示コーナー オープンスペース/面積145m² (ギャラリー) (4階全施設を使用する場合185m²) </p>	
平成30年度の事業計画		
<ol style="list-style-type: none"> 1 管理運営業務 施設の安全管理（日常点検、保守点検）、報告書・統計資料の作成及び区への報告、利用者アンケート調査、情報誌の発行 2 研修 普通救命講習、舞台安全管理研修、個人情報取扱研修、その他施設運営に必要な研修 		
平成30年度の事業実績		
<ol style="list-style-type: none"> 1 上記管理運営事務の実施 2 利用料金収入 27,723,100円 3 稼働率 ムーブホール56.2% 会議室A 52.0% 会議室B 64.4% スタジオ71.6% 企画展示コーナー(ギャラリー) 36.0% 4 利用者数 ムーブホール37,465人 会議室A・B 15,237人 スタジオ・ギャラリー21,325人 		

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	60			48
快適に利用できるための施設管理がなされている	30	4	80%	24
業務の遂行に必要な職員が配置されている	15	4	80%	12
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	15	4	80%	12
区民サービス	40			29
利用者に対し、満足のいくサービスを提供している	15	3	60%	9
利用者の意見を取入れ、改善につなげている	10	4	80%	8
事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	15	4	80%	12
合計(A)	100			77
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
区内事業者を活用している	5	4	80%	4
周知活動に努めている	5	4	80%	4
合計(B)	10			8
合計(A+B)				85
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A
評価内容				
<p>「施設の維持管理」については、スタッフ全員による徹底した日常点検と計画的な保守点検を実施しており、適正な管理がなされていた。</p> <p>「区民サービス」については、日頃から利用者とのコミュニケーションを緊密に行うとともに、事故等に対しては原因分析による再発防止への取り組みが見られた。</p> <p>「その他の評価項目」については、消耗品購入や修繕工事に際して積極的に区内事業者への発注を行っている。消耗品購入では48件中19件(39.6%)、修繕工事では19件中専門性の高い工事等10件を除いた9件のうち5件(55.6%)を区内業者に発注していた。</p> <p>ホームページ内には、各施設の360度画像を閲覧できるように設定し、施設に来なくても内部の様子を参照できる環境を構築した。また、日暮里サニーホールと同一の指定管理者であることを活かし、それぞれの利用者にもう一方の施設をPRするなど周知に努めた。その手段の1つとして、両施設の情報をまとめた情報紙「にぼまち」を毎月発行し、コラム欄では区のビュースポットを紹介する等、区民が手に取りやすいよう工夫を施した。</p>				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<p>公募のときに提案された自主事業が行われなかったため、自主事業の実施の実現に向けて取り組む必要がある。</p> <p>昨年度課題であったアンケートについては、積極的に収集した結果、多くの意見を集めた。引き続きアンケートを積極的に収集するとともに、集計結果を分析し、今後の一層のサービス向上に役立てる必要がある。</p>				

施設決算状況					
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	35,524,000	35,550,000	34,030,000	34,030,000
	利用料金収入	31,446,750	32,143,650	30,500,000	27,723,100
	その他収入	232,339	270,137	150,000	287,017
	計	67,203,089	67,963,787	64,680,000	62,040,117
支出	運営費	0	0	500,000	0
	管理費	31,150,227	23,963,488	25,121,000	26,390,049
		本部経費	10,483,878	1,460,310	2,751,000
	人件費	29,349,873	38,227,580	31,878,000	35,878,295
	修繕費	2,744,176	2,722,572	2,661,000	2,691,056
	その他支出	0	0	0	0
	計	63,244,276	64,913,640	60,160,000	64,959,400
収支差額		3,958,813	3,050,147	4,520,000	-2,919,283

(施設決算状況の説明)

- 1 管理費、人件費及び修繕費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担とする。
- 2 新たな指定管理者となり、管理費（広告費、印刷製本費など）及び人件費が想定を上回ったため収支差額がマイナスとなった。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、確認事項について修正及び追加資料が提出された。	良好
	予算管理が適正である	一部予算と実績の間に乖離が見られ、収支差額がマイナスとなったが、改善方針が示された。	
会計	経費の効果的活用が行われている	一部の費目について経費削減努力が見られ、予算を上回る費目があったが、経費削減に向けた意志が示され、改善の見込みがある。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、確認事項について、全て合理的な理由が示され、一部改善に向けた意思が示された。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、成長性、安全性、活動性・健全性は良好であり、事業を安全に遂行するに足る財務体質を備えている。	良好

総合評価

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、ムーブ町屋における指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	文化交流推進課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	町屋文化センター
	所在地	荒川区荒川七丁目20番1号
指定管理者	名称	公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団
	所在地	荒川区荒川七丁目20番1号
施設開設年月日		昭和63年11月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容		生涯学習の推進と地域文化の振興を図ることを目的として、文化・カルチャー講座の開催、区民の学習、文化活動に役立つ情報提供や相談業務、施設の案内等を行う。 【施設概要】 会議室4室（33人～45人）、多目的ホール（154人）、音楽練習室、ふれあい広場
平成30年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・区民の学習・文化活動や情報収集の場を提供し、生涯学習の推進と地域文化の振興を図る。 ・カルチャー講座は、新規講座の充実を図り、既存の講座の充実も継続して図っていく。 ・自主事業として、利用者や地域住民が自由に鑑賞できる「なないろひろば」や「一日文化体験フェア」等を開催し、普段あまり来館しない利用者層にも足を運んでもらうきっかけ作りとする。 ・年2回のアンケートのほか、意見箱・懇親会等により、時期によって異なる要望を把握し、利用者のニーズに合ったサービスを提供する。 ・貸出施設及び館内の案内・施設問合せ対応・各種講座・清掃業務・機械設備等点検業務を適切に実施する。 		
平成30年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・「なないろひろば事業」は、延べ1,296人の参加があり、昨年度の1,150人を大きく上回った。また、「一日文化体験フェア」では体験講座に加え、加藤一二三さんによる特別講演会やスタンプラリー、被災地支援物産展など工夫を凝らして事業を展開し、昨年を100人程度上回る、延べ1,000人の参加があった。 ・カルチャー講座は689講座を実施し、延べ4,069人の受講があった。 ・施設管理については、老朽化した設備や備品等の修繕を管理者として実施した他、ピアノの修繕やバレエパーの更新等を行い、利用環境の向上に努めた。 ・無断駐輪への対策として、昨年度と同様に駐輪場の駅側の柵を修繕し出入りができないようにし、また、無断駐輪防止のステッカーを作成し、開館前の自転車に貼るなどすることで、無断駐輪の自転車を減少させた。 		

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				26
快適に利用できるための施設管理がなされている	10	4	80%	8
業務遂行に必要な職員が配置されている	10	5	100%	10
業務に関連した研修について、職員の受講がなされている	10	4	80%	8
区民サービス				56
施設利用等の満足度が高い	30	4	80%	24
防災計画に明示されている訓練等を行っている	20	4	80%	16
事故・苦情の再発防止に向けた取組等を行っている	20	4	80%	16
合計(A)	100			82

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域との連携・協働	5	4	80%	4
区内事業者の活用	5	5	100%	5
合計(B)	10			9
合計(A+B)				91
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

・「一日文化体験フェア」や「なないろひろば」等の地域住民が気軽に参加できる事業の他、プレイコーナーを「街なか避暑地」や「ほっとサロン」として開放し、地域交流の場としても活用している。

・平成30年度は13の再委託業務のうち8業務について区内の業者を活用し、消耗品購入や修繕等でも可能な限り区内業者を活用するようにしている。

・職員は、公共施設の維持・管理に関する研修や、感染症予防研修会に参加し、施設管理者として必要な知識を深めた。また、経理に関する講座に参加し、経理の更なる適正化に向けたスキルアップを図った。

・駐輪場については、施設利用者以外の駐輪が多く、利用者から苦情をいただいていたが、昨年度と同様に無断駐輪を防止する注意喚起のラベルを定期的に貼りつけたり、駅側の出入り口を閉鎖したりしたところ、無断駐輪が減少した。そのため、無断駐輪に対する苦情も減らすことができた。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

施設の老朽化により、傷・汚れが目立つ部分があるため、今後も指定管理料の修繕費を活用し、利用者の立場に立った効果的な修繕を行う必要がある。

施設決算状況

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)	
収入	指定管理料	24,257,000	24,192,000	24,627,000	24,278,597
	利用料金収入	13,928,050	13,598,650	13,762,000	13,410,350
	その他収入	285,802	349,132	233,000	479,829
	計	38,470,852	38,139,782	38,622,000	38,168,776
支出	運営費	1,122,484	1,075,911	1,330,000	1,101,009
	管理費	29,705,557	29,765,260	31,268,000	31,524,665
	本部経費	0	0	0	0
	人件費	3,737,456	3,694,260	3,691,000	3,434,989
	修繕費	2,319,694	2,615,263	2,333,000	2,261,088
	その他支出	0	0	0	0
	計	36,885,191	37,150,694	38,622,000	38,321,751
収支差額	1,585,661	989,088	0	-152,975	

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算とし、精算後の金額を記載している。
- 2 管理費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担とする。
- 3 指定管理料については、人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、経費計算の精度向上が図られている。	良好
	予算管理が適正である	消耗品費等一部予算と実績の間に乖離が見られるが、原因分析が十分行われており、合理的な理由が示された。	
会計	経費の効果的活用が行われている	電気代等一部予算を上回った項目が見られた一方、消耗品費等の費目で経費削減に向けた取組の成果が見られた。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、成長性に注意を要するものの、収益性、安定性、活動性・健全性等がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面は良好であり、財務・労務面についても良好であることから、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年と比較して、事業内容の工夫がなされ、適正な運営が行われている。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	生涯学習課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	生涯学習センター
	所在地	荒川区荒川三丁目49番1号
指定管理者	名称	株式会社 読売・日本テレビ文化センター
	所在地	江東区清澄一丁目2番1号
施設開設年月日		平成9年7月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容		<p>区民の生涯にわたる学習の場の提供や、多様化する学習要望への対応として、区民のニーズを考慮しながら講座を開催するとともに、生涯学習の情報提供、学習相談など学習活動の推進を図る。</p> <p>【施設概要】 会議室5室（30人～80人）、音楽室（40人）、多目的室（60人）、コンピューター室、学習室、情報提供コーナー、体育館、多目的広場</p>
平成30年度の事業計画		
<p>・区民カレッジについては、29年度好評だった講師に加え、新しい講師による「エピソードで綴るフランスの歴史」、「ギリシャ神話の英雄」などを企画する。また俳句の街荒川に相応しい俳句講座として「自由律俳句の世界」も実施する。区民カレッジ特別講演会は東京オリンピック・パラリンピックに向けて、元オリンピック選手の講演会や、演奏会を実施する。</p> <p>・IT講習会は、30年度は講座の見直しを図り、応募者数の少ない入門編を減らし、人気のパワーポイント講座を充実させるとともに、基礎を習得しステップアップを目指す方や若い年齢層を対象にした「仕事に役立つワード」、「仕事に役立つエクセル」、「エクセル活用」などの講座を新たに設定する。</p> <p>・施設管理については、利用者が安全で快適に過ごせる施設を目指して、利用者の要望が多い部分について優先的に修繕を行う。受付業務については、積極的に挨拶・声掛けを行うなど、親しみのもてる雰囲気づくりに努める。</p>		
平成30年度の事業実績		
<p>・30年度の区民カレッジは、一般講座12講座と特別講座2講座を設け、29年度より1講座増とし、年間応募者は1,802人と前年度より222人増加し、安定した人気を保っている。</p> <p>・IT講習会は、若年層やスキルアップを目指す人たちを対象に新たに「仕事に役立つワード」や「仕事に役立つエクセル」、「エクセル活用」などの講座を設けた。その結果20～30歳代の受講者が32人（前年度8人）と増加した。また、就労支援関連などの区内施設にチラシを配布し、新規受講者の獲得につとめ、のべ受講者は2,746人（前年度2,837人）だった。</p> <p>・施設のホームページをリニューアルし視認性や操作性を向上させたことで、講座や施設の情報をもり分かりやすく利用者に提供できるようになった。</p> <p>・施設管理としては、28年度および29年度に引き続き、女子トイレ1か所を洋式化するなど、利用者の要望が多い箇所を優先して修繕を実施した。</p> <p>・受付業務については、利用者に積極的に挨拶を行い、接遇の向上と利用者に親しまれる雰囲気づくりに努めたほか、あいさつ月間を設定し、玄関で職員が利用者をお迎えした。また、施設アンケートは多くの団体等に呼びかけ、782枚を回収し、利用者の声の把握に努めた。</p>		

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				26
快適に利用できるための施設管理がなされている	10	4	80%	8
業務遂行に必要な職員が配置されている	10	5	100%	10
業務に関連した研修について、職員の受講がなされている	10	4	80%	8
区民サービス				60
施設利用等の満足度が高い	30	4	80%	24
防災計画に明示されている訓練等を行っている	20	5	100%	20
事故・苦情の再発防止に向けた取組等を行っている	20	4	80%	16
合計(A)	100			86
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域との連携・協働	5	4	80%	4
区内事業者の活用	5	5	100%	5
合計(B)	10			9
合計(A+B)				95
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A
評価内容				
<p>・職員の接遇に関して、講師を招き「健康づくりのアドバイス」研修を実施し、夜間・土日受付業務のシルバー人材センターの職員も含めた15人が受講した。各職員は、研修を通じて、ハキハキと健康的にお出迎えするための姿勢のポイントや、高齢者の方に寄り添った接遇方法を学ぶなど、接遇スキルの向上に取り組んでいる。</p> <p>・29年度に引き続き30年度もシルバー大学事務局、ふらっと・フラットを含めた施設全体での防災訓練を実施した。避難誘導や消火器操作のほか、荒川消防署員の指導のもとAEDの使用方法を学び、安全管理体制の強化を図った。また上級救命講習を実施し、実施時の職員全員が上級救命技能の認定を受けた。</p> <p>・30年度は13の再委託業務のうち9業務について区内の事業者を活用し、修繕工事は、9割以上を区内事業者に依頼した。</p>				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<p>・30年度の区民カレッジは年間応募者が1,802人と前年度より222人増加しており、年間受講者総数は4,046人(前年度4,053人)で横ばいである。継続して受講してもらえるために、引き続き講座内容を工夫していく必要がある。</p>				

施設決算状況

年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	(決算)		(決算)		(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	60,818,900	61,739,300	66,734,200	63,155,874	
	利用料金収入	1,995,544	2,088,429	2,115,500	1,995,948	
	その他収入	218,659	223,640	224,000	250,723	
	計	63,033,103	64,051,369	69,073,700	65,402,545	
支出	運営費	8,285,039	6,977,359	9,000,000	7,659,789	
	管理費	32,735,464	34,685,030	32,585,700	33,862,141	
	本部経費	6,186,000	7,244,000	2,973,000	2,880,000	
	人件費	19,902,564	19,901,955	22,100,000	18,946,769	
	修繕費	2,008,584	2,178,186	2,888,000	2,715,163	
	その他支出	0	0	0	0	
	計	62,931,651	63,742,530	66,573,700	63,183,862	
収支差額	101,452	308,839	2,500,000	2,218,683		

(施設決算状況の説明)

- 1 人件費及び修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算している。
- 2 平成30年度分より収支差額については、当初計画を上回った場合、超過した金額の2分の1を区に返還することとし、上記決算書には返還後の金額を記載している。
- 3 指定管理料については、管理運営費・人件費及び修繕費の区への返還額を差し引いた金額を決算額として記載している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、確認事項について合理的な理由が示された。	良好
	予算管理が適正である	研修費等一部予算と実績の間に乖離が見られるが、原因分析が十分行われており、合理的な理由が示された。	
会計	経費の効果的活用が行われている	雑費等一部予算を上回った項目が見られた一方、賃借料等の費目で経費削減に向けた取組の成果が見られた。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、収益性、安定性に注意を要するものの、成長性、活動性・健全性等が良好であり、安定的な財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面、会計面、労務面ともに良好であり、経費の効果的活用も行われているため、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年と比較して、事業内容の工夫がなされ、適正な運営が行われている。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	生涯学習課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	清里高原ロッジ・清里高原少年自然の家
	所在地	山梨県北杜市高根町清里3545番地5
指定管理者	名称	株式会社旺栄
	所在地	東京都北区王子本町1丁目4番13号 加藤ビル1階 (本社所在地)
施設開設年月日		昭和58年4月15日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成30年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容	<p>荒川区民、在勤在学者及びその家族、区立小中学校の移動教室等の利用者が、自然観察等を行えるように賄業務や宿泊業務等のサービス提供と、利用者が快適に過ごせるように清掃業務や機械設備等の保守点検等の施設維持を行う。</p> <p>【施設概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員：ロッジ35人、少年自然の家200人 ・ロッジ：宿泊室12畳5室、9畳(ベッド)、研修室24.5畳1室リーダー室10畳2室・8畳2室、食堂、浴室、体育館 ・開設期間(平成30年度)：4月28日(土)～11月4日(日) 	
平成30年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・機械設備の点検、清掃業務等の保守点検業務を適切に実施することで、施設の美観や安全性の維持に努める。 ・連泊者やリピーター割引等既存サービスの継続に加え、朝食にバイキング形式を導入する等新規サービスも試行的に実施することで、利用者サービスの向上を図る。 ・施設ホームページのリニューアル、施設パンフレットのリニューアルなどの広報活動を通し施設の魅力をよりPRすることで、施設利用率の向上を図る。 		
平成30年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・以前より利用者から要望のあった、清里高原ロッジにおけるトイレの洋式化、洗面所の全面リニューアルを行った。 ・平成28年度から9月に実施している「ランニング合宿」においては、平成30年度からウォーキングの部を取り入れ「ランニング・ウォーキング合宿」とし、参加者数の増加に努めた。 ・施設パンフレットのリニューアル、上記「ランニング合宿」の販促用チラシを作成することで、リピーターに加え新規の施設利用者の増加を図った。 ・利用者数については施設ホームページや施設パンフレットのリニューアルにより、一般利用者数が376名増、学校利用者数が120名増となり、全体では496名増加した。 (総利用者数8,062名) 		

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				22
快適に利用できるための施設管理がなされている	10	4	80%	8
業務遂行に必要な職員が配置されている	10	3	60%	6
業務に関連した研修について職員の受講がなされている	10	4	80%	8
区民サービス				52
施設利用等の満足度が高い	30	4	80%	24
防災計画に明示されている訓練等を行っている	20	4	80%	16
事故・苦情の再発防止に向けた取組等を行っている	20	3	60%	12
合計(A)	100			74

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域との連携・協働	5	3	60%	3
自主事業への取り組み	5	3	60%	3
合計(B)	10			6

合計(A+B)

80

施設の維持管理・区民サービス等の総合評価

A

評価内容

- ・利用者からの要望があったwifiの整備を行うことで、高原ロッジ全体で安定してwifiを利用することが可能となった。また、学校の施設利用時に大型の給水機を導入し、引率教員の負担軽減のためのサポートも行った。
- ・料理長を外部講習会に参加させ、講習の内容を他の調理スタッフにフィードバックすることで、食品衛生管理の励行に努めた。
- ・移動教室時に急患が発生した際は、付き添い看護師等の指示に従い、地域の病院等と連携し迅速な対応ができた。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

コストを見直すことで収支を改善しつつ、今年度から新たに実施する自主事業等の定着や、試行的に実施する冬季開設などにより、新規の利用者を確保することが望まれる。

施設決算状況

年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	(決算)		(決算)		(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	55,826,000	56,093,000	56,784,000	56,784,000	
	利用料金収入	18,017,279	19,082,163	19,092,150	21,611,404	
	その他収入	807,152	961,379	857,850	535,700	
	計	74,650,431	76,136,542	76,734,000	78,931,104	
支出	運営費	276,210	489,712	2,000,000	1,078,817	
	管理費	50,846,553	54,607,644	47,587,840	62,544,411	
	本部経費	796,737	844,940	812,640	313,658	
	人件費	16,027,697	19,115,970	20,256,160	21,735,162	
	修繕費	2,132,479	2,801,380	3,890,000	3,893,447	
	その他支出	0	0	0	0	
	計	69,282,939	77,014,706	73,734,000	89,251,837	
収支差額	5,367,492	-878,164	3,000,000	-10,320,733		

(施設決算状況の説明)

- 1 管理費、人件費及び修繕費については、当初計画で示している金額を超えた支出は指定管理者の負担とする。
- 2 新たな指定管理者となり、管理費（委託料、賄材料費など）が想定を上回ったため収支差額がマイナスとなった。

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、確認事項について合理的な理由が示された。	課題有
	予算管理が適正である	一部予算と実績の間に乖離が見られ、委託料の予算超過が主な原因となり、収支差額が大幅にマイナスとなった。	
会計	経費の効果的活用が行われている	パート採用の不調に起因する人件費の増加があった一方、経費縮減努力が見られた。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、パート職員の雇用期間や人数に改善の余地が見込めるものの、概ね労務環境は適正である。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、収益性、成長性に注意を要するものの、安定性、活動性・健全性等が大変良好であり、安定的な財務力を有している。	良好

総合評価

30年度は、主に日常清掃業務などの委託料のほか、人件費、賄材料費で予算を大幅に超過したため、多額の赤字が生じるなど財務面での課題が浮き彫りになった。改善策として、今年度以降、職員体制の見直し、食材仕入先の共通化、清掃業務委託の効率化等を行うことにより、赤字の解消に努めている。一方、サービス面・労務面は良好であり、利用者からの評価も高く、利用者数も増加傾向にあることから、指定管理業務を継続させられると評価できる。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	生涯学習課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川総合スポーツセンター
	所在地	荒川区南千住六丁目45番5号
指定管理者	名称	TM共同事業体（構成団体：代表企業 株式会社東京アスレティッククラブ、三菱電機ビルテクノサービス株式会社）
	所在地	中野区中野二丁目14番16号（代表企業所在地）
施設開設年月日		昭和60年6月2日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成19年4月1日
指定期間		平成28年4月1日～平成31年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツセンターの施設及び附帯設備の使用に関する業務 ・スポーツ及びレクリエーションの普及・振興に関する業務 ・利用の承認及び利用の不承認に関する業務 ・利用料金の収受、減免及び還付に関する業務 ・利用承認の取消し等に関する業務 ・施設等の変更の承認に関する業務 ・スポーツセンターの施設等の維持管理に関する業務 ・その他スポーツセンターの管理に関し、荒川区が必要と認める業務
平成30年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の声に耳を傾け「安全・安心・快適」な空間を提供する。 ・区民の誰もが楽しく気軽にスポーツを楽しめる健康づくりの場を提供する。 ・子ども向け高付加価値教室を充実すると共に、安全・安心・快適な施設としての管理運営を実施する。 ・接遇研修を年2回以上実施すると共に、セルフモニタリングの結果を反映したサービス向上を図る。 ・経費の縮減を念頭においた運営を行い、電気・ガス・水道使用量の縮減に努める。 ・荒川区及び荒川区体育協会主催イベント等において、積極的に連携・協力する。 ・キッズルームは子どもが安全、安心、快適に利用できる施設として管理・運営し、利用者数12,000名を目標とする。 		
平成30年度の事業実績		
<p>【利用者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体利用者数 267,445人(前年度比 -6,894人) ・個人利用者数 156,165人(前年度比 -7,747人) ・利用料免除者 61,580人(前年度比 -2,786人) ・教室受講者数 147,100人(前年度比 -10,327人) 合計 632,290人(前年度比 -27,754人) <p>【教室・講習会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 固定会員制教室（スポーツ教室/17種類・1,070回）（水泳教室/10種類・2,232回） 自由会員制教室（スポーツ教室/11種類・590回）（水泳教室/2種類・286回） キッズルーム教室（14種類・1,128回） 自主事業教室（27種類・1,784回） 		

基本評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	40			36
建物・設備・備品等が適切に管理されている	10	4	80%	8
利用者が快適に利用できるよう清掃されている	10	4	80%	8
プール施設の衛生管理が適切に実施されている	10	5	100%	10
業務の遂行に必要な職員が配置されている	10	5	100%	10
区民サービス	60			55
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	15	4	80%	12
区民の体力向上・健康増進に資する事業展開を行っている	15	5	100%	15
地域との連携、地域貢献を行っている	10	5	100%	10
事故や災害発生時の適切な対応体制が構築されている	10	5	100%	10
個人情報の保護に対する体制が構築されている	10	4	80%	8
合計(A)	100			91
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
障がい者スポーツ推進の取組を実施している	5	4	80%	4
区民雇用、区内業者への発注を積極的に行っている	5	5	100%	5
合計(B)	10			9
合計(A+B)				100
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				S
評価内容				
<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化が目立つなか、安全性や利便性に配慮し、適切な施設管理が行われている。 乳児から高齢者に至るまで、様々な世代に施設を利用してもらうための取組を積極的に実施した。 障がい者スポーツ体験の実施やパラリンピアンを招いた講演会を実施する等、障がい者スポーツ推進の取組に努めている。 				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<ul style="list-style-type: none"> 地域との連携について、総合型地域スポーツクラブへの協力等、評価できる面もあるが、より積極的な連携を行っていくことが課題である。 令和元年実施の大規模改修工事により、施設のバリアフリー化が予定されている。改修後は障がい者の利用者増が見込まれるため、障がい者スポーツへの取組を強化するとともに、障がい者スポーツに関わる資格を有する職員の増加が望まれる。 				

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	102,968,028	99,956,536	97,906,983	97,122,106
	利用料金収入	163,709,485	162,414,975	150,331,473	151,921,140
	その他収入	26,389,751	28,474,242	21,592,157	24,210,561
	計	293,067,264	290,845,753	269,830,613	273,253,807
支出	運営費	986,310	1,708,316	2,075,580	1,861,386
	管理費	146,840,811	138,047,393	141,796,384	133,862,721
		本部経費	29,916,355	23,414,927	21,462,036
	人件費	109,836,294	117,506,097	110,558,649	118,247,400
	修繕費	15,327,847	16,616,389	15,400,000	14,615,123
	その他支出	0	0	0	0
	計	272,991,262	273,878,195	269,830,613	268,586,630
収支差額		20,076,002	16,967,558	0	4,667,177

(施設決算状況の説明)

- ・平成30年度は、大規模改修工事の関係で3月中旬から全館休館したことに伴い、昨年度と比較して利用料金収入が減少している。
- ・「本部経費」には、共同事業体の経理に係る管理経費と教室事業の事業企画費、本部が派遣した講師及び受付に要する経費等を計上している。
- ・「運営費」には広告費、損害保険料、印刷製本費を計上。
- ・なお、指定管理者は、協定に基づき「収支差額(収益)」の2分の1を区に納付する。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、一部の経費処理に関する指摘事項について、追加資料ならびに合理的な理由が示された。	良好
	予算管理が適正である	一部予算と実績の間に乖離が見られるが、合理的な理由が示された。	
会計	経費の効果的活用が行われている	一部の費目について経費削減努力が見られた一方、予算を上回る費目があったが、経費削減に向けた意志が示され、改善の見込みがある。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、確認事項について、全て合理的な理由が示され、一部改善に向けた意思が示された。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、収益性、成長性、安全性、活動性・健全性等、一部注意を要するものの、事業を安全に遂行するに足る財務体質を備えている。	良好

総合評価

- ・サービス面、会計面、労務面は良好であり、経費の効果的活用も行われており、全体として指定管理事業は確実に行われていたと評価できる。

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	スポーツ振興課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	特別養護老人ホームグリーンハイム荒川
	所在地	荒川区南千住六丁目36番5号
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑四丁目39番10号
施設開設年月日		平成元年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成元年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)
業務内容		<p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>(定員) 特養 100名 短期入所生活介護(ショートステイ) 10名</p>
平成30年度の事業計画		
<p>1 【法人が設定した目標利用率】特養：95.0%、ショートステイ：100.0%</p> <p>2 多職種等と連携し合い、利用者の体調変化等の状態把握をしっかりと行うとともに、健康維持に努めることで利用率95%を維持し、安定した事業運営を行っていく。</p> <p>3 介護が必要となった時に相談する場として地域との交流を行いながら、地域に開かれた施設を目指していく。</p> <p>4 職員確保が厳しい現状の中、職員定着のためにトレーナー制度や面談、処遇改善手当を活用するなど職員の確保と働き続けられる環境づくりに努めていく。</p> <p>5 リーダー職以上による基本的な介助技術等の指導育成に加え、スキルの向上のために必要な研修を行い、職員全体のレベルアップや介護の質の向上を目指していく。</p>		
平成30年度の事業実績		
<p>1 特養：利用率91.4% 平均介護度4.0、ショートステイ：利用率95.8% 平均介護度3.3</p> <p>2 利用者の体調管理に多職種等が連携し、状態の把握に努めた上期は安定していたが、下期は感染症の流行や虚弱な方の退所が増えたことから目標達成には至らなかった。</p> <p>3 隣接した保育園やふれあい館との定期的な交流や近隣の中学校・高等学校での「介護の仕事」説明会など地域との関わりを深めるとともに、SNS等を活用して情報発信を行った。</p> <p>4 離職防止に努めてきた結果、徐々に改善しつつあるが、介護職員の人材不足が深刻化している現状では、紹介会社を介しての採用・確保に努めてきた。</p> <p>5 採用形態に関わらず、新入職員全員に対して、施設長や多職種による基礎介護の研修を実施し、介護の質の維持に努めてきた。</p>		

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（特養）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、91.4%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度が87%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取組については、隣接の保育園やふれあい館と定期的に交流を図るとともに、企業研修の受入れを行っている。また、施設長が役員として町会の交通安全、夜警等の行事にも参加するなど、開かれた施設として地域と交流を深めていることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用率等は良好であるが、引き続き、さらなる利用率の向上や収支の改善に向けた取組が必要である。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	443,522,476	455,725,601	481,283,000	455,800,916
	その他収入	2,068,200	1,604,700	3,652,000	1,414,264
	計	445,590,676	457,330,301	484,935,000	457,215,180
支出	運営費	66,537,638	67,725,389	67,099,000	67,244,742
	管理費	59,692,876	61,378,826	59,213,000	59,923,805
	本部経費	—	—	—	—
	人件費	349,259,126	334,215,924	346,118,000	325,534,797
	修繕費	3,792,040	3,880,254	1,660,000	2,981,428
	その他支出	2,116,555	1,724,139	2,592,000	1,642,504
	計	481,398,235	468,924,532	476,682,000	457,327,276
収支差額		-35,807,559	-11,594,231	8,253,000	-112,096

(施設決算状況の説明)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・6年連続の赤字決算となっているが、昨年度に比べ、人件費等の減少により収支に大幅な改善が見られる。引き続き、利用率の向上と効率的な運営が必要である。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	グリーンハイム荒川拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、収入・支出予算差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	予算と決算を比較して、収入減となっているが、前年対比においては、経費縮減が認められ、効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づき財務診断を行った結果、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供や労務管理についても適切に行われていたが、改善が見られるものの、サービス活動収支の差額に赤字が続いているため、さらなる利用率の向上と効率的な運営が必要である。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	特別養護老人ホームサンハイム荒川
	所在地	荒川区南千住三丁目14番7号
指定管理者	名称	社会福祉法人 カメリア会
	所在地	江東区亀戸三丁目36番13号
施設開設年月日		平成7年2月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成29年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)
業務内容		<p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>(定員)特養 56名 短期入所生活介護(ショートステイ) 12名</p>

平成30年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】特養：96.0%、ショートステイ：98.0%
- 2 施設内での生活が画一化し集団ケアとならないよう、ニーズを把握し、これまでの生活を踏まえた上で、一人ひとりに適した介護計画を立案し実行していく。
- 3 施設運営における関係諸法令の遵守及び徹底を図るとともに、所管等による実地指導や運営指導を通じ、適切な運営を実現していく。
- 4 職員が常に高い目標に向かいチャレンジできる環境を整備するとともに、職層別研修制度を活用し、その職責を果たすことができる人材を育成していく。
- 5 食欲の減退や食に対する関心がなくなるなど種々の障害に対して、残存した感覚を刺激し、利用者の食への興味を喚起していく。

平成30年度の事業実績

- 1 特養：利用率95.0% 平均介護度3.9、ショートステイ：利用率97.1% 平均介護度2.5
- 2 アンケートや家族との個別相談・連絡を充実させるとともに、サービス担当者会議に家族の積極的な参加を促すなど、施設と家族等が一体となって個別のサービス提供に取り組んできた。
- 3 ISOの承認取得や法人内の内部監査を実施することで、開かれた施設づくりによる適正な施設運営を目指し、法令遵守の徹底と質の向上を図ってきた。
- 4 職員には定期的な目標管理を実施するとともに、法人・グループ内の階層・職種別の研修への参加により、職場以外の同職種との意見交換等を通じてモチベーションを高めることができた。
- 5 歯科往診により口腔内の支援や嚥下リスクの有無の把握を行い、家族参加のホーム喫茶や行事食の提供を行うとともに、日常カンファレンスを通じ嗜好確認等を行ってきた。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（特養）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、95.0%と極めて良好である。
- ・利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度が97%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。
- ・自主的な取組については、近隣保育園等との交流や大学生等の実習生の受入れを積極的に実施している。また、サービスの質の向上のため、ISOの認証取得や法人グループ間での勉強会等を通して積極的な交流を図りながら企業活動を行っていることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用率等は良好であるが、引き続き、さらなる利用率の向上や利用者の満足度向上に繋がるサービス提供が必要である。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(前法人の決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	288,162,597	282,895,531	292,998,000	292,911,598
	その他収入	50,000	0	1,080,000	0
	計	288,212,597	282,895,531	294,078,000	292,911,598
支出	運営費	119,155,891	67,015,324	67,983,000	70,821,683
	管理費	40,047,790	25,847,742	26,510,000	21,792,341
	本部経費	-	-	-	-
	人件費	204,558,248	153,307,270	170,074,000	169,383,718
	修繕費	1,493,780	1,410,685	1,320,000	1,940,000
	その他支出	4,951,609	11,156,117	10,080,000	12,389,497
	計	370,207,318	258,737,138	275,967,000	276,327,239
収支差額		-81,994,721	24,158,393	18,111,000	16,584,359

(施設決算状況の説明)

平成29年度からの指定管理者が変更となったため、平成28年度の実績は、前指定管理者の決算額である。

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	サンハイム荒川拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、収入・支出予算差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	サービス活動収支において黒字となっており、経費の効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者法人の三期の決算書に基づき財務診断を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供は確実に履行され、財務面・労務面についても良好であり、指定管理業務は適正に行われていた。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川
	所在地	荒川区荒川五丁目47番2号
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋四丁目9番10号
施設開設年月日		平成11年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成11年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)
業務内容		<p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>(定員) 特養50名 短期入所生活介護(ショートステイ)6名</p>

平成30年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】特養：97.0%、ショートステイ：85.0%
- 2 施設の安定した運営のため、特養・短期入所ともに稼働率を維持し、事前面接等により空床期間の短縮に努めていく。また、地域包括支援センター等からの緊急ケース等に対して柔軟な受入れを行っていく。
- 3 増加する看取り希望に対し、施設における看取りとは何かを再確認していくとともに、各職種が意思統一を図りながら様々なニーズの看取りに対応できるよう取り組んでいく。
- 4 生活の基本である口腔からの食事摂取にこだわり、嚥下状態等の把握に努めながら、安全で尊厳を大切に食事提供を栄養士や歯科医師と連携のもとに維持していく。
- 5 地域包括支援センター・みまもりステーションと協力し、地域福祉の拠点としての役割を果たすとともに、地域ぐるみの見守りに力を入れて取り組んでいく。

平成30年度の事業実績

- 1 特養：利用率97.0% 平均介護度4.16、ショートステイ：利用率106.0% 平均介護度2.9
- 2 長期入院や急変による退所等、特養の動きが多かったが、短期入所の利用を柔軟に行ったことで、全体の稼働率を向上させ、目標利用率を達成することができた。
- 3 職員間の意思統一や家族とのコミュニケーションを密に行うことを心掛け、利用者や家族に寄り添うケアを意識しながら看取り介護へ取り組んできた。
- 4 厨房業者を変更し、直営にしたことで、より細やかな個々の対応が行えるようになり、経管栄養で退院された利用者が経口摂取へ切り替えることができるようになった。
- 5 地域との定期的な会合の継続や施設見学、介護保険等の勉強会を地域の方を対象に実施するなどニーズ把握や地域福祉の拠点としての役割に努めてきた。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（特養）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、97.0%と極めて良好である。
- ・利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度が82%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取組については、法人系列の保育園児との交流や近隣町会との会合など、いずれも定期的に継続して実施している。また、地域との繋がりを大切に連帯感を深めながら、合同防災訓練等の実施やふれあい粋・活サロンも開催していることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用率は極めて良好であるが、引き続き、さらなる利用者の満足度向上に繋がるサービス提供が必要である。

施設決算状況

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)	
収入	介護保険事業収益	239,777,409	246,388,471	250,150,000	247,450,758
	その他収入	0	0	102,000	0
	計	239,777,409	246,388,471	250,252,000	247,450,758
支出	運営費	46,678,565	47,720,550	46,035,000	46,045,603
	管理費	22,623,887	23,187,108	19,608,000	19,533,332
	本部経費				
	人件費	165,428,098	173,470,705	173,900,000	181,453,098
	修繕費	1,125,425	6,232,313	1,440,000	1,446,692
	その他支出	629,677	649,090	10,000	664,172
	計	236,485,652	251,259,766	240,993,000	249,142,897
収支差額	3,291,757	-4,871,295	9,259,000	-1,692,139	

(施設決算状況の説明)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・赤字決算については、人件費における賞与引当金繰入額について、その計上時期を適正化するため、当該年度に計上したことに起因するものである。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	花の木ハイム荒川拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、収入・支出予算差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	予算と決算を比較して、収入減・経費増となっているが、経費の効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づき財務評価を行った結果、安定性は優れていて、収益性、成長性、活動性・健全性等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	良好

総合評価

介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供は確実に履行され、財務面・労務面についても良好であり、指定管理業務は適正に行われていた。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	グリーンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住六丁目36番5号
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑四丁目39番10号
施設開設年月日		平成元年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成元年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>(定員)通所介護(一般デイ)40名 *介護予防含む</p>

平成30年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：85.0%
- 2 利用率の向上を図るため、入浴・通所回数、滞在時間、活動内容、機能訓練など利用者のニーズに応じたサービス提供に努め、利用率85%を目標に事業運営を行っていく。
- 3 一般企業の新任研修や小中学生、社会福祉士、介護福祉士等の職場体験・実習を受け入れるとともに、介護への理解や介護職育成に資するよう福祉施設としての役割を果たしていく。
- 4 みなこい祭り、お元気ランチ、介護者教室等、地域交流を図りながら、利用者が社会的な繋がりを維持できるよう地域に密着したサービス提供を行っていく。
- 5 業務改善の見直しの継続や全職員による意見交換を図ることで、情報共有の徹底、言葉使いや介護の質の向上等に努めていく。

平成30年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率67.7% 平均介護度2.1
- 2 利用率が3月は70%以上に回復したが、年間を通して目標達成には至らなかった。また、ニーズの高い入浴は、特養との共同利用のため、対応できる人数に限られるが、リハビリ専任職員を採用したことで、利用者のニーズに応えられるようになった。
- 3 介護や介護職への理解等を図るため、一般企業や看護師の実習生の受入れを行うとともに、地域の子どもたちとの交流も積極的に行い、介護に触れ合う機会を提供した。
- 4 地域の方々を対象としたお祭りの開催、お元気ランチや介護者教室等を定期的を実施することで、一人暮らしの高齢者の交流の場となり、地域との関わりを深めることができた。
- 5 毎月、非常勤や運転手も含めた職員会議を実施したことで、ちょっとした気づきや発言などから、お互いの業務改善、振返り等に繋がり、全体のスキルの向上に努めてきた。

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果	適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、67.7%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度が89%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取組については、隣接の保育園やふれあい館とは定期的に交流を図るとともに、企業研修の受入れを行っている。また、施設長が役員として町会の交通安全、夜警等の行事にも参加するなど、開かれた施設として地域と交流を深めていることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用率等は良好であるが、引き続き、さらなる利用率の向上や収支の改善に向けた取組が必要である。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	72,253,067	77,689,552	99,473,000	86,565,877
	その他収入	1,902,733	1,816,413	1,201,000	1,940,273
	計	74,155,800	79,505,965	100,674,000	88,506,150
支出	運営費	14,599,673	13,110,734	14,516,000	13,997,131
	管理費	8,492,361	9,164,484	8,807,000	8,516,996
	本部経費	—	—	—	—
	人件費	70,860,076	72,031,987	73,539,000	70,117,263
	修繕費	757,902	209,380	550,000	312,120
	その他支出	610,326	474,582	942,000	417,400
	計	95,320,338	94,991,167	98,354,000	93,360,910
収支差額		-21,164,538	-15,485,202	2,320,000	-4,854,760

(施設決算状況の説明)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・4年連続の赤字決算となっているが、昨年度に比べ、人件費等の減少により、改善が見られる。引き続き、利用率の向上と効果的な運営が必要である。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	グリーンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算との間に乖離が見られるが、原因分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	予算と決算を比較して、収入減となっているが、前年対比においては、経費縮減は認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務診断を行った結果、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準についてはすべて適合している。また、利用者に対するサービスの提供や労務管理についても適切に行われている。サービス活動収支については改善が見られるものの、赤字が続いているため、さらなる利用率の向上と効率的な運営が必要である。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	サンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住三丁目14番7号
指定管理者	名称	社会福祉法人 カメリア会
	所在地	江東区亀戸三丁目36番13号
施設開設年月日		平成7年2月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成29年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）35名 *介護予防含む</p>

平成30年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：85.0%
- 2 利用者が目的を持って通えるデイサービスにするため、入浴やりハビリ機器を使った機能訓練等のサービス、プログラムの充実を図っていく。
- 3 施設運営における関係諸法令の遵守及び徹底を図るとともに、所管等による実地指導や運営指導を通じ、適切な運営を実現していく。
- 4 職員が常に高い目標に向かいチャレンジできる環境を整備するとともに、職層別研修制度を活用し、その職責を果たすことができる人材を育成していく。
- 5 地域のケアマネジャー、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所間で連携を図るとともに、法人内に各種サービスを有することのメリットを活かしながら安定した事業運営を行っていく。

平成30年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率77.0% 平均介護度 1.8
- 2 入浴回数制限をなくしたことで、ケアプランに基づく希望回数の入浴の実施は好評を得ている。また、音楽体操等のプログラムを多く取り入れ、積極的に参加できるサービスの提供を行った。
- 3 ISOの承認取得や法人内の内部監査を実施することで、開かれた施設づくりによる適正な施設運営を目指し、法令遵守の徹底と質の向上を図ってきた。
- 4 職員には定期的な目標管理を実施するとともに、法人・グループ内の階層・職種別の研修への参加により、職場以外の同職種との意見交換等を通じてモチベーションを高めることができた。
- 5 地域のケアマネジャーや法人内の各種事業所等との連携により、緊急性の高い利用者や困難ケースを断ることなく迅速に受入れることができた。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、77.0%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度は67%であり、一部に好評価がある反面、入浴などに対する意見もあったことから、さらに満足度を高めていく必要がある。
- ・自主的な取組については、近隣保育園等との交流や大学生等の実習生の受入れを積極的に実施している。また、サービスの質の向上のため、ISOの認証取得や法人グループ間での勉強会等を通して積極的な交流を図りながら企業活動をしていることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用者からの多くの要望に応えていくための工夫を図るなど、満足度を向上させるための改善策が必要である。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(前法人の決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	81,611,413	79,022,765	88,730,000	77,920,328
	その他収入	0	0	960,000	0
	計	81,611,413	79,022,765	89,690,000	77,920,328
支出	運営費	10,092,057	15,944,131	16,243,000	15,442,205
	管理費	12,781,169	8,562,662	7,746,000	8,524,185
	本部経費				
	人件費	57,264,663	60,160,970	60,282,000	57,359,143
	修繕費	260,758	219,035	360,000	214,486
	その他支出	1,773,486	5,780,802	5,400,000	4,442,600
	計	82,172,133	90,667,600	90,031,000	85,982,619
収支差額		-560,720	-11,644,835	-341,000	-8,062,291

(施設決算状況の説明)

平成29年度から指定管理者が変更となったため、平成28年度の実績は、前指定管理者の決算額である。

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・利用率の低下により収益が減少したため、2年連続の赤字決算となっている。
- ・当初計画の収支赤字は、利用率の実態に即した収入を見込んでいたことによるものである。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	サンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算との間に乖離が見られるが、原因分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	予算と決算を比較して、収入減となっているが、前年対比においては、経費縮減が認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者法人の三期の決算書に基づき財務診断を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供や労務管理については適切に行われていたが、サービス活動収支の差額が赤字であるため、利用率の向上と効率的な運営が必要である。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	花の木ハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区荒川五丁目47番2号
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋五丁目9番10号
施設開設年月日		平成11年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成11年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>(定員)通所介護(一般デイ)40名 *介護予防含む</p>

平成30年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：75.0%
- 2 介護報酬改定により新たなサービス提供時間が設定されたことで報酬減が想定される中、多様なニーズの利用者の受入れ、稼働率の維持・向上に努め、経営の安定化を図っていく。
- 3 職員間で支援方法等の確認を行いながら共通認識のもと、利用者一人ひとりに適したサービス提供を行うとともに、在宅生活の継続に繋がる支援を心掛けていく。
- 4 地域包括支援センターと連携を図り、介護予防・日常生活支援総合事業に積極的に取り組むとともに、介護予防運動指導士等と協力しながら、体操や脳トレ等を活用し、介護予防に努めていく。
- 5 地域包括支援センター・みまもりステーションと協力し、地域福祉の拠点としての役割を果たすとともに、地域ぐるみの見守りに力を入れ、取り組んでいく。

平成30年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率65.5% 平均介護度2.6
- 2 営業活動等により稼働率が70%を超える月もあったが、利用者の高齢化や介護の重度化が進んだことで入院や入所等も多く、利用率の向上には至らなかった。
- 3 ケアプランをもとに、利用者の状態に常に対応した通所介護計画書を多職種間で作成や評価を行い、個々の利用者に適したサービス提供を行った。
- 4 介護予防運動指導士や地域包括支援センター等と協力しながら、筋力の維持・向上や認知症予防に取り組むとともに、利用者に対するその後のフォローも行いながら在宅生活の維持に努めた。
- 5 地域との定期的な会合の継続や施設見学、介護保険等の勉強会を地域の方を対象に実施するなどニーズ把握や地域福祉の拠点としての役割に努めてきた。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、65.5%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度が95%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。
- ・自主的な取組については、法人系列の保育園児との交流や近隣町会との会合など、いずれも定期的に継続して実施している。また、地域との繋がりを大切に連帯感を深めながら、合同防災訓練等の実施や近隣中学生の勤労留学を受け入れていることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用率は良好であるが、施設のPR活動や新規利用者の獲得など、さらなる利用率の向上に向けた取組が必要である。

施設決算状況

年度		平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	70,475,141	70,482,078	70,790,000	69,622,244
	その他収入	0	0	5,000	0
	計	70,475,141	70,482,078	70,795,000	69,622,244
支出	運営費	11,490,715	13,327,181	12,728,000	12,644,413
	管理費	3,681,003	5,401,764	4,421,000	4,314,742
	本部経費				
	人件費	52,291,530	49,304,374	48,653,000	50,922,574
	修繕費	14,223	14,040	50,000	21,831
	その他支出	22,819	24,701	0	10,493
	計	67,500,290	68,072,060	65,852,000	67,914,053
収支差額		2,974,851	2,410,018	4,943,000	1,708,191

(施設決算状況の説明)

・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	花の木ハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、収入・支出予算差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	予算と決算を比較して、収入減となっているが、経費はほぼ等しいため、経費の効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づき財務評価を行った結果、安定性は優れていて、収益性、成長性、活動性・健全性等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	良好

総合評価

介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準についてはすべて適合している。利用率の改善が必要であるが、利用者に対するサービスの提供や労務管理については適切に行われていた。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	西日暮里在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区西日暮里五丁目36番1号
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑四丁目39番10号
施設開設年月日		平成3年2月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成3年2月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 *介護予防含む</p>

平成30年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：85.0%
- 2 年間利用率85%を最終目標とし、職員が目標値を意識しながら事業運営を行っていくとともに、プログラムの見直しを行い、選ばれる事業所を目指し、新規利用者獲得に繋げていく。
- 3 活動プログラムや職員体制の見直しなど、介護報酬改定に対応した運営体制づくりを行っていく。
- 4 「不適切な対応をなくすための自己チェック」の継続、感染症予防や接遇等の研修により、事業所全体のケアの質を図り、より良いサービスの提供に努めていく。
- 5 地域の高齢者が安心して利用できる事業所として、屋外掲示板やホームページ等を活用し、情報発信に努め、家族や居宅介護支援事業所へのPR等の強化を図っていく。

平成30年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率69.7% 平均介護度2.6
- 2 新規利用者獲得数は、前年度と大きな差はなかったが、入院や入所による欠員を補充できなかったことが、利用率の低迷を招き達成には至らなかった。
- 3 機能訓練計画書に基づき、個々の目標や日頃の訓練内容を意識した外出活動を行うなどプログラムを工夫してサービス提供を行うとともに、法人内単独デイから非常勤介護職員を補充し、介護現場業務の強化を図ることができた。
- 4 施設内研修として、リスクマネジメント・感染症予防・虐待防止に関する研修を実施するほか、法人内研修にも参加するなど職員の意識向上を図った。
- 5 エレベーター内に利用者の作品や活動情報などを掲示して、地域からの訪問者にも施設のPR等に繋がるように工夫を試みた。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、69.7%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度が89%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取組については、お元気ランチ卒業生を対象にランチ事業を実施している。また、近隣の保育園の園児とは、年間計画を立て毎月交流会を行うとともに、小学生・中学生の勤労留学や大学生の福祉体験実習を積極的に受け入れていることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用率は良好であるが、引き続き、さらなる利用率の向上や収支の改善に向けた取組が必要である。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	101,694,713	102,712,525	97,860,000	90,955,586
	その他収入	5,684,511	4,435,006	930,000	4,629,196
	計	107,379,224	107,147,531	98,790,000	95,584,782
支出	運営費	14,284,537	15,720,147	14,837,000	14,588,049
	管理費	12,692,340	12,011,018	12,010,000	11,735,671
	本部経費				
	人件費	87,697,458	79,897,783	77,130,000	73,974,876
	修繕費	966,537	2,863,404	200,000	7,710,876
	その他支出	1,138,112	1,547,855	783,000	1,478,232
	計	116,778,984	112,040,207	104,960,000	109,487,704
収支差額		-9,399,760	-4,892,676	-6,170,000	-13,902,922

(施設決算状況の説明)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・3年連続の赤字決算となっている。平成30年度は、利用率の低下及びスプリンクラーの取替え修繕等による修繕費の増加が赤字決算の主な要因となっている。
- ・当初計画の収支赤字は、利用率の実態に即した収入を見込んでいたことによるものである。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	西日暮里在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、収入・支出予算差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	予算と決算を比較して、収入減となっており、前年対比においては、経費縮減は認められるが、効率的活用が行われているとは言えず、課題有とする。	課題有
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づき財務診断を行った結果、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供や労務管理についても適切に行われていたが、サービス活動収支の差額に赤字が続いているため、利用率の向上と効率的な運営が必要である。
なお、区では現在、区立サービスセンター全体の厳しい運営状況を踏まえ、その改善に資する再編を進めており、健全な運営のもと、より良いサービスが提供されるよう努めている。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	町屋在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区町屋七丁目2番15号
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑四丁目39番10号
施設開設年月日		平成5年3月23日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成5年3月23日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間)
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>(定員)通所介護(一般デイ)40名 *介護予防含む</p>

平成30年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：85.0%
- 2 町屋サービスセンターとして80%（法人としては85%）の年間利用率を目標とし、算定できる加算体制を整え、関連機関との連携強化を図りながら安定した事業運営を行っていく。
- 3 利用者の「自立支援」を念頭に置き、職員一人ひとりが利用者のニーズに合った支援を行うとともに、来たくなる施設づくりを目指していく。
- 4 利用者や家族が安心・安全に利用できる地域に密着した施設を目指し、希望が多い入浴等のニーズに応えられるサービスを提供していく。
- 5 外部への研修に参加することで、職員間で情報共有を図り、施設内研修にも取り入れていくとともに、職員の接遇等の向上やスキルアップに努めていく。

平成30年度の事業実績

- 1 一般デイ：70.4% 平均介護度2.3
- 2 施設入所等が多かったことから目標利用率の達成には至らなかったが、厳しい現状の中でも職員が数値等を意識したことで、若干ではあるが利用率の向上に繋がった。
- 3 趣味・生きがい活動や外出行事等の選択肢を増やし、生活意欲に繋がるよう一人ひとりの利用者に向かい合い支援を行い、利用日の追加に繋がるなど一定の成果を得ることができた。
- 4 ニーズの高い入浴サービスの充実や施設内での活動の様子をセンター通信等で見える形で家族等にPRするなど、利用者や家族の立場に立ち、丁寧に対応できたことが信頼に繋がっている。
- 5 職員のスキルアップ等のため、外部研修や区の研修にも積極的に参加し、その研修内容を施設内研修で発表し、職員間で情報共有を図るよう取り組んできた。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、70.4%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度が97%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取組については、おげんきランチ卒業生を対象に絵手紙教室等を実施している。また、母子生活支援施設や近隣幼稚園との交流会や中学生の勤労留学、大学生の介護体験を積極的に受け入れていることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用率等は良好であるが、引き続き、さらなる利用率の向上に向けた取組が必要である。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	98,328,097	96,535,377	102,801,000	94,185,431
	その他収入	8,278,710	7,813,041	1,179,000	8,059,294
	計	106,606,807	104,348,418	103,980,000	102,244,725
支出	運営費	14,954,211	15,063,694	18,420,000	17,934,512
	管理費	11,261,935	13,976,356	11,343,000	11,389,712
	本部経費				
	人件費	79,448,395	71,628,771	70,675,000	70,703,988
	修繕費	1,122,240	1,799,183	900,000	663,928
	その他支出	1,370,619	1,296,561	909,000	1,315,943
	計	108,157,400	103,764,565	102,247,000	102,008,083
収支差額		-1,550,593	583,853	1,733,000	236,642

(施設決算状況の説明)

・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	町屋在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して収入・支出予算差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	予算と決算を比較して収入減となっているが、経費はほぼ等しく、効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づき財務診断を行った結果、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準等についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供は確実に履行され、財務面・労務面についても良好であり、指定管理業務は適正に行われていた。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住中部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住四丁目9番6号
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑四丁目39番10号
施設開設年月日		平成12年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成12年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間)
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>(定員)通所介護(一般デイ)30名 *介護予防含む。 なお、平成30年11月から定員30名を25名に変更した。</p>

平成30年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：85.0%
- 2 安定した経営を重点目標とし、居宅介護支援事業所や地域の方へのPR等の強化を図るとともに、新たな加算を算定できる体制を整え、年間利用率85%を目指していく。
- 3 利用者の個々のニーズに合ったサービスの提供に努め、職員間の連携を密にしながら、利用者一人ひとりが安心・安全に生きがい・やりがい等を体感できる施設を目指していく。
- 4 開設から19年目を迎え、施設内で経年劣化が見られるため、法人内の管理課や荒川区と連携を密に図りながら、計画的に修繕等を行っていく。
- 5 指定管理計画内容の検証を行い、効果や成果が得られるよう実施していく。

平成30年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率61.3% 平均介護度2.2
- 2 登録利用者の減少に伴い、実情にあった事業運営を行うべく平成30年11月より利用定員を30名から25名に変更するとともに、職員体制の再構築をしたが、現状は非常に厳しく利用率の回復及び達成には至らなかった。
- 3 個々の通所介護計画に基づき、ケアマネジメントのPDCAサイクルに沿ったサービス提供を実施した。また、これまでセンター長が担ってきたケアマネジメントに係る役割を現場職員が受け持つように業務改善を図った。
- 4 法人の予算において、「電気照明器具交換」、「給水加圧ポンプ等取替」及び「キュービクル更新工事」を実施した。
- 5 近隣保育園児等との定期的な交流により繋がりを深められているが、地域に向けた施設のPRが不十分であった。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度			
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、61.3%であり、十分な利用率とは言えなかった。
- ・自主的な取組については、お元気ランチ卒業生を対象に、毎週1回施設を開放し、脳トレや体操後に昼食の提供を行っている。また、近隣の保育園児との定期交流や区立小・中学生の勤労留学・職場体験、大学等の実習生を積極的に受け入れていることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・区立在宅高齢者通所サービスセンターの再編に伴い、利用者アンケートは実施せず、利用者の意向調査等に注力し、再編に係る移行準備等を進めてきた。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	58,478,472	59,682,988	63,964,000	49,312,051
	その他収入	2,231,826	2,202,296	653,000	2,756,003
	計	60,710,298	61,885,284	64,617,000	52,068,054
支出	運営費	12,014,488	12,347,797	12,252,000	12,710,299
	管理費	7,562,928	7,431,335	7,645,000	7,718,797
	本部経費				
	人件費	52,735,047	51,599,885	51,820,000	50,760,874
	修繕費	887,076	1,334,577	2,488,000	6,285,330
	その他支出	1,143,831	1,048,741	390,000	1,081,630
	計	74,343,370	73,762,335	74,595,000	78,556,930
収支差額		-13,633,072	-11,877,051	-9,978,000	-26,488,876

(施設決算状況の説明)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・利用率の低下に伴い、介護保険収入が減少したことから、大幅な赤字決算となっている。
- ・当初計画の収支赤字は、利用率の実態に即した収入を見込んでいたことによるものである。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	南千住中部在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算との間に乖離が見られるが、原因分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	大幅な赤字決算のため、課題有とする。	課題有
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づき財務診断を行った結果、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供や労務管理についても適切に行われていた。
また、指定管理者変更に伴う引継ぎ業務も適切に行われ、次期指定管理者が滞りなく事業を開始することができた。
なお、区では現在、区立サービスセンター全体の厳しい運営状況を踏まえ、その改善に資する再編を進めており、健全な運営のもと、より良いサービスが提供されるよう努めている。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	東日暮里在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区東日暮里三丁目8番16号
指定管理者	名称	社会福祉法人 東京都福祉事業協会
	所在地	北区王子二丁目19番21号
施設開設年月日		平成6年11月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成6年11月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間)
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>(定員) 通所介護(一般デイ)40名 認知症対応型通所介護(認知デイ)12名 * 各々介護予防含む</p>

平成30年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：75.0%、認知デイ：41.7%
- 2 関係法令を遵守しながら、地域に開かれた福祉サービスの拠点としての役割を果たしていくとともに、介護予防事業にも積極的に取り組み、効果を上げていく。
- 3 利用者の持つ身体の残存能力の維持と活用を図りながら、自立援助に努めていくとともに、食事、入浴介助を通じ、個々に応じた日常生活の改善や健康保持の指導など、心身機能の維持向上を図ることのできるサービス提供を行っていく。
- 4 利用者や家族との信頼関係を基本に、相談や要望には迅速かつ適切に対応していくとともに、利用者の目線に立ったサービス提供に努めていく。
- 5 全職員が連携し、事故の発生や防止を心掛け、利用者が安心して快適なサービスを受容できるよう、さらなるサービスの向上に努めていく。

平成30年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率58.8% 平均介護度1.9、認知デイ：利用率56.4% 平均介護度2.7
- 2 介護予防策の一環である「お元気ランチ」「ふれあい粋・活サロン」の実施や施設公開事業である「ふれあい祭り」を通じて、家族や地域の方々が気軽に参加できる交流イベントの実施に取り組んだ。
- 3 利用者の主治医やケアマネジャー等と連携を図りながら、自立した生きがいのある生活が送れるよう支援を行うとともに、バランス、歩行、立上り訓練等を実施するなど残存能力の維持と活用に配慮したサービス提供を行った。
- 4 連絡帳や電話などによる家族とのコミュニケーションやケアマネジャーとの情報交換等に努め、利用者一人ひとりに適したサービス提供を行った。
- 5 利用者に快適なサービスを提供するため、外部研修等により職員の資質向上と施設全体のスキルアップを図った。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、一般デイが58.8%であり、十分な利用率とは言えなかったが、認知デイは56.4%と回復している。
- ・利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度については、施設の安全面及び職員の利用者に対する接遇への満足度が高く、全体として「ふつう」以下の回答はなかった。
- ・自主的な取組については、地域ふれあい祭り等を実施するほか、音楽、朗読劇等のボランティアを積極的に受け入れ、地域における福祉サービスの拠点としての役割を担っている。また、区立中学生の勤労留学や大学生の介護体験についても積極的に受け入れていることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・一般デイについて、施設のPR活動や新規利用者の獲得、サービス提供時間等の見直しなど、利用率の向上や収支の改善に向けた取組の実施が早急に必要である。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	89,177,024	90,483,215	111,397,000	100,158,724
	その他収入	700,000	0	1,173,000	0
	計	89,877,024	90,483,215	112,570,000	100,158,724
支出	運営費	7,800,381	10,908,857	8,888,000	8,280,778
	管理費	15,054,092	14,776,404	17,157,000	15,695,865
	本部経費				
	人件費	83,100,893	84,249,487	82,399,000	88,249,444
	修繕費	1,433,262	2,714,355	554,000	1,589,878
	その他支出	0	0	672,000	0
	計	107,388,628	112,649,103	109,670,000	113,815,965
収支差額		-17,511,604	-22,165,888	2,900,000	-13,657,241

(施設決算状況の説明)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・認知デイの利用率の向上により収支に大幅な改善が見られるが、一般デイの利用率の低下による収入の減少に伴い赤字決算となっている。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	東日暮里在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算との間に乖離が見られるが、原因分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	前年対比において、収入増・経費減で赤字幅も減少し、改善が見られるが、経費の効率的活用が行われているとは言えず、課題有とする。	課題有
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づき財務診断を行った結果、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供や労務管理についても適切に行われていたが、サービス活動収支の差額に赤字が続いているため、経費の縮減、サービス提供時間等の見直しなど、利用率の向上と効率的な運営が必要である。

なお、区では現在、区立サービスセンター全体の厳しい運営状況を踏まえ、その改善に資する再編を進めており、健全な運営のもと、より良いサービスが提供されるよう努めている。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川東部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区荒川一丁目34番6号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目13番20号
施設開設年月日		平成6年12月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成6年12月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間)
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>(定員) 通所介護(一般デイ)35名 認知症対応型通所介護(認知デイ)10名 * 各々介護予防含む</p>

平成30年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：85.0%、認知デイ：55.0%
- 2 一般デイでは85%、認知デイでは55%を目標利用率として、安定した施設の運営を目指していく。
- 3 認知の症状が重くなっても安心して通い続けられるよう、介護職員の質の向上に努め、寄り添う介護を目指すとともに、家族との密なる連携に努めていく。
- 4 祝日開館や入浴サービスの毎日の実施を継続し、在宅生活を維持できるよう支援を行っていく。
- 5 利用者一人ひとりの尊厳を大切に、個別性のあるサービス提供に努めていく。また、自ら選んで参加することのできるプログラムの充実を図っていく。

平成30年度の事業実績

- 1 一般デイ利用率：79.1% 平均介護度2.1、認知デイ利用率：62.6% 平均介護度3.4
- 2 計画の目標に合わせ新規利用者の受入れを積極的に取り組んだ結果、一般デイでは前年比1.5%減であったが、認知デイでは、利用者や家族の信頼を得て前年比13.4%増となり、全体で安定した利用率の維持に繋げることができた。
- 3 認知症対応型の活動プログラムの充実を図るとともに、利用者や家族が安心して生活できるよう家族との連絡を大切にしながら信頼関係の構築に努めてきた。
- 4 入浴は非常にニーズの高いサービスであるとともに、車椅子型リフトによる機械浴を必要とするケースも増加しているため、利用者や家族のニーズに合わせ実施した。また、祝日開館は、家族の希望もあり平日と変わらない利用があった。
- 5 毎日の活動プログラムを身体・手先・頭の体操・回想・声を出す活動という要素に組み替えることで、変化のある活動のサービス提供を行った。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、一般デイは79.1%、認知デイ62.6%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度が95%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。
- ・自主的な取組については、お元気ランチ卒業生等を対象に健康茶話会「ころから」の実施、区立中学生の勤労留学、大学生の介護体験、企業等のボランティアの受入れを積極的に実施している。また、近隣の保育園児や地域の方々とセンターまつり等を通じて開かれた施設として交流を深めていることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・利用率等は良好であるが、引き続き、さらなる利用率等の向上に向けた取組が必要である。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	98,122,101	109,005,343	106,992,000	111,781,728
	その他収入	2,211,923	2,206,447	2,133,000	2,131,571
	計	100,334,024	111,211,790	109,125,000	113,913,299
支出	運営費	14,107,428	14,370,191	16,348,000	14,371,433
	管理費	15,061,525	15,471,934	17,524,000	15,908,956
	本部経費				
	人件費	67,450,979	71,019,586	74,378,000	72,405,151
	修繕費	2,001,341	2,561,983	875,000	587,670
	その他支出	0	0	0	2,221,560
	計	98,621,273	103,423,694	109,125,000	105,494,770
収支差額		1,712,751	7,788,096	0	8,418,529

(施設決算状況の説明)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・車椅子等に係る減価償却費の増加により、その他支出が増加している。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	荒川東部在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、収入・支出予算差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	予算と決算を比較して、収入増・経費減となっており、経費の効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づき財務診断を行った結果、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準等についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供は確実に履行され、財務面・労務面についても良好であり、指定管理業務は適正に行われていた。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	西尾久西部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区西尾久六丁目17番3号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目13番20号
施設開設年月日		平成7年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成7年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間)
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>(定員) 通所介護(一般デイ)35名 認知症対応型通所介護(認知デイ)10名 * 各々介護予防含む</p>

平成30年度の事業計画

- 1 【法人が設定した目標利用率】一般デイ：86.0%、認知デイ：20.0%
- 2 一般デイでは86%、認知デイでは20%を目標利用率として、安定した施設の運営を目指していく。
- 3 身体を動かす機会を確保するため、個別機能訓練や集団体操の充実を図るとともに、体力測定を定期的を実施することで、利用者や家族に利用効果を分かりやすく提示していく。
- 4 重度の要介護の方が穏やかに過ごせるようサービス内容の充実を図るとともに、家族の介護負担を軽減できるよう相談支援や情報提供を行っていく。
- 5 祝日開館や入浴サービスの毎日の実施を継続し、利用者一人ひとりの身体状況や利用目的に合わせ、尊厳を大切にサービス提供に努めていく。

平成30年度の事業実績

- 1 一般デイ利用率：80.0% 平均介護度2.0、認知デイ利用率：1.5% 平均介護度2.5
- 2 計画の目標に合わせ、新規利用者の受入れに積極的に取り組んできたが、区立サービスセンターの再編計画により、早期に他事業所に移行された方もいたため、利用率の達成には至らなかった。
- 3 体力測定を2カ月に1度実施し、状態をグラフで示すことにより体力の変化や訓練の成果などを利用者や家族に提示できた。また、それが次に繋がる訓練の目標等にもなり利用者や家族から好評であった。
- 4 昨年に引き続き、胃ろうなどの対応が必要な方の受入れを積極的に行うとともに、ベット上での介護時間が多くなるため、安心して過ごせる環境づくりに努めてきた。
- 5 入浴はニーズが高いサービスであるため、行事の開催日も含めて開館日は毎日実施し、利用者や家族に寄り添うサービス提供を行った。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規程を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている		○
食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している		○
看護職員、介護職員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
サービス提供に必要な設備を備えている		○

結果

適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて 良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率（一般デイ）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービス提供を専門的なスキルをもって、安定的に実施している。
- ・利用率については、一般デイが80.0%以上を維持したが、認知デイは1.5%であった。
- ・利用者アンケートの結果では、施設サービス全般に対する満足度が91%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。
- ・自主的な取組については、お元気ランチ卒業生等を対象に健康茶話会「ころから」の実施、区立中学生の勤労留学、大学生の介護体験、企業等のボランティアの受入れを積極的に実施している。また、近隣の保育園児や地域の方々とセンターまつり等を通じて開かれた施設として交流を深めていることが評価できる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・認知デイの利用者は、平成30年5月以降0人となっている。なお、区立在宅高齢者通所サービスセンターの再編計画に伴い、新たな利用者の受入れは行っていない。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	介護保険事業収益	85,504,256	86,599,004	95,049,000	78,252,475
	その他収入	2,089,784	2,087,913	683,000	660,347
	計	87,594,040	88,686,917	95,732,000	78,912,822
支出	運営費	15,127,109	14,706,001	14,708,000	13,337,296
	管理費	14,962,483	15,108,299	17,214,000	15,569,963
	本部経費				
	人件費	60,804,923	60,693,448	63,992,000	61,512,375
	修繕費	3,805,851	1,145,024	970,000	1,612,882
	その他支出	0	0	0	805,680
	計	94,700,366	91,652,772	96,884,000	92,838,196
収支差額		-7,106,326	-2,965,855	-1,152,000	-13,925,374

(施設決算状況の説明)

- ・介護保険事業収益により運営を行っており、区として指定管理料を支出していない。
- ・区立在宅高齢者通所サービスセンター再編計画に伴い、認知デイが事実上、休止状態となっており、その分の収入が得られないことにより大幅な赤字決算となっている。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	西尾久西部在宅高齢者通所サービスセンター拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算との間に乖離が見られるが、原因分析が行われている。	
会計	経費の効果的活用が行われている	前年対比において、収入減となっており、経費についても効果的活用が行われているは言えず、課題有とする。	課題有
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づき財務診断を行った結果、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

介護人材の確保が厳しい中であって、法令基準についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供や労務管理についても適切に行われていた。区立在宅高齢者通所サービスセンター再編に向け、利用者の移行等に注力していく必要がある。
なお、区では現在、区立サービスセンター全体の厳しい運営状況を踏まえ、その改善に資する再編を進めており、健全な運営のもと、より良いサービスが提供されるよう努めている。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川老人福祉センター
	所在地	荒川区荒川 一丁目34番6号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目13番20号
施設開設年月日		昭和45年12月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成7年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間)
業務内容		(1) 事業に関する業務 ・生活、就労、健康等の相談及び指導に関する業務 ・機能回復訓練その他健康の保持増進に関する業務 ・教養の向上及びレクリエーションに関する業務 ・その他区が必要と認める事業に関する業務 (2) 施設の維持管理に関する業務 ・施設及び付属設備の保守点検に関する業務 ・施設の清掃に関する業務 ・備品の管理に関する業務 ・その他の維持管理に関する業務 (3) 区が実施する早期の介護予防、認知症予防事業に関する業務

平成30年度の事業計画

- 1 【介護予防事業】いつまでも健康で生きがいを持って生活できるよう、利用者が主体的に介護予防や健康づくりに取り組むきっかけとなる場を創出し、介護予防の意識づけや情報提供及び普及啓発を行っていく。
- 2 【健康相談事業及び生活相談事業】利用申請時だけでなく、日頃から健康相談員や看護師が利用者の身体状況を把握し、地域包括支援センター等関連機関と連携を図りながら、認知症予防プログラムや健康アップステーションの活用を図るとともに、健康や生活に役立つ充実した最新情報を提供していく。
- 3 【公開講座】新規講座を2つ開設する。また、人気の高い講座は実施回数を増やすとともに、2回連続の講座にするなど内容を充実していく。
- 4 【高年者クラブ連合会等に対する支援】区内の高年者クラブと連携を通して事業の促進を図るとともに、地域に根差した施設づくりを目指すため、世代間交流を推進し、出会いやふれあいを通して相互理解を深めていく。

平成30年度の事業実績

- 1 介護予防プログラムは、各種体操の参加者が増加し、健康づくりへの意識づけを高めることができ、参加者の体力測定値の向上が見られた。
- 2 地域包括支援センター等関係機関と情報共有や連携を図りながら、健康管理等の支援を行うとともに、利用者が相談しやすい環境づくりの充実に努めてきた。
- 3 文化教養教室・定例事業・介護予防教室の新規受講者募集において、定員未達の教室の再募集を無条件にしたことで、各教室を予定通り開講でき、各種行事・講座・事業の充実を図ることができた。
- 4 高年者クラブ連合会の月例会長会・女性部全体会への職員参加するとともに、高年者芸能大会を共催で開催し各団体の歌やダンス等の成果発表、交流の場の提供を行った。

法令基準等への適合状況				
確認項目			適合判断	
運営基準を満たしているか				
運営規定を定めており、適切に守られている			○	
事業について				
生活相談、健康相談を行っている			○	
教養講座等を行っている			○	
老人クラブに対する援助等を行っている			○	
人員配置基準を満たしているか				
施設の長を配置している			○	
相談・指導を行う職員を配置している			○	
設備基準を満たしているか				
サービス提供に必要な設備を備えている			○	
			結果	
			適合	
その他の評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
来館者数		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取組		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1日の平均利用者は、157人と多くの来館者がある（年間利用者総数46,351人、新規利用登録者600人）。 ・ 利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が83%に達するなど、良好な評価を得ている。 ・ 自主的な取組については、「街なか避暑地」や「街なかほっとサロン」を実施し、施設の地域開放を行っている。また、近隣の保育園児との交流やサマーボランティアスクール等小中学生の受入れ、ボランティアグループによる喫茶コーナーの実施など、地域に根差し開かれた施設として、地域交流を深めていることが評価できる。 				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの結果は良好であるが、引き続き、さらなる利用者の満足度の向上に繋がるサービス提供が必要である。 				

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	67,755,269	70,109,180	77,511,000	70,934,801
	その他収入	—	—	—	—
	計	67,755,269	70,109,180	77,511,000	70,934,801
支出	運営費	9,386,816	14,021,124	15,422,000	13,865,601
	管理費	11,987,126	11,321,260	12,984,000	12,151,717
		本部経費	187,736	160,604	0
	人件費	44,189,427	44,600,408	48,020,000	44,452,208
	修繕費	2,191,900	166,388	1,085,000	465,275
	その他支出	0	0	0	0
	計	67,755,269	70,109,180	77,511,000	70,934,801
収支差額		0	0	0	0

(施設決算状況の説明)

- ・本部経費は基本協定により、運営費の決算額の2%相当額以下となっている。
- ・決算では、支出に応じて指定管理料を精算しており、収支に差額は生じない。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	荒川老人福祉センター拠点区分の決算であるが会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、収入・支出予算差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	前年対比において、経費は減少しており、経費の効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づき財務診断を行った結果、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

- ・老人福祉センターとして担うべき、生活、就労、健康等の相談及び指導に関する業務などを確実に履行している。
- ・法令基準等については、すべて適合している。利用者に対するサービスの提供は確実に履行され、財務・労務目についても良好であり、指定管理業務は適正に行われていた。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川授産場
	所在地	荒川区東尾久四丁目3番7号
指定管理者	名称	公益社団法人 荒川区シルバー人材センター
	所在地	荒川区東尾久四丁目3番7号
施設開設年月日		昭和55年3月東京都から移管
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		<p>荒川区立授産場条例の規定に基づく業務</p> <p>(1) 事業に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業及びそれに必要な設備の提供に関する事 ・作業の相談及び指導に関する事 <p>(2) 施設の維持管理に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設及び付属設備の保守点検に関する業務 ・施設の清掃に関する業務 ・備品の管理に関する業務 ・その他の維持管理に関する業務 <p>(3) その他区が必要と認める業務</p>
平成30年度の事業計画		
<p>(1) 事業の運営については、今日まで培ってきた授産場運営のノウハウを生かし、利用者に適切な仕事を提供することで、生きがいづくりと健康で安定した生活を営んでもらえるよう努める。</p> <p>(2) 利用者の安定的な工賃確保のため、受注量の安定化に努める。</p> <p>(3) 利用者の健康維持のために医師による健康診断を月に2回実施するとともに、毎日体操の時間を設け、作業の安全と健康増進に努める。</p> <p>(4) 利用者等の個人情報保護については、緊急時対応のための情報のみを保有することとし、取扱いには常に細心の注意を払う。</p>		
平成30年度の事業実績		
<p>30年度末利用者は、16名（29年度末利用者：18名）であった。</p> <p>受注については8社（29年度実績8社）、受注額は7,601,277円（29年度受注額は8,699,696円で約13%減）であった。</p> <p>月別平均工賃は、36,721円（29年度：40,276円）、最高月は12月の67,694円（29年度最高月：12月54,265円）、最低月は1月の17,389円（29年度最低月：8月27,420円）であった。</p> <p>健康管理については、毎月2回（第2・4火曜日）嘱託医による問診、血圧測定等を行った。</p>		

法令基準等への適合状況			
確認項目			適合判断
運営基準を満たしているか			
	荒川区立授産場指定管理者業務仕様書に則して適切に運営されている		○
	苦情を受け付けるための窓口を設置している		○
	非常災害対策を行っている		○
	健康管理を行っている		○
人員配置基準を満たしているか			
	施設長を配置している		○
	作業指導員を配置している		○
設備基準を満たしているか			
	作業室、作業設備など基準を満たした設備を設けている		○
			結果 適合
その他の評価項目			
項目	評価	極めて良好である	良好である 取組が行われていない、または取組が十分でない
安定した工賃確保に努めている		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
自主的な取組		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
評価内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の工賃確保のため効率的な受注に努めているものの、受注額は利用者の減少に伴い前年比で約13%の減少、一人当たりの月別平均工賃は利用者の高齢化に伴う生産性の低下等により約10%の減少となった。 ・利用者アンケートの結果から、授産場での作業を続けたいかの問いに対する結果が、「是非継続したい」「どちらかといえば継続したい」を合わせて75%（16名中12名）となっており良好な評価を得ている。なお、3名が無回答であったが、無回答とした理由は3名とも健康等に不安があるためとのことである。 ・節電への対応として、室内照明器具の間引き及び空調温度の設定、昼休みの消灯等を徹底した。 			
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等			
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートの満足度は良好であるが、更なる満足度向上に繋がる、より働きやすい環境づくりに努める必要がある。 			

施設決算状況

年度		平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	17,587,259	17,394,984	17,879,623	16,949,676
	その他収入	0	0	0	0
	計	17,587,259	17,394,984	17,879,623	16,949,676
支出	運営費	623,350	742,356	985,823	694,548
	管理費	5,922,857	5,965,832	6,141,951	6,077,416
	本部経費	837,488	1,137,844	1,169,322	1,108,857
	人件費	9,709,326	9,352,198	9,716,667	9,416,491
	修繕費	1,331,726	1,334,598	1,035,182	761,221
	その他支出	0	0	0	0
	計	17,587,259	17,394,984	17,879,623	16,949,676
収支差額		0	0	0	0

(施設決算状況の説明)

- ・本部経費は年度協定により、運営費・管理費（修繕費含む）・人件費の決算額の7%相当額と定めている。
- ・決算では、支出に応じて指定管理料を精算しており、収支に差額は生じない。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	荒川区シルバー人材センターの決算であるが、会計手続は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算と決算を比較して、収入・支出予算差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	前年対比において、少ない経費で適切な運営を行っており、経費の効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	労働契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づき財務診断を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等は良好であり、安定的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

- ・施設及び付属設備の保全については、シルバー人材センターの会員による館内日常清掃及び樹木剪定を始め各種設備保守を効果的、効率的に行い、適切な維持管理に努めている。
- ・法令基準についてはすべて適合している。利用者に対するサービスの提供は確実に履行され、財務・労務面についても良好であることから、指定管理業務は適正に行われていた。

担当所管部	
部	福祉部
課	高齢者福祉課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川福祉作業所
	所在地	荒川区荒川一丁目53番9号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目13番20号
施設開設年月日		昭和48年6月
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成19年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～令和4年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・通常の事業所に雇用されることが困難である知的障がい又は身体障がい者を対象に、福祉的就労の機会を提供するとともに、生産活動等を通じ、自立に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行い、社会の一員として充実した生活ができるよう、自立援助を行う。
平成30年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対し、自立して暮らせることを目的とした支援（就労継続支援B型）と、個々の状況に応じ就労（就労移行支援事業）に向けた支援を行う。 ・就労継続支援事業B型については、利用者の特性を考慮し、作業工程を分析して、その能力や機能を高めるよう指導し、工賃収入増を図る。 ・就労移行支援事業については、利用者の状況、保護者の要望を尊重して就職指導を行い、一般企業への就職を目指す。 ・家庭及び関係機関との連携並びに地域との交流を図り、地域での自立生活を支援する。 		
平成30年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援事業B型41人（定員48人） 就労移行支援事業1人（定員7人） ・一人あたりの平均工賃支給目標を8千円とし、月ごとに売り上げ目標を定めて作業に取り組み、年間を通じて目標を達成した。 ・受注作業以外に、自主生産活動を行い、各種イベントでの販売や出品等を行った。 ・就労移行支援事業では、就労支援員がハローワーク足立に同行して、求人登録等のサポートを行った。 ・50歳以上の利用者を対象に、毎日のウォーキングの実施や、食事や感染症等についての講義を企画、実施した。 		

法令基準等への適合状況		適合判断
確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
運営規定を定めており、適切に守られている		○
重要事項を記した説明を行い、同意を得ている		○
人員配置基準を満たしているか		
管理者及びサービス管理責任者を配置している		○
看護職員及び生活支援員等を配置している		○
設備基準を満たしているか		
訓練・作業室等その他運営上必要な設備を持って運営している		○
	結果	適合

その他の評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容
<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況調査では、41人中32人（78%）が「作業所が好き」と回答している。 ・自主生産品の各種イベントでの販売、実習生受入れ、区内小学校への出張による心のバリアフリーに関する授業等を実施した。 ・第三峡田小学校への避難移動訓練を含めて、3回の訓練を実施した。
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等
今後とも、就労継続支援B型事業において、賃金の向上への工夫が望まれる。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	215,510,766	236,210,440	267,722,647	254,115,091
	その他収入	0	0	0	0
	計	215,510,766	236,210,440	267,722,647	254,115,091
支出	運営費	10,573,109	11,232,206	13,245,405	12,756,670
	管理費	45,281,093	50,523,481	52,476,006	52,407,696
		本部経費	20,378	43,347	0
	人件費	156,068,896	173,105,309	200,132,868	187,536,217
	修繕費	3,587,668	1,349,444	1,868,368	1,414,508
	その他支出	0	0	0	0
計	215,510,766	236,210,440	267,722,647	254,115,091	
収支差額		0	0	0	0

(施設決算状況の説明)

- ・収支当初計画・決算額は、荒川生活実習所を含んでいる。
- ・本部経費は基本協定により、指定管理料の精算処理後の残額の2%相当額となっている。
- ・決算では、本部経費の確定後に、本部経費を含む支出に応じて精算しており、収支に差額は生じない。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	全体として概ね適正に会計手続が取られていたことが確認できた。	良好
	予算管理が適正である	個々の支出に関して法人内の申請書が整備されており、細かく管理されている。書類整理状況も含め、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	資金収支計算書にて、当初の計画より支出の削減をしていることが確認でき、経費の縮減努力が認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	労務関係書類を確認した結果、時間外勤務の管理への指摘があったが、申請手続や時間把握について、改善に向けて取り組んでいる。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	三期の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、安定性は極めて良好、成長性、収益性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。	良好

総合評価

- ・利用者に対するサービスの提供は、適切に行われている。特に高齢の利用者へのウォーキングなど健康に配慮した対応は評価できる。
- ・また財務面及び労務面はともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川生活実習所
	所在地	荒川区荒川一丁目53番9号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目13番20号
施設開設年月日		昭和48年6月
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成19年4月1日
指定期間		平成29年4月1日～令和4年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・重度の知的障がい者を対象に社会生活の向上、地域での自立生活支援、社会参加を目的とし、日々の生活の充実と生きがいを高める支援を行う。
平成30年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い年代の利用者のニーズに応えるため、多彩な活動メニューを実施すると共に、「利用者自身が決めて行動する。」「利用者が自分の役割を感じられる」ことに重点を置き支援する。 ・自主製品販売、買い物活動、地域での作品展示、外出活動、ボランティア活動により、地域との交流に力を入れる。 ・日々の健康状態の把握及びウォーキング・体操の実施により身体機能を維持し、健康を維持する。 		
平成30年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数42人（定員42人） ・少人数のグループごとにきめ細かな支援を行うことにより、個々の利用者の自主的な活動やグループ間を超えた活動等幅広い活動につながった。 ・障がいの多様化や幅広い年齢層に対応するため、医療体制の確認や家庭での生活全体の支援状況の把握など、保護者との信頼関係の構築に努めた。 ・ボランティアを積極的に受け入れ、利用者の意欲向上や体験の幅を拡大する機会を増やした。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
運営規定を定めており、適切に守られている	○	
重要事項を記した説明を行い、同意を得ている	○	
人員配置基準を満たしているか		
管理者及びサービス管理責任者を配置している	○	
看護職員及び生活支援員等を配置している	○	
設備基準を満たしているか		
訓練・作業室等その他運営上必要な設備を持って運営している	○	
	結果	適合

その他の評価項目				
項目	評価	極めて 良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況調査では、29人中27人（93%）が「実習所が好き」と回答している。 ・ボランティアの受入れや町会・民生委員等との連携など、地域交流を図っている。 ・利用者の防災意識育成のため、5回の小規模訓練に加え、職員は福祉避難所訓練及び災害用備品の使用方法に関する研修を行った。 				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
今後とも、利用者の高齢化や障がいの状況によるニーズの多様化を踏まえ、それぞれに必要な支援に取り組むことが望まれる。				

施設決算状況					
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	215,510,766	236,210,440	267,722,647	254,115,091
	その他収入	0	0	0	0
	計	215,510,766	236,210,440	267,722,647	254,115,091
支出	運営費	10,573,109	11,232,206	13,245,405	12,756,670
	管理費	45,281,093	50,523,481	52,476,006	52,407,696
		本部経費	20,378	43,347	0
	人件費	156,068,896	173,105,309	200,132,868	187,536,217
	修繕費	3,587,668	1,349,444	1,868,368	1,414,508
	その他支出	0	0	0	0
	計	215,510,766	236,210,440	267,722,647	254,115,091
収支差額		0	0	0	0

(施設決算状況の説明)

- ・収支当初計画・決算額は、荒川福祉作業所を含んでいる。
- ・本部経費は基本協定により、指定管理料の精算処理後の残額の2%相当額となっている。
- ・決算では、本部経費の確定後に、本部経費を含む支出に応じて精算しており、収支に差額は生じない。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	全体として概ね適正に会計手続が取られていたことが確認できた。	良好
	予算管理が適正である	個々の支出に関して法人内の申請書が整備されており、細かく管理されている。書類整理状況も含め、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	資金収支計算書にて、当初の計画より支出の削減をしていることが確認でき、経費の縮減努力が認められる。	良好
労務	労働環境が適正である	労務関係書類を確認した結果、時間外勤務の管理への指摘があったが、申請手続や時間把握について、改善に向けて取り組んでいる。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	三期の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、安定性は極めて良好、成長性、収益性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。	良好

総合評価

- ・利用者に対するサービスの提供は、適切に行われている。
- ・また財務面及び労務面はともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	尾久生活実習所本所 / 尾久生活実習所分場
	所在地	荒川区西尾久六丁目17番3号 / 荒川区西尾久四丁目6番4号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目13番20号
施設開設年月日		平成7年4月1日 / 平成14年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・重度の知的障がい者を対象に社会生活の向上、地域での自立生活支援、社会参加を目的とし、日々の生活の充実と生きがいを高める支援を行う。
平成30年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の多様化したニーズにきめ細かく対応するため、グループ同士の連携を図り、一体的な運営を図る。 ・スポーツや感覚刺激等テーマ型活動プログラムの促進を行う。 ・きめ細やかなサービスを提供するために、ケース会議による情報共有、専門職同士の連携の充実、職員のスキルアップに努める。 ・個別支援計画の強化とサービス等利用計画との連携を図る。 ・職員の援助技術等の専門性だけでなく、他職種の専門職が連携を図りながら、サービスを提供することで、人材育成の強化を図る。 ・福祉避難所開設・運営訓練等の災害対策を通して、災害に対する意識を高める。 		
平成30年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数43人（定員44人） / 分場18人（定員19人） ・活動に際し、各施設内だけでなく、本所、分場の職員同士がグループを超えて、一体的な職員体制で支援を行った。 ・ボッチャやスヌーズレン活動を充実させ、利用者の希望に応じた各クラブ活動も継続した。 ・利用者の支援について、職員のスキルアップ及び情報の共有化のため、支援会議を月1回開催した。 ・施設以外のサービス提供者とも連携を図り、個別支援計画の充実のため、サービス管理者担当者会議を月1回開催した。 ・平成30年度に職員2名が社会福祉士試験に合格するなど、スキルアップを図ることができた。 ・本所、分場それぞれで、福祉避難所開設・運営訓練を行うなど継続的な災害対策を行った。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	運営規定を定めており、適切に守られている	○
	重要事項を記した説明を行い、同意を得ている	○
人員配置基準を満たしているか		
	管理者及びサービス管理責任者を配置している	○
	看護職員及び生活支援員等を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	訓練・作業室等その他運営上必要な設備を持って運営している	○
		結果
		適合

その他の評価項目				
項目	評価	極めて 良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況調査では60人中45人（75%）が満足であると回答している。 ・定期的なボランティアの受け入れや施設の自由見学会を実施している。 ・本所、分場それぞれで、福祉避難所開設準備・運営訓練を実施している。 				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも、利用者の高齢化及び障がいの重度化に対応するため、障がいに応じたプログラムの充実が望まれる。 				

施設決算状況						
年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	(決算)		(決算)		(当初計画)	
収入	指定管理料	226,929,567	245,241,039	273,327,958	253,885,724	
	その他収入	0	0	0	0	
	計	226,929,567	245,241,039	273,327,958	253,885,724	
支出	運営費	11,904,572	12,815,086	14,189,760	12,868,762	
	管理費	50,378,808	50,591,153	57,952,857	55,472,321	
		本部経費	400,911	404,309	0	501,198
	人件費	161,548,675	176,127,694	200,696,879	182,404,699	
	修繕費	3,097,512	5,707,106	488,462	3,139,942	
	その他支出	0	0	0	0	
	計	226,929,567	245,241,039	273,327,958	253,885,724	
収支差額	0	0	0	0		

(施設決算状況の説明)

- ・本部経費は基本協定により、指定管理料の精算処理後の残額の2%相当額となっている。
- ・決算では、本部経費の確定後に、本部経費を含む支出に応じて指定管理料全体を精算しており、収支に差額は生じない。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	資金収支計算書、支出内訳明細、及び法人決算書を検査した結果、適正に会計手続が実施されていることが確認できた。	優良
	予算管理が適正である	資金収支計算書にて予算と実績の差異を確認した。差額は軽微であり、予算管理は極めて適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	経費の縮減努力により、事業費、事務費とも予算を大きく下回っている。経費の効果的な活用が行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	三期の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、安定性は極めて良好、成長性、収益性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。	良好

総合評価

- ・利用者に対するサービスの提供は、適切に行われている。
- ・また、財務面、労務面ともに優良であり、指定管理業務は適切であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	障害者福祉会館（アクロスあらかわ）
	所在地	荒川区荒川二丁目57番8号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住一丁目13番20号
施設開設年月日		平成9年8月22日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成26年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者が地域の中で豊かに暮らしていくことを目指し、障がいのない方も含めた区民の幅広い交流、文化活動、情報提供の場を提供するとともに、障がい者向けの文化・教養講座、IT講習会などの各種事業を実施する。
平成30年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がいのある方の社会参加を支援する地域の拠点に加え、福祉教育や特定相談支援の機能を併せ持つことにより、自立と社会参加の促進を進める。 ・ 講座や事業、イベントの事業運営に当たっては、ニーズを的確にキャッチして企画を実施し、障がいのある方や当事者団体と連携・協力していく。 ・ 日々の運営や事業を通して、地元町会や障がい者団体、ボランティアとの地域の支えあいのネットワークを作る。 ・ ノーマライゼーションの理念の実現に向け、長年培ってきた多くの方々や団体との協力・共同の関係を一層深める。 		
平成30年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設利用者総数63,995人（29年度64,332人） ・ 貸室利用件数（貸出率）：多目的ホール 1,758件（84.4%） 第一・第二会議室 1,333件（64.0%） 第三会議室 393件（37.8%） ・ 特定相談事業（計画作成及びモニタリング） ・ 文化・教養講座事業（料理教室、リズム体操教室等） ・ IT講習会事業（障がい者向けパソコン入門講座） ・ ふれあい交流事業（障がい者スポーツ交流会、区内小学校での福祉事業教育講座等） ・ ばん座位体操、アクロス・連合会まつり等 		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
障がい者が利用しやすい施設の運営、情報収集及び提供ができています	○	
個人情報などの管理が適正である	○	
人員配置基準を満たしているか		
管理者を配置している（特定相談支援事業）	○	
運営や利用サービスのために必要な職員数を配置している	○	
設備基準を満たしているか		
運営に必要な設備及び備品等を備えている	○	
	結果	適合

その他の評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況調査では、58人中51人（84%）が「大変良い」「良い」と回答をしている。 ・施設公開を実施するなど、地域との交流を図っている。 ・地域と合同の福祉避難所開設訓練を行うなど防災対策に取り組んでいる。 				
より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等				
今後利用者ニーズをより一層反映させた各種講座を実施することが望まれる。				

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	58,880,589	58,535,738	61,632,296	61,247,544
	その他収入	0	0	0	0
	計	58,880,589	58,535,738	61,632,296	61,247,544
支出	運営費	16,237,603	16,385,975	17,064,964	15,593,203
	管理費		19,543,559	19,744,394	20,274,926
		本部経費	45,975	64,789	0
	人件費	21,743,790	21,775,621	24,292,406	23,885,803
	修繕費	1,355,637	629,748	0	1,335,412
	その他支出	0		0	0
	計	58,880,589	58,535,738	61,632,296	61,247,544
収支差額		0	0	0	0

(施設決算状況の説明)

- ・本部経費は基本協定により、指定管理料の精算処理後の残額の2%相当額となっている。
- ・決算では、本部経費の確定後に、本部経費を含む支出に応じて精算しており、収支に差額は生じない。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	資金収支計算書、支出内訳明細、及び法人決算書を検査した結果、適正に会計手続が実施されていることが確認できた。	優良
	予算管理が適正である	資金収支計算書にて予算と実績の差異を確認した。差異は軽微であり、予算管理は極めて適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	消耗品の在庫管理や節電など、経費削減につながる取組みを実施しており、概ね効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	三期の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、安定性は極めて良好、成長性、収益性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。	良好

総合評価

- ・特定相談支援事業にも積極的に取り組み、また多目的ホールの利用率も高く、適切な施設管理・運営に取り組んでいる。
- ・また財務面、労務面ともに優良であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	精神障害者地域生活支援センター（アゼリア）
	所在地	荒川区東尾久五丁目45番11号
指定管理者	名称	社会福祉法人 トラムあらかわ
	所在地	荒川区東尾久三丁目20番10号 ベルメゾンエス2階
施設開設年月日		平成15年1月
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成15年1月4日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で生活する精神障がい者の日常生活の支援、相談を行い、精神障がい者の社会復帰と自立、社会参加を促進するため、憩いや地域交流ができる場を提供し、精神ボランティア活動等の拠点とする。
平成30年度の事業計画		
<p>地域活動支援センターとして、精神障がい者が地域社会で生活しやすい環境づくりに努めることを基本方針に掲げて、以下の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者の地域活動支援として、グループ活動や各種の講座、利用者のミーティング等を実施。 ・ 地域交流活動として、公開講座のほか、納涼祭等のイベントを開催。 ・ 相談活動として、電話や面接による相談のほか、特定相談支援事業として、サービス等利用計画の作成を実施。 		
平成30年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ プログラム参加者数4,044人（29年度 4,258人） 実施内容等 創作的・レクリエーション的活動プログラム（夕食会・しごと講座等） 自主活動的プログラム（家族学習会、セルフヘルプミーティング等） 地域交流プログラム（ボランティア講座、利用者ミーティング、スポーツ交流祭、新年のつどい等） ・ 相談支援事業 相談件数25,371件（29年度 24,330件） ・ 特定相談支援事業実人数 95人（29年度 78人） ・ 実習生受入 など 		

法令基準等への適合状況		適合判断
確認項目		
運営規定を定めており、適切に守られている		○
個人情報などの管理が適正である		○
施設長を配置している		○
指導員を2名以上配置している		○
創作活動の機会の提供に必要な設備及び備品等を備えている		○
社会との交流促進等に必要な設備及び備品等を備えている		
	結果	適合

その他の評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用者アンケートでは、「満足度」について50人中39人（78.0%）が「大変満足」（20人）または「やや満足」（19人）と回答している。
- ・施設行事を地域に開放したり、公園清掃といった地域行事に参加し、地域との交流を積極的に行っている。
- ・災害時の取り組みでは、職員及び利用者向けの防災訓練を実施している。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・今後とも、利用者の症状や程度の違い等に対応し、利用者側の視点に立った、よりきめ細やかなサービス提供が望まれる。

施設決算状況					
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	41,137,212	50,028,835	54,346,070	51,032,067
	その他収入	0	0	0	0
	計	41,137,212	50,028,835	54,346,070	51,032,067
支出	運営費	4,945,616	6,667,188	7,801,487	7,705,973
	管理費	4,228,360	5,280,109	5,647,003	4,969,157
	本部経費	13,277	56,025	0	65,084
	人件費	31,622,380	36,798,669	40,439,448	37,826,914
	修繕費	340,856	1,282,869	458,132	530,023
	その他支出	0	0	0	0
	計	41,137,212	50,028,835	54,346,070	51,032,067
収支差額		0	0	0	0

(施設決算状況の説明)

- ・本部経費は基本協定により、指定管理料の精算処理後の残額の2%相当額となっている。
- ・決算では、本部経費の確定後に、本部経費を含む支出に応じて精算しており、収支に差額は生じない。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、事業別元帳を検査した結果、適正に会計手続が実施されていることが確認できた。	優良
	予算管理が適正である	決算書にて、予算と実績のかい離を確認した。要因分析は明確であり、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	水道光熱費や消耗品費において経費縮減努力が確認できる。経費の効果的活用が行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書類、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	三期の法人決算書に基づき財務評価を行った結果、安定性は極めて良好、成長性、収益性、健全性は良好である。安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。	良好

総合評価

- ・利用者に対するサービスの提供は、適切に行われている。
- ・また財務面、労務面ともに優良であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	小台橋保育園
	所在地	荒川区東尾久八丁目45番24号
指定管理者	名称	社会福祉法人 教信精舎
	所在地	荒川区西尾久六丁目9番7号
施設開設年月日		平成16年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成16年4月1日
指定期間		平成31年4月1日～令和2年3月31日
業務内容		<p>保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員150名、子育て交流サロン併設)</p> <p>0歳：12 1歳：24 2歳：26 3歳：26 4歳以上：62 計150名</p>
平成30年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が「なかま（保育園）・家庭・地域」の中で、健全な心身の発達を図り、共に成長しあえる保育を実施する。 施設の計画的補修、備品器具什器や園庭遊具の安全点検を実施。また、保育室内の温度、湿度、換気、採光を適切に管理し、施設内外の設備・用具の衛生管理に努めるほか、施設内の清掃・消毒を実施し衛生状態の保持に努める。 職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。職員同士の情報の共有化を心掛け、職員意識の一体化を通して保育サービスの向上に努める。施設内外研修を積極的に実施するほか、専門的分野を超えた幅広い研修機会を設ける。 保育目標の下、保育計画及び評価、保育行事の積極的参加、体育遊びや異年齢児交流等特色のある保育活動の実施、特別支援児保育、小学校との連携、保護者支援、健康管理及び支援、食育及び給食の実施、環境衛生と安全管理に積極的に取り組む。 保護者との信頼関係が基本との考えから、定期的な懇親会や保育参加、個人面談等を実施し、気軽に意見要望を聞く体制づくりに努める。また、保育方針や保護者との取り決めについて職員が共通の理解・認識を持ち、全職員が丁寧に説明できる体制を確保する。 所管消防署との連携を図り、火災予防、震災予防訓練を実施。安全対策として、全職員が救命技能認定証を取得し、継続的訓練を実施するほか、AED操作や心肺蘇生法等の研修を受講する。 小学校との連携や中高生等との異年齢交流、保育実習生の受入れ等を通じて、地域交流を図るほか、子育て交流サロンを実施し、積極的に在宅支援を行う。 		
平成30年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> 基本方針に則り、積極的に取り組んだ。 適切に職員を配置したほか、積極的な研修の実施に努めた。 保育サービスについて、計画どおり適切に実施した。 利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。 適切に危機管理を行った。 地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。	○	
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。	○	
	結果	適合

その他の評価項目			
項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
適正な設備・施設管理を实践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような環境づくり・児童との関わりに取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの実施や、保護者とのコミュニケーションの中で、子どもの育ちを積極的に伝える等、保護者からの満足度向上や信頼関係の構築に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保育中の事故防止のための方針を整備し、職員間での共通理解を進める等、安全な保育環境の構築に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・適正に施設・整備管理を実施している。またエコ活動の推進等、環境に配慮した運営を着実に実施している。
- ・区民雇用率は48.4%と極めて高く、小学校との連携、中高生との異年齢交流等の地域交流を積極的に行っている。
- ・子どもの目線に玩具を設置したり、遊びを楽しめるコーナーを設置し、子ども自らがやりたい遊びを選べるような環境づくりを実施している。
- ・利用者満足度は83.3%（第三者評価）となっている。
- ・週案をクラスごとに掲示し、一週間の保育活動が保護者にわかるように担任が説明をしている。また文書以外にも写真等で日々の活動を伝えたり、保護者がいつでも声を掛けやすい環境づくりを実施している。
- ・事故発生防止指針、保育安全マニュアル、事故防止チェックリストを作成。定期的に点検を行っている。散歩の際は、公園等の目的地に到着時と帰園時に保育園へ電話連絡をし、園児の居場所確認を行っている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

卒園児による保育ボランティアの受け入れや、近隣の中高生による職場体験の受け入れなど地域間・世代間の交流を積極的に行っている。引き続き同取組みを継続すると共に、園で実施している体操指導員による体操教室など特色ある保育内容について更なる充実を図ってもらいたい。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	246,752,243	254,272,634	256,030,117	256,030,117
	その他収入	10,832,823	11,343,276	11,686,100	11,679,519
	計	257,585,066	265,615,910	267,716,217	267,709,636
支出	運営費	18,836,034	27,226,261	29,310,709	27,148,559
	管理費	8,829,274	10,148,902	13,441,942	12,513,956
	本部経費				
	人件費	203,101,952	201,703,205	197,020,940	197,635,503
	修繕費	1,522,260	129,600	1,294,880	1,198,880
	その他支出	2,473,800	2,332,200	2,250,000	2,245,800
	計	234,763,320	241,540,168	243,318,471	240,742,698
収支差額		22,821,746	24,075,742	24,397,746	26,966,938

(施設決算状況の説明)

- ・収支差額については、国の経理等基準に基づき、積立資産に積み立てている。
- ・その他収入には、子育てサロン事業の委託費を含んでいる。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算書や事業計画に基づき費用を管理している。予算・実績の差異は10%以内であり、適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	前年度と比較して管理費は増加しているが保育環境の整備等経費の効果的活用が行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目で要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が優れているので、安定した運営を行う財務力を有している。	優良

総合評価

・サービス面、財務・労務面は優良であり、法人の財務力も優良であるため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	上尾久保育園
	所在地	荒川区西尾久八丁目10番12号
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋四丁目9番10号
施設開設年月日		昭和57年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日
業務内容		<p>保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員100名)</p> <p>0歳：11 1歳：15 2歳：18 3歳：18 4歳以上：38 計100名</p>
平成30年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・設備の補修、点検をきめ細やかに実施。また、園舎、園庭、遊具等の危険箇所の点検を常に行い、安全性向上に心掛ける。 ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。研修については、仕事を通じての研修を中心に据え、研修後は報告レポートにより、職員全員が成果を共有できるよう努める。労務問題にも対応し、知識の共有を図る。 ・乳幼児が初めての集団生活で、食事・睡眠・排泄ができ、物事に対する善悪の判断や人に対する優しさ、いのちの尊さを大切にできるように、また、地域の中でいきいきと健やかに育つよう、心豊かな保育を実施し、質の向上のための評価プロセスの検証や保護者満足度を把握し、魅力ある保育を目指す。 ・事故発生時には、法人関連の医療機関で迅速に対応する。また、苦情に対して迅速かつ適切に対応するため、苦情解決マニュアルを配置するほか、苦情箱を設置し、改善策を園内に掲示する等、積極的な対応を図る。 ・年間計画をたて、毎月避難訓練を行うほか、年2回、尾久消防署の来訪指導を受ける。非常用備蓄食品を計画的に購入し、災害に備える。法人全体として、個人情報保護規定を作成し、職員から個人情報保護に関する誓約書を徴収し、適切な管理を行う。 ・社会的責任を認識し、リスクマネジメント、インシデントレポート、緊急時対応、地域とのつながり強化等を確実に実施する。 ・地域に向けた情報発信、広報を行う。運動会、敬老会等に地域住民を招待するほか、通所サービスセンターの高齢者との交流会を実施。法人関連の医療機関による健康相談を積極的に開催する。 		
平成30年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・適切に職員を配置したほか、積極的な研修の実施に努めた。 ・保育サービスについて、計画どおり適切に実施した。 ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。 ・適切に危機管理を行った。 ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。 		

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。		○
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。		○
	結果	適合

その他の評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
適正な設備・施設管理を实践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような環境づくり・児童との関わりに取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの実施や、保護者とのコミュニケーションの中で、子どもの育ちを積極的に伝える等、保護者からの満足度向上や信頼関係の構築に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保育中の事故防止のための方針を整備し、職員間での共通理解を進める等、安全な保育環境の構築に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・適正に施設・整備管理を実施している。また、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を着実に実施している。
- ・区民雇用率は45.3%で、極めて良好である。
- ・高齢者施設への訪問や近隣の保育施設との交流を通して、地域交流と児童の就学へ向けた取組みを積極的に行っている。また、地域の清掃活動（5歳児のみ）を定期的に行い、地域活動に貢献している。
- ・クラスごとに遊びのコーナーを設置し、年齢にあった玩具を配置。園内のスペースにも絵本を読んだりおままごとができるスペースを設置し、子どもが好きな遊びを選び、友達と関わりを持ちながら遊べる環境を整備している。
- ・利用者満足度は88.2%（第三者評価）となっている。
- ・日々の保育内容は各クラスに設置のボードに記入し、保護者に伝えている。遠足や誕生日会等の行事があった際は、写真の掲示やクラス便りで知らせている。保護者会等でも日々の生活や行事などの映像を流し、視聴してもらっている。
- ・保護者との信頼関係を築き、子どもの成長や発達の過程等を丁寧に説明し、精神的に安心できるように心掛けている。
- ・事故防止や事故発生時の対応マニュアルやヒヤリハットを職員と共有し、安全性を心掛けた保育に努めている。散歩時には、危険箇所や散歩コースを写真等で撮影し、危険箇所を把握し、問題があればルートの見直し等を行っている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

法人の系列園と合同で特別養護老人ホームを訪問したり、お遊戯会に地域の方を招くなど、地域間・世代間の交流を積極的に行っている。引き続き同取組みを継続すると共に、当園周辺は交通量の多い道路等があることから、更なる安全対策の強化に努めてもらいたい。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	215,754,265	227,510,484	231,150,000	230,550,592
	その他収入	1,306,050	1,470,750	1,414,000	1,435,250
	計	217,060,315	228,981,234	232,564,000	231,985,842
支出	運営費	18,843,443	18,234,771	18,990,000	19,329,561
	管理費	3,891,495	5,018,341	3,985,000	3,848,559
	人件費	146,221,705	153,961,630	150,625,000	150,694,097
	修繕費	1,381,536	1,350,260	600,000	507,870
	その他支出	1,248,824	1,295,207	1,400,000	1,260,155
	計	171,587,003	179,860,209	175,600,000	175,640,242
収支差額	45,473,312	49,121,025	56,964,000	56,345,600	

(施設決算状況の説明)

- ・収支差額については、国の経理等基準に基づき、積立資産に積み立てている。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算書や事業計画に基づき費用を管理している。予算・実績の差異は10%以内であり、適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	昨年に比べ運営費は保育材料の購入等により大きくなっているが、経費は概ね当初計画とほぼ等しく効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目で要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、安定性は優れていて、収益性、成長性、活動性・健全性等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	良好

総合評価

・サービス面、財務・労務面は優良であり、法人の財務力も良好であるため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住さくら保育園
	所在地	荒川区南千住四丁目9番4号
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋四丁目9番10号
施設開設年月日		平成12年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日
業務内容		<p>保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員110名)</p> <p>0歳：12 1歳：18 2歳：20 3歳：20 4歳以上：40 計110名</p>
平成30年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・設備の補修、点検をきめ細やかに実施。また園舎、園庭、遊具等の危険箇所の点検を行い、安全性向上に心掛ける。 ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。研修については、仕事を通じての研修を中心に据え、研修後は報告レポートにより、職員全員が共有できるように努める。労務問題も知識の共有化を図る。 ・家庭や地域社会との連携を図り、保護者の協力の下、家庭養育の補填を行い、子どもが健康かつ安全で情緒の安定した生活が送れる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるように、健全な心身の発達を図り、豊かな人間関係を培えるよう努める。また、保育の質の向上のための評価プロセスの検証や保護者満足度の把握にも努める。 ・事故発生時には、法人関連の医療機関で迅速に対応する。また、苦情に対して迅速かつ適切に対応するため、苦情解決マニュアルを配置するほか、苦情箱を設置し、改善策を園内に掲示する等、積極的な対応を図る。 ・年間計画を立て、毎月避難訓練を行うほか、年2回、荒川消防署（汐入出張所）の来訪指導を受ける。法人全体として、個人情報保護規定を作成し、職員から個人情報保護に関する誓約書を徴収し、適切な管理を行う。社会的適任を認識し、リスクマネジメント、インシデントレポート、緊急時対応、地域とのつながり強化等を確実に実施する。 ・地域に向けた情報発信、広報を行う。夏祭り、運動会、高齢者との交流会等に地域住民を招くことで、地域とともに子育てを支援する体制を強化する。法人関連の医療機関による健康相談を積極的に開催する。 		
平成30年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針に則り、積極的に取り組んだ。 ・適切に職員を配置したほか、積極的な研修の実施に努めた。 ・保育サービスについて、計画どおり適切に実施した。 ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。 ・適切に危機管理を行った。 ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。	○	
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。	○	
	結果	適合

その他の評価項目			
項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
適正な設備・施設管理を实践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような環境づくり・児童との関わりに取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの実施や、保護者とのコミュニケーションの中で、子どもの育ちを積極的に伝える等、保護者からの満足度向上や信頼関係の構築に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保育中の事故防止のための方針を整備し、職員間での共通理解を進める等、安全な保育環境の構築に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・適正に施設・整備管理を実施している。またエコ活動の推進等、環境に配慮した運営を着実に実施している。
- ・区民雇用率は21.3%で、良好である。
- ・高齢者施設への訪問や近隣の保育施設との交流を通して、地域交流と児童の就学へ向けた取組みを積極的に行っている。
- ・棚の配置を工夫し、興味を持った玩具や絵本を手に取りやすくすることで感性を刺激し、遊びのコーナーを設置し、ひとつの遊びに集中できるような環境を整備している。体操教室や科学遊びを通して集団での関わりを学び、また、楽しみながら年齢に合わせた体づくりができるよう心掛けている。
- ・利用者満足度は90.3%（第三者評価）となっている。
- ・遠足や園外保育の実施前には事前に保護者にお知らせを配布し、目的や内容を確認してもらい、それに対して保護者から同意をもらっている。実施後は各クラスと園庭の掲示板に写真にコメントを付けて掲示し、園行事の理解を図っている。
- ・クラス便り等で子どもの育ちについて周知。また、保護者が精神的に安心して子どもを預けられるように、信頼関係の構築に努めている。
- ・子どもが安心安全に過ごせるように年齢ごとに保育計画を作成し、日々の保育で気づいた危険箇所等の改善に努めている。週1回開催の職員会議で事故防止、発生時対応のマニュアルやヒヤリハット等の情報共有を図っている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

法人の系列園と合同で特別養護老人ホームを訪問したり、地域の保育園・幼稚園と合同で交流するなど、地域間・世代間の交流を積極的に行っている。引き続き同取組みを継続するとともに、棚の配置や玩具の置き場所を工夫する等、子どもの興味や感性を刺激するような環境づくりを更に進めてもらいたい。

施設決算状況

年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	(決算)		(決算)		(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	232,398,700	234,394,793	230,650,000	230,507,586	
	その他収入	1,275,850	1,507,250	1,400,000	1,470,250	
	計	233,674,550	235,902,043	232,050,000	231,977,836	
支出	運営費	20,322,550	19,721,814	24,350,000	24,552,004	
	管理費	4,215,818	5,671,596	3,509,000	3,486,784	
		本部経費				
	人件費	141,423,538	159,444,192	160,200,000	160,025,962	
	修繕費	754,300	726,169	1,500,000	1,684,142	
	その他支出	1,406,734	1,365,618	1,400,000	1,413,830	
	計	168,122,940	186,929,389	190,959,000	191,162,722	
収支差額	65,551,610	48,972,654	41,091,000	40,815,114		

(施設決算状況の説明)

- ・収支差額については、国の経理等基準に基づき、積立資産に積み立てている。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計処理は適正に行われていた。	優良
	予算管理が適正である	予算書や事業計画に基づき費用を管理している。予算・実績の差異は10%以内であり、適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	昨年度に比べ運営費は保育材料や備品の購入等により増加しているが、経費は概ね当初計画とほぼ等しく経費の効果的活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目で要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、安定性は優れていて、収益性、成長性、活動性・健全性等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	良好

総合評価

・サービス面、財務・労務面は優良であり、法人の財務力も良好であるため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	汐入とちのき保育園
	所在地	荒川区南千住八丁目3番3号
指定管理者	名称	社会福祉法人 東京都福祉事業協会
	所在地	北区王子二丁目19番21号
施設開設年月日		平成12年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日
業務内容		<p>保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員110名)</p> <p>0歳：12 1歳：18 2歳：20 3歳：20 4歳以上：40 計110名</p>
平成30年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・園庭を整備し、安全で安らぎのある場として整える。また、保育室や備品類等が使いやすいよう工夫し、子どもが安心して生活できるよう環境を整える。 ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。研修については、職員それぞれの段階に応じて必要な専門知識、技術を身に付けられるよう工夫するほか、研修成果の報告・共有化を図る。 ・子どもたち一人ひとりと丁寧に向き合い、受け止め、愛おしい存在として認める環境を用意し、その中で様々な心の動きを体験し、自信・満足感・意欲を持ち、互いに育ちあえる保育の援助を行う。また、保護者との信頼関係をしっかりと結ぶことを心掛けるほか、地域に根差した保育を目指す。 ・アンケートの実施や意見箱の設置等により、利用者意見をくみ取るよう努める。苦情に対しては、対応マニュアルの整備等により、適切に対応する。 ・月1回以上の防災安全点検、避難訓練、初期消火訓練、応急救護、AED訓練等を実施する。事故未然防止策、ヒヤリハット事例を職員間で共有し、怪我等を未然に防げるよう努める。法人全体の個人情報保護規定の会議での読み合わせや個人情報保護研修を実施する。 ・卒園児の子育てボランティアや父親の子育て参加をはじめとして、子育てを社会全体で支援するため、地域の老人会、小中学校との交流、子どもに携わる施設との交流を積極的に行う。 		
平成30年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・適切に職員を配置したほか、積極的な研修の実施に努めた。 ・保育サービスについて、計画どおり適切に実施した。 ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。 ・適切に危機管理を行った。 ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。	○	
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。	○	
	結果	適合

その他の評価項目			
項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
適正な設備・施設管理を实践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような環境づくり・児童との関わりに取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの実施や、保護者とのコミュニケーションの中で、子どもの育ちを積極的に伝える等、保護者からの満足度向上や信頼関係の構築に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保育中の事故防止のための方針を整備し、職員間での共通理解を進める等、安全な保育環境の構築に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は、100%で、極めて良好である。
- ・適正に施設・設備管理を実施している。また、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を着実に実施している。
- ・区民雇用率は31.7%で、良好である。
- ・芋煮会や餅つき大会等の行事を地域に開放し、高齢者や子育て家庭等の交流を積極的に行っている。
- ・乳児は月齢や季節ごとに合わせた玩具を準備し、自由遊びの中で個々の発達を促している。幼児は異年齢で3人1組のグループを作り、好きな表現活動（造形、リズム、折り紙等）を選択し、協力して取り組める環境を整えている。年齢の壁をなくし、人との関わり合いを通じ社会性や相手への思いやり、尊敬の心を育てている。
- ・利用者満足度は83.5%（第三者評価）となっている。また、行事ごとにアンケート調査を実施している。
- ・スナップ写真やお知らせボード、クラス便り等で、保護者へ日々の保育の様子を伝えている。無断欠席の場合は、必ず保護者へ連絡を取り状況を確認する。
- ・都や区からの事故防止関係の情報はいち早く職員に周知。ヒヤリハットの記録と報告は朝礼や会議で発表し情報共有を図っている。
- ・散歩マップの作成と安全なコースや目的地の設定を徹底している。また、公園等での遊ばせ方や職員の配置も事前に打ち合わせを行い、子どもの安全対策に心掛けている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

地域の保育園、幼稚園との交流会や、地域の老人会を園のイベントに招待する等、地域間・世代間の交流を積極的に行っている。引き続き同取組みを継続すると共に、コーナー保育を充実させる等、子どもの自主性を促す環境づくりを推進してもらいたい。

施設決算状況

年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	(決算)		(決算)		(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	240,175,067	238,634,504	234,333,000	238,820,980	
	その他収入	3,239,223	3,296,206	3,462,000	3,387,692	
	計	243,414,290	241,930,710	237,795,000	242,208,672	
支出	運営費	29,273,162	26,045,673	25,690,000	23,856,094	
	管理費	12,776,950	14,069,582	16,817,000	16,105,219	
		本部経費				
	人件費	165,307,933	171,970,844	172,260,000	173,004,993	
	修繕費	1,025,326	1,734,144	6,500,000	6,221,108	
	その他支出	2,745,750	2,731,633	2,700,000	2,680,650	
	計	211,129,121	216,551,876	223,967,000	221,868,064	
収支差額	32,285,169	25,378,834	13,828,000	20,340,608		

(施設決算状況の説明)

- ・収支差額については、国の経理等基準に基づき、積立資産を積み立てている。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計処理は適正に行われていた。	良好
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出予算差は少なく、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	前年度と比べて管理費は増加しているが修繕等保育環境の整備を行っており経費の効果的活用は行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目で要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性に課題があるが、安定性、活動性・健全性等が優れているので、安定した運営を行う財務力を有している。	良好

総合評価

・サービス面、財務・労務面は優良であり、法人の財務力も良好であるため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	はなみずき保育園
	所在地	荒川区南千住八丁目5番5号
指定管理者	名称	株式会社 こどもの森
	所在地	国分寺市光町二丁目5番1号
施設開設年月日		平成18年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成28年4月1日
指定期間		平成28年4月1日～令和3年3月31日
業務内容		<p>保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員150名)</p> <p>0歳：12 1歳：20 2歳：24 3歳：31 4歳以上：63 計150名</p>
平成30年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・全職員で環境整備に取り組み、事故や怪我の予防につながる施設の適正な維持管理に努めるほか、職員の環境整備への意識向上のため、専門講師による環境整備の研修を定期的実施する。 ・職員の配置については、区の配置基準に基づき配置する。また、グループ力を活かした他園見学や経験別研修等を実施、スタッフシートを活用し、管理職による一般職員の育成を図る。 ・保育所保育指針に沿った保育方針を基本とし、一人ひとりの生きる力を育て「輪・和の保育」を創造することを理念として実施。また、食育の推進、地域間・世代間交流の実施、父親の子育てに対する意識喚起、在宅育児支援等、積極的に行う。専門家による英語、音楽、体育指導等を通して、子どもが多くの体験ができる機会を設ける。 ・ご意見箱の設置等により、保護者の声を様々な方法で受け付ける。また、苦情に対しては、迅速な対応を心掛け、誠意を持って対応するとともに、苦情簿の整備や第三者委員の設置、定期的な保護者へのアンケート調査等を行い、運営面の改善に努めている。 ・全職員に対する危機管理や事故防止マニュアルの遵守の徹底を図るほか、怪我・ヒヤリハット事例等の情報を得ることで、怪我・事故防止に役立てる。また、事故・災害発生時に法人本部、地域の関係機関と連携する体制を強化する。避難訓練を毎月実施するほか、有事における保護者への情報伝達として災害伝言掲示板等のメールサービスを活用する。 ・開かれた保育所として、行事の開放や共同実施、世代間交流を図るほか、幼稚園、子ども園、保育園の交流会や自治会行事へ積極的に参加する。また、地域活動を実施し、育児相談、育児講座、情報提供等を積極的に展開する。 ・光熱水費等は前年度の金額を基に予算管理を行うほか、備品購入にあたっては、複数業者から見積もりを取り、経費削減に努める。また、職員会議等で前年対比を周知し、全職員がコスト意識を持った運営を行うようにする。 		
平成30年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・適切に職員を配置したほか、積極的な研修の実施に努めた。 ・保育サービスについて、計画どおり適切に実施した。 ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。 ・適切に危機管理を行った。 ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。	○	
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。	○	
	結果	適合

その他の評価項目			
項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
適正な設備・施設管理を实践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような環境づくり・児童との関わりに取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの実施や、保護者とのコミュニケーションの中で、子どもの育ちを積極的に伝える等、保護者からの満足度向上や信頼関係の構築に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保育中の事故防止のための方針を整備し、職員間での共通理解を進める等、安全な保育環境の構築に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・適正に施設・整備管理を実施している。また、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を着実に実施している。
- ・区内事業者の活用実績があり、地域との関わりづくりに取り組んでいる。
- ・開かれた保育所として行事の開放や共同実施、幼稚園やこども園との交流会への参加等に積極的に取り組んでいる。
- ・絵本、知育玩具、製作等の遊びの分野ごとにコーナーを作り、子どもが自主的に選び、遊びを通して自立心を育成させている。幼児と乳児の合同散歩や毎月の合同集会等で異年齢交流を積極的に行っている。
- ・利用者満足度は97.6%（第三者評価）となっている。また、日頃の保育内容について、アンケート調査を実施している。
- ・週日案や保育園便りを各クラスに掲示し保護者へその時に必要な案内を周知している。行事や日々の保育の様子を写真に撮り、保護者の目の届きやすい場所に掲示している。登降園時には保護者に声を掛け、外国籍の保護者には子どもの様子をメモや手紙に書き渡している。
- ・ヒヤリハットの作成、散歩時の注意事項についての見直しを行い、朝礼等で職員間で情報共有を図る。伝言ノートを職員室に置き、日々の連絡事項や必要事項を記入する。職員は出退勤時に必ず目を通すようルール作りを行っている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

年齢別のマラソン大会の実施や、外部講師による職員研修の実施など保育内容の充実や職員のスキル向上を図っている。運営面については、区民雇用率が低い水準であるため、今後は増加に向けて積極的に取り組んでもらいたい。

施設決算状況

年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	(決算)		(決算)		(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	253,038,981	251,424,316	253,600,000	238,137,141	
	その他収入	3,125,873	3,422,222	1,550,000	2,886,842	
	計	256,164,854	254,846,538	255,150,000	241,023,983	
支出	運営費	11,682,906	13,413,415	15,550,000	15,889,074	
	管理費	56,053,959	61,041,604	62,030,000	49,457,677	
		本部経費				
	人件費	132,998,309	132,513,868	137,000,000	118,978,356	
	修繕費	226,471	287,208	300,000	338,776	
	その他支出	1,929,500	1,916,750	0	1,699,000	
計	202,891,145	209,172,845	214,880,000	186,362,883		
収支差額	53,273,709	45,673,693	40,270,000	54,661,100		

(施設決算状況の説明)

- ・収支差額については、国の経理等基準に基づき、積立資産に積み立てている。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計処理は適正に行われている。	良好
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出差は大きい。	
会計	経費の効果的活用が行われている	昨年度に比べて管理費・人件費が減少している。また、支出項目の一部で予算との乖離があり効果的活用が望まれる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目で要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が優れているので、安定した運営を行う財務力を有している。	優良

総合評価

・サービス面、財務・労務面は良好であり、法人の財務力は優良であるため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住保育園
	所在地	荒川区南千住六丁目35番3号
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋四丁目9番10号
施設開設年月日		昭和42年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成28年4月1日
指定期間		平成28年4月1日～令和3年3月31日
業務内容		<p>保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員159名)</p> <p>0歳：9 1歳：25 2歳：25 3歳：30 4歳以上：70 計159名</p>
平成30年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・防錆、防腐等をこまめにチェックし、補修メンテナンスを行う。電気設備・昇降機設備の点検等の一括発注によるコスト削減、照明・冷房スイッチのこまめな入切による光熱水費の削減等、効率の良い維持管理に努めるほか、園舎、園庭、遊具等の危険箇所の安全点検を実施する。 ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。新規採用職員には、採用前に基本研修を法人本部で実施するほか、年間を通じて高い意識とビジョンを持ち、様々な研修を開催する。人事評価により、常にチャレンジ精神を持ち、互いに刺激し合い、学び合う環境を作る。労務問題に関する知識について職員間での共有化を図る。 ・保育所保育指針に沿った保育方針を基本として、隣人愛に基づく保育を行い、笑顔であいさつができ、心身ともに元気でたくましく生き抜く力を育む。集団生活や異年齢児交流を通して、思いやる心や信頼する心を育成する。地域子育て支援拠点として、質の向上のための評価プロセスの検証や保護者満足度の把握も行う。 ・様々な配付物や面談、日々のあいさつ等を通じて、より良い保育と信頼関係作りができるよう保護者とのコミュニケーションを図る。クレーム、苦情、相談、要望については、誠意を持って対応するとともに、プライバシーを配慮しながら結果を公表し、運営向上のため反映させていく。 ・施設の危険防止対策として、保育リスクマネジメントマニュアルや安全配慮チェックリストを整備する。避難訓練の年間計画や災害発生時の対応マニュアル等に基づき、毎月訓練を実施する。社会的責任を認識し、リスクマネジメント、インシデントレポート、緊急時対応、地域とのつながり強化等を確実に実施する。 ・地域に根差した施設を目指し、近隣の小中学校との交流や高齢者とのふれあいを通じて、地域一体となって連携の輪を深め、地域に向けた情報発信、広報を行う。 		
平成30年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・適切に職員を配置したほか、積極的な研修の実施に努めた。 ・保育サービスについて、計画どおり適切に実施した。 ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。 ・適切に危機管理を行った。 ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目	適合判断	
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。	○	
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○	
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。	○	
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○	
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。	○	
	結果	適合

その他の評価項目			
項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
適正な設備・施設管理を实践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような環境づくり・児童との関わりに取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの実施や、保護者とのコミュニケーションの中で、子どもの育ちを積極的に伝える等、保護者からの満足度向上や信頼関係の構築に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保育中の事故防止のための方針を整備し、職員間での共通理解を進める等、安全な保育環境の構築に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・適正に施設・整備管理を実施している。またエコ活動の推進等、環境に配慮した運営を着実に実施している。
- ・区民雇用率は44.5%で、極めて良好である。
- ・職場体験や保育実習等の受入れや、高齢者との交流を通じて地域との連携を深めている。
- ・子どもの興味・関心に寄り添いながら自主性を養えるような遊びの提供ができるよう、廃材を利用した制作活動やコーナー遊びの充実を図っている。玩具や絵本等は子供の手の届くところに置き、好きなものを選ぶように収納の仕方を工夫している。
- ・利用者満足度は96.2%（第三者評価）となっている。
- ・週の活動予定やクラス便りで写真等を使い、日々の状況を保護者に伝えている。登降園時に子どもの様子を伝えると共に、保護者とコミュニケーションを取り、信頼関係を築き、精神的安心につながる対応を時間をかけて行っている。
- ・保育リスクマネジメントや事故マニュアル等に沿って安心安全な保育に努めている。職員全体で共有が必要な連絡事項等は、毎朝職員が確認する表に記入し、周知徹底を図っている。
- ・散歩マップや散歩ルートを作成し、職員が危険箇所について共通理解を持ち、気づいたことがあれば園長に報告と職員会議で全職員に周知している。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

法人の系列園と合同で特別養護老人ホームを訪問したり、近隣の中高生を職業体験で受け入れるなど、地域間・世代間の交流を積極的に行っている。引き続き同取組みを継続するとともに、今後は当園の広いフロアを活かした子どもが自主的に選び、遊べる環境づくりを更に進めてもらいたい。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	274,555,414	285,995,948	287,550,000	287,991,389
	その他収入	3,616,450	3,824,438	3,560,000	3,468,870
	計	278,171,864	289,820,386	291,110,000	291,460,259
支出	運営費	25,996,648	26,882,042	30,028,000	29,724,296
	管理費	5,595,382	7,292,051	4,160,000	4,198,609
	本部経費				
	人件費	182,293,499	201,803,978	198,450,000	198,089,143
	修繕費	3,597,586	1,915,397	1,300,000	1,103,748
	その他支出	2,183,073	2,456,281	1,800,000	1,564,129
	計	219,666,188	240,349,749	235,738,000	234,679,925
収支差額		58,505,676	49,470,637	55,372,000	56,780,334

(施設決算状況の説明)

- ・収支差額については、国の経理等基準に基づき、積立資産に積みたてている。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算書や事業計画に基づき費用を管理している。予算・実績の差異は10%以内であり、適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	昨年度に比べ、運営費、人件費が減少しているため、保育環境の改善等経費の効果的活用が望まれる。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目で要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	良好

総合評価

・サービス面、財務・労務面は優良であり、法人の財務力も良好であるため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住七丁目保育園
	所在地	荒川区南千住七丁目20番13号
指定管理者	名称	社会福祉法人 東萌会
	所在地	埼玉県越谷市七左町一丁目347番地
施設開設年月日		平成24年7月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年7月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容		<p>保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 （認可定員151名、子育て交流サロン併設）</p> <p>0歳：12 1歳：15 2歳：24 3歳：30 4歳以上：70 計151名</p>
平成30年度の事業計画		
<p>・職員全体で積極的に環境整備に取り組むことで、事故や怪我の予防につながる施設の適正な維持管理に努める。また、専門業者による安全点検を受診し、注意点等についてアドバイスをもらう。</p> <p>・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。また、法人において充実した研修体制を整備し、園において積極的に参加するよう職員へ働きかける。</p> <p>・平成30年度に改定した保育所保育指針に沿った保育方針を基本とし、一人ひとりを大切に、生きる力の基礎を培えるような保育を実施する。家庭との信頼関係構築のため、「職員と保護者の連携が深まるよう情報の提供・交換の仕方を改善」「個々の利用者に応じた育児支援の強化」という目標を掲げ、重点的に取り組む。また、食育の推進、地域間・世代間交流の実施、在宅支援等を積極的に行う。</p> <p>・ご意見箱の設置等により、保護者の声を受け付ける。また、苦情に対しては、苦情解決体制を築き、適切に対応する。意見・苦情については、対応策を含め、原則としてすべて公開し、運営改善や問題等の再発防止に繋げる。</p> <p>・全職員に危機管理マニュアルや事故防止マニュアルの遵守徹底を図るほか、事故発生時に地域の関係機関と連携する体制を整備する。防災対策として、毎月の避難訓練の実施等に取り組む。個人情報保護方針に基づき、適切かつ厳重な管理を行う。</p> <p>・地域に開かれた保育として、保育園行事の地域開放や世代間交流を図るほか、子育て交流サロンでは、育児相談・育児講座・情報提供等を通じて在宅育児支援を積極的に行う。また、専門機関や小中学校との連携を図り、次世代育成支援を実施する。</p>		
平成30年度の事業実績		
<p>・適切に職員を配置したほか、積極的な研修の実施に努めた。</p> <p>・保育サービスについて、計画どおり適切に実施した。</p> <p>・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。</p> <p>・適切に危機管理を行った。</p> <p>・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。</p>		

法令基準等への適合状況		
確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。	○
	都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。	○
	区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。	○
人員配置基準を満たしているか		
	国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○
	都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○
	区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○
設備基準を満たしているか		
	国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。	○
	都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。	○
	区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。	○
	結果	適合

その他の評価項目			
項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
適正な設備・施設管理を实践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような環境づくり・児童との関わりに取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの実施や、保護者とのコミュニケーションの中で、子どもの育ちを積極的に伝える等、保護者からの満足度向上や信頼関係の構築に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保育中の事故防止のための方針を整備し、職員間での共通理解を進める等、安全な保育環境の構築に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・適正に施設・設備管理を実施している。また、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を着実に実施している。
- ・区民雇用率は24.2%で、良好である。
- ・子育て交流サロンを実施し、育児相談、育児講座、情報提供等を通じて地域の在宅支援を積極的に行っている。
- ・季節や発達に合わせた玩具や絵本等を設置し、複数のコーナーをつくり、子どもが自主的に好きな遊びを選べるような環境を整備している。3～5歳児は異年齢グループを作り、週1回の活動や行事において行動する機会を設け、クラスを超えた活動を実施している。
- ・利用者満足度は89.5%（第三者評価）となっている。また、四半期ごとに保護者からの意見や要望に対して、その対応と取組みを報告している。
- ・0～2歳児は連絡帳を使用し、3～5歳児は1日の活動をクラス前と玄関に掲示。玄関にディスプレイを設置し、子どもが日々保育園で過ごしている状況を映像で保護者に伝えている。また、登降園時には保護者に積極的に声を掛け、コミュニケーションが緊密に取れるよう、保護者が話しやすい環境づくりを心掛けている。
- ・事故防止に向けた取組みについては、マニュアルを作成し、それに基づき対策を講じている。散歩の際は、事前に安全を確認したコースを通り、常に子どもの安全を意識しながら、様々な状況の変化に臨機応変に対応できるように取り組んでいる。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

保護者からの意見とそれに対する対応を掲示したり、一日の保育内容を撮影した写真データをスライドで掲示したりと保護者との信頼関係構築に積極的に努めている。引き続き保護者の満足度向上に努めるとともに、コーナー保育の充実等、こどもの自主性を促す取組みを推進してもらいたい。

施設決算状況

年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	(決算)		(決算)		(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	248,590,157	257,900,326	255,832,640	255,819,040	
	その他収入	7,788,398	6,791,056	6,481,360	6,470,022	
	計	256,378,555	264,691,382	262,314,000	262,289,062	
支出	運営費	24,347,217	22,803,966	22,370,000	22,307,367	
	管理費	24,141,198	28,557,287	24,222,000	24,148,132	
	本部経費					
	人件費	182,912,106	201,193,148	175,799,000	175,662,944	
	修繕費	660,089	236,060	426,000	425,900	
	その他支出	0	0	0	0	
	計	232,060,610	252,790,461	222,817,000	222,544,343	
収支差額	24,317,945	11,900,921	39,497,000	39,744,719		

(施設決算状況の説明)

- ・収支差額については、国の経理等基準に基づき、積立資産に積み立てている。
- ・その他収入には子育てサロン事業の委託費を含んでいる。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算・実績の差異は10%以内、費用も減少しており、予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	昨年と比べ比較的経験年数の長い職員と若手の入替により人件費が減少しているが、当初計画とほぼ等しい。	良好
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目で要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が優れているので、安定した運営を行う財務力を有している。	優良

総合評価

・サービス面、財務・労務面は優良であり、法人の財務力も優良であるため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	夕やけこやけ保育園
	所在地	荒川区東日暮里三丁目11番19号
指定管理者	名称	社会福祉法人 教信精舎
	所在地	荒川区西尾久六丁目9番7号
施設開設年月日		平成25年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成25年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容		<p>保護者が就労、病気などのため、家庭の子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。 (認可定員156名)</p> <p>0歳：12 1歳：20 2歳：24 3歳：30 4歳以上：70 計156名</p>
平成30年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理は、日常的な目視による点検と定期点検を実施し、安全確保と維持に努める。職員の工夫や意見を積極的に聴取し、効率的に進められるようコスト意識を持って対応する。 ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。職員の育成については、施設内研修及び外部研修への積極的な参加を促し、保育実習や公開保育を通して、保育の振り返りにも努める。 ・保育目標の下、保育計画及び評価、保育行事の積極的実施、体育遊びや異年齢児交流等特色のある保育活動の実施、特別支援児保育、小学校との連携、保護者支援、健康管理及び支援、食育及び給食の実施、環境衛生と安全管理、に積極的に取り組む。 ・保護者との信頼関係が基本であるとの考えから、定期的な懇親会や保育参加、個人面談等を開催し、気軽に意見要望を聞く体制づくりに努める。保育方針や保護者との取り決めについて職員が共通の理解・認識を持ち、全職員が丁寧に説明できる体制を確保する。 ・所管消防署との連携を図り、火災・震災予防訓練を実施する。安全対策として、全職員が救命技能認定証を取得し、継続的に訓練を実施するほか、AED操作や心肺蘇生法等の研修を受講する。防災備蓄用品を確保し、使用方法の熟知に努める。 ・小学校との連携や中高生との異年齢交流、保育実習生の受入れ等を通じて、地域交流を図るほか、ふれあい館との合築という構造を活かして、多様な世代や地域との交流に努める。 		
平成30年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・適切に職員を配置したほか、積極的な研修の実施に努めた。 ・保育サービスについて、計画どおり適切に実施した。 ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。 ・適切に危機管理を行った。 ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。 		

法令基準等への適合状況		
確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」等）に基づいた運営を行っている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた運営を行っている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」等）に基づいた運営を行っている。		○
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」等）に基づいた設備を整えている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」等）に基づいた設備を整えている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」等）に基づいた設備を整えている。		○
	結果	適合

その他の評価項目			
項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を務めている。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域環境や立地条件を活かした保育の実施により、地域間・世代間の交流を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども主体の生活や遊びがより豊かに展開されるような環境づくり・児童との関わりに取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの実施や、保護者とのコミュニケーションの中で、子どもの育ちを積極的に伝える等、保護者からの満足度向上や信頼関係の構築に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保育中の事故防止のための方針を整備し、職員間での共通理解を進める等、安全な保育環境の構築に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・適正に施設・整備管理を実施している。また、エコ活動の推進等、環境に配慮した運営を着実に実施している。
- ・区民雇用率は44.0%で、極めて良好である。
- ・ふれあい館と併設されていることから、同施設利用者との交流や共同行事を開催し、地域住民と参加することで生活体験を豊かにする取組みが行われている。また、小学生から高校生までのボランティアを募集し、遊びの指導や絵本の読み聞かせ等を通して地域交流や異年齢間交流のできる場を積極的に取り入れている。
- ・専用の読書コーナーを設置して子どもが登降園時間に好きな絵本を選び、読んだり、借りることができるようにしている。子どもが自ら玩具や遊びを選び、遊びごとで分けられた各コーナーで自由に遊べ、自発的意欲的に行動でき、主体的な遊びと相互の関わりが持てる環境を整備している。
- ・利用者満足度は90.2%（第三者評価）となっている。また、行事ごとにアンケート調査を実施している。
- ・クラスごとの保護者会等で年齢別指導計画の説明と動画によるクラス活動を鑑賞。年度末までに成長してほしい課題等を発表し合い、保護者の想いを職員間で共有するよう努める。また、日々の保育や行事の状況等を写真で掲示し、保護者に周知している。
- ・事故発生防止指針、保育安全マニュアル、事故防止チェックリストを作成。定期的に点検を実施している。職員から危険個所の申出があった場合は再点検を行っている。散歩の際は、公園等の目的地に到着時と帰園時に保育園へ電話連絡をし、園児の居場所確認を行っている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

卒園児による保育ボランティアの受け入れや、体操指導員による体操教室の実施など特色ある保育運営を行っている。引き続き同取組みを継続すると共に、当園周辺は幅員が狭いながら交通量が多い道路があるため、更なる安全対策の強化に努めてもらいたい。

施設決算状況

年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	(決算)		(決算)		(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	254,410,172	261,289,232	266,565,843	267,946,723	
	その他収入	2,800,457	3,492,794	3,404,180	3,436,114	
	計	257,210,629	264,782,026	269,970,023	271,382,837	
支出	運営費	22,029,662	22,418,724	22,366,406	22,225,667	
	管理費	8,420,092	11,767,483	13,011,866	12,829,801	
	本部経費					
	人件費	196,840,423	213,416,953	223,703,641	223,350,703	
	修繕費	197,500	894,640	1,000,000	758,871	
	その他支出	2,609,400	2,721,600	2,737,200	2,761,200	
	計	230,097,077	251,219,400	262,819,113	261,926,242	
収支差額	27,113,552	13,562,626	7,150,910	9,456,595		

(施設決算状況の説明)

- ・収支差額については、国の経理等基準に基づき、積立資産に積み立てている。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書など審査した結果、会計処理は適正に行われている。	優良
	予算管理が適正である	予算書や事業計画に基づき費用を管理している。予算・実績の差異は10%以内であり、適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	昨年度に比べ管理費が増加したが、仮移転に伴う経費増加である。経費は概ね当初計画とほぼ等しく経費の効果的利用が行われている。	優良
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目で要件を満たしており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	優良

総合評価

・サービス面、財務・労務面は優良であり、法人の財務力も優良であるため、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	区営住宅（西尾久七丁目住宅、西尾久三丁目住宅、南千住二丁目住宅、町屋七丁目住宅、町屋五丁目住宅）
	所在地	荒川区西尾久七丁目19番11号 他4ヵ所
指定管理者	名称	東京都住宅供給公社
	所在地	東京都渋谷区神宮前五丁目53番67号
施設開設年月日		平成4年4月28日他
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成30年4月1日
指定期間		平成30年4月1日から令和5年3月31日
業務内容		1 区営住宅、共同施設及び付帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務 2 共同施設の整備その他の住居環境の整備に関する業務
平成30年度の事業計画		
1 住宅営繕	一般修繕、空家修繕（退去後の修繕）	
2 環境整備	樹木剪定(害虫駆除を含む)	
3 施設管理	排水管清掃 エレベーター保守 受水槽清掃 消防設備保守 安否確認システム保守他	
4 清掃	定期清掃 床等日常清掃 ゴミ置き場等清掃	
5 計画修繕	なし	
平成30年度の事業実績		
1 住宅営繕	一般修繕 （給湯器不良補修、非常照明交換、トイレタンク内補修等 28件） 空家修繕 （畳表替、襖張替、床ワックス塗布等 15件）	
2 環境整備	樹木剪定（害虫駆除は実施せず）	
3 施設管理	排水管清掃 エレベーター保守 受水槽清掃 消防設備保守 安否確認システム保守他	
4 清掃	定期清掃（毎月1回） 床等日常清掃（週3回） ゴミ置き場等清掃（可燃ゴミ収集日）	
5 計画修繕	なし	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	70			70
快適に利用できるための施設管理がなされている	30	5	100%	30
業務の遂行に必要な職員が配置されている	20	5	100%	20
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	20	5	100%	20
区民サービス	30			18
居住者からの修繕依頼に対し、迅速かつ適切に対応している	20	3	60%	12
居住者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	10	3	60%	6
合計(A)	100			88

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
適切な危機管理体制が整備されている	2	5	100%	2
事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	2	5	100%	2
区内事業者の活用を積極的に行っている	6	4	80%	4.8
合計(B)	10			8.8
合計(A+B)				96.8
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

- ・施設の維持管理については、24時間体制による適切な管理がなされていた。
- ・保守委託業務については、迅速に不良箇所の報告をし、適切な修繕を行い、良好な維持管理が行われた。
- ・営繕業務（エレベーター等の専門性の高い業務を除く）については、区内事業者の活用率が80%を超えた。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・一般修繕や緊急小口修繕は迅速かつ適切であったが、一部の空室修繕において発注が重なり、日数を要することがあった。区民サービスの向上のため、短縮の努力が必要である。
- ・居住者アンケートの結果、指定管理者の対応やサービスについて「満足」・「まあ満足」との回答が約68%、「普通」との回答が約27%であった。満足度の向上に向けて更なる努力が求められる。
- ・専門性の高い業務を除く営繕業務については、更なる区内事業者活用率の向上を目指し、指定管理者と協議していく。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	18,663,666	18,362,183	18,525,672	21,168,994
	利用料金収入	-	-	-	-
	その他収入	-	-	-	-
	計	18,663,666	18,362,183	18,525,672	21,168,994
支出	運営費	16,449,765	16,238,947	16,841,520	19,246,291
	管理費	2,213,901	2,123,236	1,684,152	1,922,703
	本部経費	2,213,901	2,123,236	1,684,152	1,922,703
	人件費	-	-	-	-
	修繕費	-	-	-	-
	その他支出	-	-	-	-
	計	18,663,666	18,362,183	18,525,672	21,168,994
	収支差額	0	0	0	0

(施設決算状況の説明)

- ・平成30年度は、空室修繕件数の増加（見込み12件 実績15件）及び当初計画にない身体障がい者用住戸のキッチン改修を行ったため、当初計画と比べて決算額が高くなった。
- ・指定管理者は工事の発注に際して、区と同様に、透明性・公平性を確保した公募型入札制度による経費縮減と適正な支出に努めている。
- ・人件費については、住宅は専任職員が常駐していないため、当該指定管理者業務に携わる職員は本社及び支店で他の業務を兼任していることから、本部経費として管理費に計上することとしている。
- ・修繕費については、住宅は主たる指定管理業務が修繕業務であるため、他施設で計上している修繕費とは性質が異なることから、修繕費は計上せず、運営費に計上することとしている。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	施設ごとに決算書、科目別内訳表、事業報告書等が作成されており、会計手続は適正である。	良好
	予算管理が適正である	予算と実績との間に大きな乖離が見られる項目が1つあるが、原因分析が行われ、その理由も妥当である。よって予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	工事受注者選定に当たって、公募型入札制度を導入することにより、透明性、公平性を確保するとともに、委託価格の低減を図った。	優良
労務	労働環境が適正である	発令通知書、賃金台帳、36協定、健康診断受診状況等について提出書類及びヒアリングにより確認した結果、法令に準じており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性のいずれも良好であり、事業者本体は安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

- ・施設の維持管理・区民サービス等はA評価、財務面・労務面は優良・良好であったことから、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	区民住宅（町屋五丁目住宅） 従前居住者用住宅（町屋五丁目住宅）
	所在地	荒川区町屋五丁目9番2号
指定管理者	名称	東京都住宅供給公社
	所在地	東京都渋谷区神宮前五丁目53番67号
施設開設年月日		平成10年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成30年4月1日
指定期間		平成30年4月1日から令和5年3月31日
業務内容		1 区民住宅、従前居住者用住宅、共同施設及び付帯施設の 保全、修繕及び改良に関する業務 2 共同施設の整備その他の住居環境の整備に関する業務
平成30年度の事業計画		
1 住宅営繕	一般修繕、空家修繕（退去後の修繕）	
2 環境整備	樹木剪定(害虫駆除を含む)	
3 施設管理	排水管清掃 エレベーター保守 受水槽清掃 消防設備保守	
4 清掃・巡回管理	定期清掃 巡回管理 床等日常清掃 ゴミ置き場等清掃	
5 計画修繕	なし	
平成30年度の事業実績		
1 住宅営繕	一般修繕 （浴室、トイレ、台所の水栓交換等56件） 空家修繕 （壁クロス張り替え等3件 空室調査10件 室内クリーニング等7件）	
2 環境整備	樹木剪定（害虫駆除は実施せず）	
3 施設管理	排水管清掃 エレベーター保守 受水槽清掃 消防設備保守	
4 清掃・巡回管理	定期清掃（年4回） 巡回管理 床等日常清掃（週3回） ゴミ置き場等清掃（可燃ゴミ収集日）	
5 計画修繕	なし	

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	70			70
快適に利用できるための施設管理がなされている	30	5	100%	30
業務の遂行に必要な職員が配置されている	20	5	100%	20
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	20	5	100%	20
区民サービス	30			18
居住者からの修繕依頼に対し、迅速かつ適切に対応している	20	3	60%	12
居住者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	10	3	60%	6
合計(A)	100			88

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
適切な危機管理体制が整備されている	2	5	100%	2
事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	2	4	80%	1.6
区内事業者の活用を積極的に行っている	6	4	80%	4.8
合計(B)	10			8.4
合計(A+B)				96.4
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

- ・施設の維持管理については、24時間体制による適切な管理がなされていた。
- ・保守委託業務については、迅速に不良箇所の報告をし、適切な修繕を行い、良好な維持管理が行われた。
- ・営繕業務（エレベーター等の専門性の高い業務を除く）については、目標である区内事業者の活用率100%には至らなかったが、昨年度から改善し80%を超えた。至らなかった理由は、上半期の区内水道事業者の確保ができなかったため、今年度は確保できている。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

- ・居住者アンケートの結果、指定管理者の対応やサービスについて「満足」・「まあ満足」との回答が30%、「普通」との回答が40%であった。満足度の向上に向けて更なる努力が求められる。
- ・専門性の高い業務を除く営繕業務については、更なる区内事業者活用率の向上を目指し、指定管理者と協議していく。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	32,125,866 1,425,629	22,139,021 1,308,692	21,513,492 1,569,348	22,501,115 1,613,575
	利用料金収入	-	-	-	-
	その他収入	-	-	-	-
	計	32,125,866 1,425,629	22,139,021 1,308,692	21,513,492 1,569,348	22,501,115 1,613,575
支出	運営費	28,335,241 1,251,375	19,592,652 1,169,540	19,557,720 1,426,680	20,457,420 1,467,021
	管理費	3,790,625 174,254	2,546,369 139,152	1,955,772 142,668	2,043,695 146,554
	本部経費	3,790,625 174,254	2,546,369 139,152	1,955,772 142,668	2,043,695 146,554
	人件費	-	-	-	-
	修繕費	-	-	-	-
	その他支出	-	-	-	-
	計	32,125,866 1,425,629	22,139,021 1,308,692	21,513,492 1,569,348	22,501,115 1,613,575
収支差額	0	0	0	0	

(施設決算状況の説明)

- ・ 上段：区民住宅の決算、下段：従前居住者用住宅の決算を記載している。
- ・ 決算額が当初計画を超えているのは、消防設備の不良箇所について報告があり、居住者の安全・安心を守るために必要不可欠なものであったことから、指定管理料を追加で支出し修繕を行ったためである。
- ・ 指定管理者は工事の発注に際して、区と同様に、透明性・公平性を確保した公募型入札制度による経費縮減と適正な支出に努めている。
- ・ 人件費については、住宅は専任職員が常駐していないため、当該指定管理者業務に携わる職員は本社及び支店で他の業務を兼任していることから、本部経費として管理費に計上することとしている。
- ・ 修繕費については、住宅は主たる指定管理業務が修繕業務であるため、他施設で計上している修繕費とは性質が異なることから、修繕費は計上せず、運営費に計上することとしている。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	施設ごとに決算書、科目別内訳表、事業報告書等が作成されており、会計手続は適正である。	良好
	予算管理が適正である	【区民住宅】予算と実績との間に少し大きな乖離が見られる項目が1つあるが、原因分析が行われ、その理由も妥当である。よって予算管理は適正である。 【従前居住者用住宅】予算と実績との間に大きな乖離が見られる項目は1つもないことから予算管理は適正である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	工事受注者選定に当たって、公募型入札制度を導入することにより、透明性、公平性を確保するとともに、委託価格の低減を図った。	優良
労務	労働環境が適正である	発令通知書、賃金台帳、36協定、健康診断受診状況等について提出書類及びヒアリングにより確認した結果、法令に準じており、労働環境は適正である。	優良
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性のいずれも良好であり、事業者本体は安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	良好

総合評価

- ・施設の維持管理・区民サービス等はA評価、財務面・労務面は優良・良好であったことから、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	防災都市づくり部
課	施設管理課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	南千住駅東口自転車等駐車場 日暮里駅前自転車駐車場
	所在地	荒川区南千住四丁目1番2号 荒川区西日暮里二丁目24番2号
施設開設年月日		平成14年4月1日 平成20年4月1日
指定管理者	名称	日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社
	所在地	品川区西五反田四丁目32番1号
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成30年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容		1.駐車場の利用承認・案内・誘導 2.利用料金の収納・減額及び還付 3.施設の維持管理に関する業務 等

平成30年度の事業計画

- 1 自転車駐車場の利用承認、利用者の案内や誘導、料金収納を適切に実施する。
- 2 設備の保守点検や必要な修繕を行う。施設の清掃・巡回を毎日行う。
- 3 危機管理マニュアルや緊急連絡網を管理棟に設置し、全管理員に周知徹底する。
- 4 接遇・情報セキュリティ研修(年1回)を行う。
- 5 24時間365日対応のサポートセンターにて、申込受付、クレーム対応を実施する。
- 6 入退場ゲートを取り外し、定期登録更新システムと電磁ロック式駐輪機を導入する。(南千住)
- 7 Web上で、一時利用の利用状況を確認できる「満空Webシステム」を導入する。(南千住)
- 8 子供乗せ大型自転車の優先エリアを増設する。

平成30年度の事業実績

- 1 自転車駐車場の利用承認、利用者の案内や誘導、料金収納を適切に実施した。
 - 2 設備の保守点検や修繕を適切に実施した。
 - 3 危機管理マニュアル、緊急連絡網等を管理室へ設置し、全管理員に周知徹底した。
 - 4 コンプライアンス研修、情報セキュリティ研修を全管理員を対象に実施した。
 - 5 24時間365日対応のサポートセンターにて、利用者の対応を実施した。
 - 6 定期登録更新システムと電磁ロック式駐輪機を151台導入した。(南千住)
 - 7 満空Webシステムを導入した。(南千住)
 - 8 子供乗せ大型自転車の優先エリアを増設した。
- <参考>
- (南千住) 定期利用登録率(登録者数/定期登録台数): 101.1%〔平成31年3月31日現在(29年度104.8%)
一時利用率(利用者数/一時収容台数): 41.6%〔1日平均〕(29年度21.4%)
- (日暮里) 定期利用登録率(登録者数/定期登録台数): 58.2%(平成31年3月31日現在)(29年度51.8%)
一時利用率(利用者数/一時収容台数): 147.6%〔1日平均〕(29年度146.0%)

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	60			56
安全快適に利用できるための施設管理がなされている	20	5	100%	20
業務遂行に必要な職員の配置・育成がなされている	20	4	80%	16
安全管理実施体制を構築し、緊急時対応を万全としている	20	5	100%	20
区民サービス	40			32
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	20	4	80%	16
サービス向上のため創意工夫ある取組を実践している	10	4	80%	8
利用者からの声をモニタリングし、是正等を図っている	10	4	80%	8
合計(A)	100			88

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
利用者増加のための対策に取り組んでいる	5	3	60%	3
区民雇用、区内事業者の活用等で地域に貢献している	3	4	80%	2.4
環境やエコに関する取組を積極的に行っている	2	4	80%	1.6
合計(B)	10			7
合計(A+B)				95
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

【南千住】

1 基本評価項目

- ・利用者への挨拶を欠かさず行き、繁忙時間の増員により、スムーズな整理誘導等に努めた。
- ・電磁ロック式駐輪機を151台設置し、一時利用率の向上を図った。

2 その他の評価項目

- ・光熱費の削減を目的に、施設内の照明のLED化を進めるとともに、新電力を導入した。
- ・区の放置自転車クリーンキャンペーンに参加し、区民の意識啓発と駐輪場の利用募集を図った。

【日暮里】

1 基本評価項目

- ・利用者への挨拶を欠かさず行き、繁忙時間の増員により、スムーズな整理誘導等に努めた。
- ・出入口付近に大型自転車利用者・高齢者の優先エリアを設けた。

2 その他評価項目

- ・光熱費の削減を目的に新電力を導入した。
- ・区の放置自転車クリーンキャンペーンに参加し、区民の意識啓発と駐輪場の利用募集を図った。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

【南千住】

- ・施設の構造上、3階部分の利用率が低くなっている。定期利用と一時利用のニーズを踏まえたうえで、施設全体の運用を見直していく必要がある。
- ・区民雇用率は58%であり、さらなる区内雇用促進が必要である。

【日暮里】

- ・定期利用の登録率が低いため、広報等による利用率を向上させるための取り組みが必要である。
- ・区民雇用率は75%であり良好であるが、さらなる区内雇用促進が必要である。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	1,487,160	2,091,957	2,091,957	748,000
		348,516	178,740	1,588,286	1,587,923
	利用料金収入	34,004,800	32,333,200	34,000,000	30,440,700
		20,694,700	21,172,300	22,000,000	20,902,500
	その他収入	770	220	96,000	0
96,420		66,830	96,000	0	
計	35,492,730	34,425,377	36,187,957	31,188,700	
	21,139,636	21,417,870	23,684,286	22,490,423	
支出	運営費	0	0	0	0
		0	0	0	0
	管理費	11,509,900	11,649,909	17,950,079	10,104,548
		13,241,723	14,541,164	16,466,259	15,111,230
	本部経費	6,381,031	6,559,689	2,594,323	1,184,280
		6,187,689	6,602,031	2,594,323	1,184,280
	人件費	16,407,797	17,745,741	13,177,200	14,604,601
		15,203,093	17,673,257	7,941,960	10,768,894
	修繕費	1,487,160	2,406,240	2,091,957	748,000
		348,516	178,740	1,588,286	1,587,923
その他支出	0	0	0	500,000	
	0	0	0	0	
計	29,404,857	31,801,890	33,219,236	25,957,149	
	28,793,332	32,393,161	25,996,505	27,468,047	
収支差額		6,087,873	2,623,487	2,968,721	5,231,551
		-7,653,696	-10,975,291	-2,312,219	-4,977,624
収支差額計		-1,565,823	-8,351,804	656,502	253,927

(施設決算状況の説明)

上段：南千住駅東口自転車等駐車場の決算、下段：日暮里駅前自転車駐車場の決算を記載している。
修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算している。

【南千住】

- ・「その他支出」については、選定時の提案に基づく区への納付金である。
- ・「利用料金収入」については、周辺に安価な一時利用置場が出来た影響があり、昨年度に比べて減少している。

【日暮里】

- ・定期利用の登録率が低く、「利用料金の収入」を増やしていくためにも、更なる改善努力が必要がある。
- ・「人件費」については、昨今の人材確保が困難な中、早朝・夜間の十分な雇用を確保できず、社員等に対応したことにより当初計画より増額となったものの、昨年度と比べて大幅に減額しており、改善が図られた。

【総合】

- ・本部経費については、算定方法の見直しに加えて、他の自転車駐車場（センターまちや自転車駐車場、三河島駅前自転車駐車場）を包括的に管理したことで、前年度より減額となっている。
- ・2つの施設を合計した収支差額は黒字であるが、日暮里については利用率の向上を図るなど、収益の改善に努めていく必要がある。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が作成されており、会計手続は適正になされている。	良好
	予算管理が適正である	予算と実績との間に乖離が見られる項目があったが、原因分析が行われており、概ね良好である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	支出額が削減されている項目があり、概ね経費の効果的な活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	労働条件、書類等の管理状況は良好である。労働者名簿の記載等、一部指摘があったものの、改善済もしくは改善の計画がある。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、生産性に課題があるが、成長性、安全性、活動性が優れており、安定した運営を継続して行う財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面は良好であり、財務面、労務面についても良好であることから、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	防災都市づくり部
課	施設管理課

平成30年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	センターまちや自転車駐車場 三河島駅前自転車駐車場
	所在地	荒川区荒川七丁目50番9号 荒川区西日暮里一丁目6番20号
施設開設年月日		平成8年4月1日 平成26年10月1日
指定管理者	名称	日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社
	所在地	品川区西五反田四丁目32番1号
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成30年4月1日
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日
業務内容		1.駐車場の利用承認・案内・誘導 2.利用料金の収納・減額及び還付 3.施設の維持管理に関する業務 等

平成30年度の事業計画

- 1 自転車駐車場の利用承認、利用者の案内や誘導、料金収納を適切に実施する。
- 2 設備の保守点検や必要な修繕を行う。施設の清掃・巡回を毎日行う。
- 3 危機管理マニュアルや緊急連絡網を管理棟に設置し、全管理員に周知徹底する。
- 4 接遇・情報セキュリティ研修(年1回)を行う。
- 5 24時間365日対応のサポートセンターにて、申込受付、クレーム対応を実施する。
- 6 入退場ゲートを取り外し、定期登録更新システムと電磁ロック式駐輪機を導入する。(センターまちや)
- 7 Web上で一時利用の利用状況を確認できる「満空Webシステム」を導入する。(センターまちや)
- 8 現場管理員による金銭管理をなくすため、精算機を導入する。(三河島)

平成30年度の事業実績

- 1 自転車駐車場の利用承認、利用者の案内や誘導、料金収納を適切に実施した。
- 2 設備の保守点検や修繕を適切に実施した。
- 3 危機管理マニュアル、緊急連絡網等を管理室へ設置し、全管理員に周知徹底した。
- 4 コンプライアンス研修、情報セキュリティ研修を全管理員を対象に実施した。
- 5 24時間365日対応のサポートセンターにて、利用者の対応を実施した。
- 6 定期登録更新システムと電磁ロック式駐輪機を250台導入した。(センターまちや)
- 7 満空Webシステムを導入した。(センターまちや)
- 8 精算機を導入した。(三河島)

<参考>

- (センターまちや) 定期利用登録率(登録者数/定期登録台数): 115.4%〔平成31年3月31日現在(29年度119.6%)〕
 一時利用率(利用者数/一時収容台数): 91.0%〔一日平均〕(29年度96.6%)
- (三河島) 定期利用登録率(登録者数/定期登録台数): 63.3%(平成31年3月31日現在)(29年度52.1%)
 一時利用率(利用者数/一時収容台数): 23.1%〔一日平均〕(29年度23.7%)

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	60			56
安全快適に利用できるための施設管理がなされている	20	5	100%	20
業務遂行に必要な職員の配置・育成がなされている	20	4	80%	16
安全管理実施体制を構築し、緊急時対応を万全としている	20	5	100%	20
区民サービス	40			32
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	20	4	80%	16
サービス向上のため創意工夫ある取組を実践している	10	4	80%	8
利用者からの声をモニタリングし、是正等を図っている	10	4	80%	8
合計(A)	100			88

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
利用者増加のための対策に取り組んでいる	5	3	60%	3
区民雇用、区内事業者の活用等で地域に貢献している	3	3	60%	1.8
環境やエコに関する取組を積極的に行っている	2	4	80%	1.6
合計(B)	10			6.4
合計(A+B)				94.4
施設の維持管理・区民サービス等の総合評価				A

評価内容

【センターまちや】

1 基本評価項目

- ・利用者への挨拶を欠かさず行い、繁忙時間の増員により、スムーズな整理誘導等に努めた。
- ・お年寄り、子供連れの女性や2段式ラック上段の利用者に対して、積み下ろしのサポートを実施した。
- ・若い利用者であっても、朝の時間に余裕のある場合は、依頼を受け積み下ろしを代行した。
- ・個別式電磁ラックを250台導入し、一時利用率の向上を図った。
- ・子供乗せ自転車など、大型車専用の平置きスペースを新たに110台確保し、利用者の要望に応えた。

2 その他の評価項目

- ・光熱費削減を目的に、施設内の照明のLED化を進めた。
- ・区の放置自転車クリーンキャンペーンに参加し、区民の意識啓発と自転車駐車場の利用募集を図った。

【三河島】

1 基本評価項目

- ・利用者への挨拶を欠かさず行い、繁忙時間の増員により、スムーズな整理誘導等に努めた。
- ・機器異常発生時に代車貸与等の適切な対応を実施した。

2 その他の評価項目

- ・光熱費削減を目的に、新電力を導入した。
- ・区の放置自転車クリーンキャンペーンに参加し、区民の意識啓発と自転車駐車場の利用募集を図った。

より良い施設運営・サービス向上に向けて改善すべき点等

【センターまちや】

- ・上段ラックの利用者への補助等で配置している管理員の人員体制の適正化を図る必要がある。
- ・区民雇用率は47%であり、さらなる改善努力が必要である。

【三河島】

- ・利用率が低いため、広報等の利用率による向上させるための取り組みが必要である。
- ・区民雇用率は78%で良好であるが、さらなる区内雇用促進が必要である。

施設決算状況

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		(決算)	(決算)	(当初計画)	(決算)
収入	指定管理料	1,367,538	842,616	1,367,538	1,363,960
		8,321,310	8,588,427	2,405,297	2,399,954
	利用料金収入	39,050,000	36,909,622	41,000,000	37,955,600
		4,737,400	4,461,800	9,000,000	4,892,000
	その他収入	0	0	96,000	0
	0	0	0	0	
	計	40,417,538	37,752,238	42,463,538	39,319,560
		13,058,710	13,050,227	11,405,297	7,291,954
支出	運営費	0	0	0	0
		0	0	0	0
	管理費	23,870,124	25,008,452	19,886,152	14,404,019
		3,919,041	3,873,692	10,030,638	7,427,263
	本部経費	4,551,683	5,280,465	2,668,996	1,184,280
		409,112	406,004	2,668,996	1,184,280
	人件費	18,091,669	18,415,636	13,177,200	22,970,894
		8,912,268	8,912,268	7,941,960	8,908,394
	修繕費	1,367,538	842,616	1,367,538	1,363,960
		227,401	264,267	2,405,297	2,399,954
その他支出	0	0	0	500,000	
	0	0	0	0	
	計	43,329,331	44,266,704	34,430,890	39,238,873
		13,058,710	13,050,227	20,377,895	18,735,611
収支差額		-2,911,793	-6,514,466	8,032,648	80,687
		0	0	-8,972,598	-11,443,657
収支差額計		-2,911,793	-6,514,466	-939,950	-11,362,970

(施設決算状況の説明)

上段：センターまちや自転車等駐車場の決算、下段：三河島駅前自転車駐車場の決算を記載している。
修繕費については、当初計画の範囲内で実費精算している。

【センターまちや】

- ・「人件費」については、当初計画よりも大幅に増加している。これまでお年寄りや子連れの女性を対象としている2段式ラック上段の積み下ろし等のサービスに、時間に余裕がなく乗り捨てる若者が増加していることから、当初計画よりも人員を増員したためである。また、同作業については、シルバー人材センターでは対応出来ず、直接雇用により実施したことが影響している。
- ・今後については、利用状況に応じたサービス内容や人員配置の見直しを行い、増加した人件費の削減に努めていく必要がある。
- ・「その他支出」については、選定時の提案に基づく区への納付金である。

【三河島】

- ・平成29年度まで「収支差額」については、指定管理料として区が負担していたため、0となっている。なお、平成30年度からは区の補填をなくしたため、実質の収支差額が計上され、マイナスとなった。
- ・「利用料金収入」については、定期登録台数増により、前年度に比べて1割程度増額している。
- ・「管理費」及び「修繕費」については、精算機の導入等の初期投資と制御盤や安全装置の取替え、管理システムの更新等を行ったため、前年度から増額している。

【総合】

- ・本部経費については、算定方法の見直しに加えて、他の自転車駐車場（南千住駅前自転車等駐車場、日暮里駅前自転車駐車場）を包括的に管理したことで、前年度より減額となっている。
- ・2つの施設を合計した収支差額は赤字であるため、センターまちやについては効率的な人員配置を行いながら、雇用や勤務形態等を工夫してサービスレベルを維持するとともに、三河島については更なる定期利用の向上を図るためPRを積極的に行うなど、収益の改善に努めていく必要がある。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価
会計	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が作成されており、会計手続は適正になされている。	良好
	予算管理が適正である	予算と実績との間に乖離が見られる項目があったが、原因分析が行われており、概ね良好である。	
会計	経費の効果的活用が行われている	人件費は増加しているが、管理費、本部経費については支出が縮減されており、概ね経費の効果的な活用が行われている。	良好
労務	労働環境が適正である	労働条件、書類等の管理状況は良好である。労働者名簿の記載等、一部指摘があったものの、改善済もしくは改善の計画がある。	良好
法人決算	事業者本体が、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、生産性に課題があるが、成長性、安全性、活動性が優れており、安定した運営を継続して行う財務力を有している。	良好

総合評価

サービス面は良好であり、財務面、労務面についても良好であることから、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	防災都市づくり部
課	施設管理課